

一、被術者が腸チフス患者たりし場合は如何なる處置をなすべきや

一、理學的消毒法とは如何

一、施灸温度の達せざる深部内臟機能に反應する理由

一、灸痕の再生機能を記せ

大阪府 (大正十五年三月)

一、皮膚の構造を記せ

一、體温發生の理由及び四時同温を保つ理由如何

一、九鍼とは何ぞや竝に現今多くは何鍼を使用せるや

一、臍を中心として其上下、左右各二穴竝に大谿、肩引

の解剖的部位、禁鍼の區別及び同穴の應用を記せ

一、灸治に由りて深部臟器の病變を調節し得る理由如何

之が二例を示せ

一、隱白、至陽、陽池、附分、京門の解剖的部位、竝に

禁灸の區別

一、最も完全なる理學的消毒二種を挙げ之を説明せよ

一、排泄物に適當なる消毒藥の名稱、稀釋度を問ふ

埼玉縣 (大正十四年十二月)

一、運動神經とは如何

一、消毒藥の名稱

一、蒸氣消毒と瓦斯消毒との差異

一、神經を刺戟する時は如何になるや (以上灸術)

一、血液の作用

一、頸部の血管、神經の名稱

一、燒却法

一、筋肉ロイマチスの療法及び五樞、腹結の部位

一、胃加答兒に對する灸穴及び刺戟が脊髓の如何なる神經を経て遠心性に移るや (以上灸術)

福岡縣 (大正十五年四月)

一、坐骨神經の起始、及び經過を問ふ

一、肺臟の位置、形狀及び機能は如何

一、風府、氣海、大包の解剖的部位竝に分佈する血管、

神經の名稱を記せ

一、鍼術の疾病に效ある理由を記せ

一、藥品を用ひずして消毒すべき方法を問ふ(以上灸術)

一、顔面神經の起始及び經過を問ふ

一、心臟の位置、形狀及び機能は如何

一、慢性胃加等兒の症候竝に灸治法を問ふ

一、項部竝に腹部に於ける禁穴の部位を記せ

一、灸治に應用する消毒の方法を問ふ (以上灸術)

兵庫縣 (大正十五年四月)

一、上肢の主なる血管、竝に神經の名稱を挙げ且つ其經過の概要を問ふ

一、瓦斯交換に就て詳記せよ

一、鍼の治療的作用を問ふ

一、齒痛に對する鍼治の方法竝に其效果如何

一、鍼治に用ゆる消毒藥の種類及び應用 (以上灸術)

一、皮膚の構造及び作用を問ふ

一、血液の循環を記せ

一、灸の血液に對する影響を問ふ

一、脚氣に對する灸治の方法竝に效果如何

一、クレゾール液の製法竝に效果如何 (以上灸術)

愛知縣 (大正十五年四月)

一、上膊に於ける主なる血管、神經の名稱及び位置を問ふ

一、反射作用を説明し其類別を挙げよ

一、消毒藥として昇汞、石炭酸及びアルコールの使用法を問ふ

一、胃痛に對する鍼術の處置法

一、腦神經と交感神経とに對する鍼術反應の差異及び其結果を説明せよ (以上鍼術)

一、脊柱各部の名稱、形狀を問ふ

一、血液循環は如何なる任務ありや

一、消毒の目的を問ふ

一、神經性心悸亢進に對し天柱、肺俞に點灸して奏效する理由

一、脊髓性末梢神經障礙に就て灸治療法の適否を説明すべし (以上灸術)

北海道 (大正十五年四月)

一、迷走神經の起始、經過、及び分佈を記せ

一、四頭股筋の起始、停止、及び作用を記せ

一、腓腸筋痙攣の原因となるべきものを記せ

一、左記の二項に就て記せ

充血と鬱血の區別、咯血と吐血の區別

一、刺鍼時消毒せず行ふ時の危害を記せ

一、蚤、蠅、蚊の蟲類が媒介する主なる傳染病の名稱を記せ (以上鍼術)

一、縫匠筋の起始、停止及び作用

一、唾液の性状及び作用を記せ

一、偏頭痛の原因となるべきものを記せ

一、左記の區別を記せ

外出血と内出血の區別、水腫と浮腫の區別

一、消毒藥として昇汞水の調製法及び消毒に適する物件を記せ

一、瘧毒患者を取扱たる時の豫防上の注意を記せ (以上灸術)

島根縣 (大正十五年四月)

一、上肢の諸筋の名稱、作用及び上膊に分佈する神經の名稱

一、結晶石炭酸の溶解に注意すべき事項及び三%の石炭酸水は凡そ幾倍に當るや且其稀釋法に就て説明せよ

一、支溝、陽池、合谷の解剖的部位、刺鍼灸點

京都府 (大正十五年四月)

一、背部諸筋の名稱、竝に血管神經との關係

一、腎臟の位置、形狀、機能、構造

一、頸部に在る經穴の名稱及び刺鍼法式竝に注意

一、鍼に依る刺戟の強弱は如何なる方法にて行ふや

一、妊娠時に於ける腹部、腰部、薦骨部に施灸の可否如何

一、百會、腹哀、章門、命門、陽谷、肩貞より禁灸穴を除き其他の穴の部位、解剖的所見、竝に醫治的效用を問ふ

一、理學的消毒方法の種類及び其異なる點を説明せよ

一、主なる消毒藥五種を挙げ其應用及び其溶解法を問ふ

一、胃の消化作用及び胃に分佈する神經の名稱

一、頸部及び顔面の刺鍼に際し特に注意すべき事項

一、氣管枝喘息に刺鍼の有効なる理由及び刺鍼點

一、消毒の必要なる理由

一、二十倍の石炭酸水、五百瓦を作れ

一、灸治の血管及び血液に及ぼす作用

一、遺尿症に對する刺鍼の目的

鹿兒島縣 (大正十五年四月)

一、遠心性神經及び求心性神經の區別に就て説明せよ

一、骨盤の位置、形狀、男女の差異及び構成する骨の名稱に就て説明せよ

一、鍼術に於ける興奮竝に鎮靜作用に就き例を擧げて記述せよ

一、顔面痛の原因、症候、竝に鍼灸法如何

一、理學的消毒の方法竝に其應用範圍に就て説明せよ

徳島縣 (大正十五年四月)

- 一、上膊を通過する神経の名稱、分佈部位
- 一、脾臓の位置、形状及び機能
- 一、心音の發生する理由を説明せよ
- 一、施鍼に際し消毒せざる場合に發する疾病の種類及び其症狀
- 一、風池、翳風の部位、竝に之に刺鍼する時は如何なる疾病に效ありや
- 一、心臟疾患に對する施灸の可否同理由を記せ
- 一、施灸の皮膚及び血液に及ぼす關係

福井縣 (大正十五年四月)

- 一、ミハエル氏菱形窩の解剖に就て知る處を知せ
- 一、股神経と血管、筋肉との關係
- 一、内外呼吸に就て知る處を記せ
- 一、鍼の消毒に就て日常實施する方法を明記せよ

- 一、坐骨神経痛の壓痛點を挙げ其穴名及び解剖的位置を記せ

- 一、腹部に鍼を禁ずる理由を問ふ
- 一、遺尿症の原因及び處置を記せ

- 一、手の皮神経の分佈圖を記せ
- 一、胃の機能に就て

- 一、腸の蠕動を亢進せしむる灸治法を問ふ
- 一、胃酸過多症の原因及び症候を記せ

- 一、灸點施術後化膿する事あり其原因及び豫防法を問ふ
- 一、瘰癧、不容、關元の穴の解剖的位置を記せ

静岡縣 (大正十五年六月)

- 一、交感神経中樞の部位を記せ
- 一、發汗の作用を説明せよ
- 一、肩貞の解剖的部位、及び之れに關する神経、血管を記せ

石川縣 (大正十五年五月)

- 一、胸部に於ける禁穴を記せ (以上鍼術)
- 一、顔面神経の分佈を記せ
- 一、曲垣の解剖的位置竝に之に關する血管、神経を記せ
- 一、體溫發生を記せ
- 一、灸痕の化膿する理由及び化膿の處置
- 一、脚氣に對する施灸點
- 一、頭部の禁灸點を記せ (以上灸術)

滋賀縣 (大正十五年五月)

- 一、胸廓を構成する骨の名稱及び其内にある諸器官の名稱
- 一、胃液の消化作用を問ふ
- 一、交感神経の作用を問ふ
- 一、上肢に分佈する主なる血管、神経の名稱を挙げよ
- 一、腹壁にある筋肉の名稱を問ふ
- 一、坐骨神経痛の症狀及び其鍼治法を記せ
- 一、慢性便秘の症狀及び鍼灸治法を記せ
- 一、普通使用する消毒薬の名稱及び其稀釋度を問ふ

奈良縣 (大正十五年五月)

- 一、肩胛筋の名稱竝に之に分佈する神経は如何
- 一、呼吸の器械的作用を記せ
- 一、交感神経に對する鍼の生理的作用を記せ
- 一、喘息に對する刺鍼の部位、及び其目的を記せ
- 一、鍼術を行ふに際し消毒の必要なる理由を述べよ

- 一、理學的消毒法を詳記せよ (以上鍼術)
- 一、肝臓の位置、形狀並に其機能を記せ
- 一、大腿前側に於ける神經の名稱並に其起始、經過、分佈を述べよ
- 一、灸の温の深達作用に就て知る所を記せ
- 一、中風とは如何なるものなりや之に對する施灸の時期並に其部位を記せ
- 一、千倍昇汞水と三十三倍の石炭酸水との調製法及び消毒上の用途を問ふ
- 一、灸治上消毒の必要なる理由を説明せよ (以上灸術)

熊 本 縣 (大正十五年四月)

- 一、下肢を形成する骨の名稱
- 一、肝臓の生理的作用
- 一、神道、委中の解剖的部位及び肋間神經分佈區域にある禁鍼灸の穴名を記せ

- 一、氣衝、腹哀は何經に屬するや三角筋之にある穴名をあげよ
- 一、煮沸消毒とは如何
- 一、主なる消毒薬に就て記せ

三 重 縣 (大正十五年七月)

- 一、心臓の位置及び作用
- 一、知覺神經と運動神經との區別
- 一、神經痛に對し刺鍼の效ある理由及び其方式
- 一、承扶、合谷の部位並に意義及び肩部、頸部に於て刺鍼上特に注意を要する穴名及び其理由
- 一、鍼具と患部の消毒法 (以上鍼術)
- 一、胸部臟器の名稱
- 一、脊髓の位置及び作用
- 一、大小灸の利害得失を記せ

- 一、曲池及び小兒斜差の穴の部位及び主治並に身體中灸を禁すべき部位及び理由
- 一、理學的消毒法は皮膚の消毒に適するや否や
- 一、二%石炭酸の溶解法及び使用法 (以上灸術)

神 奈 川 縣 (大正十五年五月)

- 一、直腹筋の起始、停止並に之れに分佈する神經の名稱
- 一、上肢の主なる淺在靜脈の名稱及び經過を述べよ
- 一、血行に及ぼす鍼の作用を述べよ
- 一、胃痙攣の要穴を記せ
- 一、主なる消毒薬二種を述べよ
- 一、鍼器の消毒方法を述べよ (以上鍼術)
- 一、脊柱を説明せよ
- 一、皮膚の構造及び機能を記せ
- 一、局所的温熱刺戟の效用
- 一、身柱、命門、長強の解剖的部位

- 一、患者の皮膚消毒方法
- 一、理學的消毒法の種類は如何 (以上灸術)

宮 崎 縣 (大正十五年六月)

- 一、頸部に於ける主なる血管、神經並に筋の名稱
- 一、皮膚の構造並に作用
- 一、消毒方法の種類及び消毒の名稱
- 一、腦貧血に對する刺鍼點並に其穴名を記せ
- 一、靈墟、神封、神道の解剖的部位及禁鍼穴名を記せ
- 一、肋膜炎に對する灸治點並に其穴名を記せ
- 一、期門、日月、人迎の解剖的部位、並に禁灸穴名を記せ

青 森 縣 (大正十五年九月)

- 一、上肢の血管、神經の名稱
- 一、肺の位置、形狀、機能

- 一、齒痛に對する刺鍼法及び其目的
- 一、鍼の効用に就て記せ
- 一、消毒藥の種類及び應用 (以上鍼術)
- 一、皮膚の構造及び機能
- 一、坐骨神經の徑路を問ふ
- 一、胃痛に對する灸治法
- 一、灸の有効なる理由を記せ
- 一、消毒を行ふ理由を記せ
- 一、消毒藥の種類を記せ (以上灸術)

東京警視廳 (大正十五年九月)

- 一、神經の種類に就て述べよ
- 一、胃の生理的作用に就て述べよ
- 一、消毒の種類、金屬製品の消毒法

栃木縣 (大正十五年十月)

- 一、僧帽筋の所在、形狀、分佈する神經は如何
- 一、迷走神經の作用
- 一、關節炎に對する治療上の注意を問ふ
- 一、坐骨神經痛に對する治療法
- 一、胃痙攣に對する治療法
- 一、消毒を行ふ理由及び消毒の順序
- 一、消毒藥の名稱及び二三の溶解法

茨城縣 (大正十五年十月)

- 一、上肢に分佈する神經を述べよ
- 一、心臟に就て知る處を述べよ
- 一、石炭酸とは如何なるものなるや及び用途(%)割合
- 一、從來鍼術の衰退せる理由
- 一、現今次第に灸治の發展しつゝある理由
- 一、上眼窩神經痛に對する刺鍼點
- 一、十四經に就て知る文述べよ

兵庫縣 (大正十五年十月)

- 一、食物の消化、吸収の概要を問ふ
- 一、坐骨神經の徑路に就て記せ
- 一、皮膚刺戟の治療に於ける價值如何
- 一、胃潰瘍、肺炎、盲腸炎、筋肉ロイマチス、偏頭痛に對する鍼の適否を記し其適するものゝ理由を記せ
- 一、消毒藥として必要なる條件を問ふ (以上鍼術)
- 一、血液成分及び其作用の概要を記せ
- 一、氣管枝喘息に對する灸治の價值を詳細に記せ
- 一、灸の禁忌症を挙げ其理由を記せ
- 一、日光の消毒的價值に就て記せ (以上灸術)

大阪府 (大正十五年十月)

- 一、血液の生理的作用を列記せよ
- 一、腹部内臓の名稱及び其位置
- 一、胃筋弛緩症(胃アトニー)に適應すべき經穴の名稱

部位、竝に其刺鍼方如何

- 一、刺鍼の直接、間接及び反射の三刺戟に就き各々其長所を記せ
- 一、經穴とは何ぞ現今醫學上よりの見解を述べよ
- 一、施灸せば組織に如何なる變化を來すや
- 一、蒸氣消毒法に就て記せ
- 一、酒精の消毒力に就て記せ

滋賀縣 (大正十五年十月)

- 一、肺の位置及び作用を問ふ
- 一、上肢を構成する骨の名稱を挙げよ
- 一、坐骨神經の徑路を問ふ
- 一、左の經穴の所在を記せ
- 一、鳩尾、陰交、石門、肩井、氣舍
- 一、偏頭痛の原因症狀及び其鍼灸治法を問ふ
- 一、胃痙攣の鍼灸治法を述べよ

- 一、鍼治、灸治の禁忌を問ふ
- 一、酒精及び石炭酸の用ひ方を述べよ

福岡縣 (大正十五年十月)

- 一、腹筋の名稱夫れに分佈する神経の名稱
- 一、血液運行に就て記せ
- 一、折鍼したる時の處置
- 一、坐骨神経痛の症候及び鍼治法
- 一、鍼術に消毒の必要なる理由 (以上鍼術)
- 一、肝臓の位置、形状及び機能
- 一、總頸動脈の起始、經過竝に神経との關係
- 一、灸の壯數、大小は何に由りて定むるや
- 一、常習便秘に於ける灸治法
- 一、灸術に於ける消毒の必要なる理由 (以上鍼術)

大分縣 (大正十五年六月)

- 一、肩胛關節の構成竝に之を通過する血管、神経の分佈
- 一、腎臓の生理的機能を記せ
- 一、消毒薬の種類竝に其溶解法を記せ
- 一、腎俞、臂臑、三陰交の部位及び適應症
- 一、鍼の筋肉機能に及ぼす作用を説明せよ
- 一、施灸せば皮膚に如何なる變化を來すや

奈良縣 (大正十五年十月)

- 一、迷走神経の起始、經過竝に其機能を記せ
- 一、腹筋の名稱、起始、停止竝に之に分佈する血管を擧げよ
- 一、翳風、郄門、四白、消灤、陽陵泉の位置竝に其部の神経と此の穴を應用する疾病を擧げよ
- 一、鍼の誘導法とは如何且つ反射作用との差異を問ふ
- 一、蒸氣消毒の方法竝に其應用を述べよ
- 一、鍼術家に最も適當なる消毒藥品三種を擧げ其調製方を記せ

法竝に應用を記せ (以上鍼術)

- 一、腋窩動脈の起始、經過竝に靜脈、神経との關係を述べよ
- 一、脾臓の位置形状、構造竝に其機能を記せ
- 一、灸術の治療的原理に就て知る處を記せ
- 一、慢性腎臟炎に對し施鍼部位と目的を記せ
- 一、理學的消毒と化學的消毒との利害を述べよ
- 一、生石灰の消毒上の應用を詳記せよ (以上灸術)

島根縣 (大正十五年十月)

- 一、迷走神経の起始及び其分佈する内臓の名稱
- 一、腸の消化作用、健康大人の體溫、脈搏及び呼吸數
- 一、痙攣に對する鍼の作用
- 一、胸部刺鍼に際し特に留意すべき事項
- 一、蒸氣消毒法、施術部の消毒法
- 一、疼痛に對する灸の作用

一、腦出血の灸治點

愛知縣 (大正十五年十月)

- 一、股動脈及び膝關動脈の所在、徑路を記せ
- 一、拮抗筋を説明し其數例を擧げよ
- 一、消毒の必要なる理由
- 一、神経痛の刺鍼法(雀啄術)と廻旋術とは何れが最も善く奏效するかを説明せよ
- 一、深腓骨神経の分佈する經穴と其適應症及び奏效する理由を説明せよ (以上鍼術)
- 一、筋とは如何
- 一、延髓の機能
- 一、施灸には消毒の必要ありや
- 一、關元俞の施灸は腸加答兒に奏效するや否や其理由を説明すべし
- 一、天突の適應症及奏效する理由を説明せよ(以上灸術)

靜岡縣 (大正十五年十月)

- 一、消化器の名稱及び位置を記せ
- 一、腎臓の生理的作用を記せ
- 一、麻痺に對し鍼治の有効なる理由を問ふ
- 一、腦貧血に對する鍼治法
- 一、鍼治の禁忌症
- 一、消毒薬の種類及び消毒方法
- 一、灸術の適應症及び禁忌症を記せ
- 一、痙攣に對する灸治の效用を記せ
- 一、消化不良に對する施灸點
- 一、施灸後の注意

和歌山縣 (大正十五年十一月)

- 一、大腿に分佈する神経の名稱を問ふ
- 一、横紋筋と滑平筋との生理上の差異如何
- 一、青靈、扶突、陰陵泉、強間の解剖的位置及び其禁鍼

灸を示せ

- 一、夜驚症の鍼療法を問ふ
- 一、遺尿症の灸療法を問ふ
- 一、神経性嘔吐の症候及び鍼灸療法を問ふ
- 一、鍼術施術時に於ける消毒の順序及び三%の石炭酸水一リツトルを製する方法を問ふ
- 一、施灸部の化膿する理由及び三%の石炭酸を一リツトル製する方法を問ふ

鹿兒島縣 (大正十五年十月)

- 一、骨の主要成分に就て説明せよ
- 一、大小循環の區別及び健康大人の常態(安靜時)に於ける脈搏數、體温、呼吸數に就て述べよ
- 一、消毒の必要なる理由
- 一、酒精と、石炭酸水とは消毒上幾何の優劣ありや
- 一、手の太陰肺經に於ける禁鍼灸の穴名を擧げて之が血

管、神経との關係を記せ

- 一、盲腸炎の原因、症候並に鍼灸療法如何

京都府 (大正十五年十月)

- 一、骨盤の構造及び肝臓の機能
 - 一、正中神経と筋肉及び脈管との關係
 - 一、大杼、風門、肺俞の部位、並に此の穴を應用する主なる疾病を擧げ其奏效する理由を説明せよ
 - 一、胃痛に對する刺鍼の部位並に各部位鍼法式及び目的を記せ
 - 一、理學的消毒法二種を擧げ其施行方法の異なる點を説明せよ
 - 一、消毒薬品を列擧し其各々に就て用途を詳記せよ
- 長崎縣 (大正十五年十一月)
- 一、下肢に於ける骨及び血管の名稱並に位置を記せ

一、消化液の名稱並に所在を記せ

- 一、乘風、横竹、飛陽の位置、筋、血管、神経の關係
- 一、坐骨神経の鍼治療法を記せ
- 一、鍼術に必要な消毒法を記せ
- 一、化膿とは如何なるものなりや並に原因を記せ

(以上鍼術)

東京府 (昭和二年三月)

- 一、股動脈經過並に靜脈との關係を記せ
 - 一、頸部の血管、神経の名稱及び位置を記せ
 - 一、復溜、歸來、委陽の位置、筋、血管、神経の關係
 - 一、後股皮下神経の分佈區域に存する穴名を記せ
 - 一、手指の消毒に用ゆる薬品名、稀釋法
 - 一、灸術に消毒の必要とする理由を説明せよ(以上鍼術)
- 胸神経の名稱
- 一、腎臓の生理的作用

- 一、消毒用石炭酸水の溶解法を記せ
- 一、左記物品に適應する消毒方法の名稱二種類を記せ
衣類、食器、鍼具、書籍、唾痰 (以上鍼術)
- 一、胃の位置及び構造
- 一、動脈血と靜脈血との差異
- 一、蒸氣消毒に適應する物品の名稱を列記せよ
- 一、消毒用藥品の名稱及び其稀釋度を列記せよ
(以上灸術)

兵庫縣 (昭和二年四月)

- 一、皮膚の構造並に作用を問ふ
- 一、消毒液の種類及び其作用
- 一、失鍼に對する處置如何
- 一、強刺激及び弱刺激の鍼治上の價値如何
- 一、呼吸の目的及び種類をあげて説明せよ (以上鍼術)
- 一、坐骨神經の起始、經過、並に分佈如何

- 一、血液循環に就て知る處を記せ
- 一、灸の醫治應用如何
- 一、施灸に對する注意事項如何
- 一、脊髓の中樞機能に就て記せ (以上灸術)

京都府 (昭和二年四月)

- 一、下肢に於ける神經及び血管の關係を問ふ
- 一、交感神經に對する鍼の作用
- 一、月經困難に應用する主要なる經穴と其應用する理由を説明せよ
- 一、消毒薬四種を挙げ其稀釋度及び稀釋法を説明せよ
- 一、手指消毒の目的及び消毒順序を述べよ (以上鍼術)
- 一、下肢に於ける神經と血管との關係を問ふ
- 一、頭蓋の縫合に就て述べよ
- 一、灸治の免疫體に及ぼす影響を記し其理由を説明せよ
- 一、大白、俞府、三焦俞の應用せらるる場合並に其有效なる理由を説明せよ

る理由を説明せよ (以上鍼術)

大阪府 (昭和二年四月)

- 一、腸管の名稱を上部より順位に記せ
- 一、皮膚の生理的作用
- 一、頸部に於ける刺鍼の作用並に其應用を記せ
- 一、血行に及ぼす鍼の作用及び其手技方法を記せ
- 一、灸治の種類を挙げ且つ其臨牀上の撰擇を述べよ
- 一、天柱、股門、天宗、人迎、腹哀の解剖學的部位並に禁穴の區別を記せ
- 一、燒却消毒とは如何且つ其適否を述べよ
- 一、昇汞水の稀釋度並に之が使用上の利害を述べよ

高知縣 (昭和三年五月)

- 一、骨盤を構成する骨の名稱及び其連接
- 一、肺臟の位置、形狀及び其作用を略記せよ

- 一、鍼術の手技及び其種類
- 一、黃疸の原因、症候及び鍼治法
- 一、消毒とは如何なるものなるか並に消毒と殺菌との區別
- 一、昇汞水の消毒上の特徴及び缺點
- 一、灸治の適應症及び不適應症
- 一、脚氣の症候及び灸治法

福岡縣 (昭和二年五月)

- 一、腰部に於ける筋の名稱及び之に分佈する神經の名稱
- 一、横隔膜の位置、形狀及び機能
- 一、胃痙攣の症狀及び鍼治法
- 一、副神經麻痺の症狀及び鍼治法
- 一、熱を用ひて消毒を行ふ方法を説明せよ (以上鍼術)
- 一、肺臟の位置、形狀及び機能
- 一、咀嚼筋の名稱及び之に分佈する神經の名稱

- 一、遺尿症の灸治法
- 一、脚氣の症狀及び灸治法
- 一、化膿は如何なる場合に起るや (以上灸術)

徳島縣 (昭和二年四月)

- 一、頸部に於ける迷走神経の経過を問ふ
- 一、含水炭素の消化に就て記せ
- 一、鍼術家としての必要なる藥品の名稱竝に使用方法
- 一、鍼術により頸筋ロイマチスの治療法
- 一、遺尿症の施灸法と其效を奏する理由
- 一、施灸部の化膿する理由

鹿兒島縣 (昭和二年五月)

- 一、肝臓の位置、形狀及び如何にして之を觸和し得るや
- 一、心尖搏動の位置竝に赤血球及び白血球の作用に就き

- 説明せよ
- 一、理學的消毒法とは如何なるものなりや
 - 一、手指の消毒に就て説明せよ
 - 一、經穴とは何ぞ近世醫學上よりの見解を述べよ
 - 一、頸部に於て刺鍼上特に注意を要する穴名を挙げよ
 - 一、神経痛に對する刺鍼の效ある理由及び其方式
 - 一、施灸せば血液成分に如何なる變化を來すや
 - 一、灸を禁すべき場合を問ふ

奈良縣 (昭和二年五月)

- 一、腰神経叢の位置竝に之れより發する神経の名稱及び其分佈を記せ
- 一、喉頭の位置、構造竝に其作用を記せ
- 一、指に存する經穴名と其部位を記せ
- 一、神経性心悸亢進に對する刺鍼點と刺鍼の奏效する理由を記せ

- 一、鍼術者に消毒の必要なる理由を述べよ
- 一、理學的消毒法を挙げ且つ各消毒法の長所、短所を記せ (以上鍼術)

- 一、甲狀項軸(幹)より發する血管の名稱竝に其分佈を記せ

- 一、皮膚の構造竝に其の生理的作用
- 一、灸の血液に及ぼす作用を記せ
- 一、六つ灸の部位と之れに應用する疾病に就て知る所を記せ
- 一、施灸に際し消毒の必要なる理由を述べよ
- 一、法定石炭酸水、昇汞水の調製法竝に其應用を記せ

千葉縣 (昭和二年五月)

- 一、胃の生理的作用
- 一、施鍼法竝に折鍼したる場合又は抜けざる場合の處置法を問ふ

福井縣 (昭和二年五月)

- 一、下肢に分佈する主要なる血管及び神経の名稱竝に経過
- 一、衝門、清冷淵、陽陵泉の部位を問ふ
- 一、消毒の目的
- 一、鍼術を施す場合の消毒の順序を問ふ
- 一、灸の生理的作用竝に其種類を挙げよ
- 一、背部の正中線に屬する穴名を問ふ
- 一、灸を施す場合の消毒法の順序を問ふ
- 一、膝液の生理を述べよ
- 一、左記の事項を明記せよ
- 一、(イ)心臟の位置。(ロ)ミハエル氏菱形窩
- 一、左記物件の消毒方法を記せ
- 一、(イ)喀痰。(ロ)鍼管。(ハ)書籍。
- 一、不適なる鍼術より起る疾病を挙げよ

- 一、靭筋、箕門、丘墟の解剖的位置を述べよ
- 一、顔面神経麻痺の處置を記せ (以上鍼術)
- 一、灸の温度の深達程度を述べよ
- 一、胃擴張の症狀及び處置を記せ
- 一、梁門、内庭、天容の解剖的位置を記せ
- 一、蒸氣消毒に適當する品物の名稱を記せ
- 一、迷走神経の作用を記せ
- 一、下腿部の皮下神経の分佈を述べよ (以上灸術)

滋賀縣 (昭和二年五月)

- 一、胸廓を構成する骨の名稱
- 一、肺臟の位置及び其作用
- 一、前脛骨動脈の經過を記せ
- 一、坐骨神経の徑路を問ふ
- 一、坐骨神経痛の鍼灸治法
- 一、耳の前後にある穴名

- 一、偏頭痛の症候、鍼灸治法を問ふ
- 一、石炭酸の用途を問ふ

北海道 (昭和二年四月)

- 一、消化作用に就て記せ
- 一、血液の成分に就て記せ
- 一、上肢を支配する脊髄神経中樞の高さを挙げよ
- 一、腰部の刺鍼點を挙げよ
- 一、脚氣の主要症候及び其の鍼療法を問ふ
- 一、施鍼時の消毒法を問ふ
- 一、皮膚の構造及び官能に就て記せ (以上鍼術)
- 一、火傷の種類及び症狀を述べよ
- 一、灸治の作用に就て
- 一、灸の禁忌症及び禁忌部位を挙げよ
- 一、消毒薬五種を挙げ其使用法を記せ
- 一、左の病原體の侵入門戸を記せ

腸チフス、結核、微毒、ペスト、丹毒 (以上灸術)

秋田縣 (昭和二年四月)

- 一、上膊諸筋の名稱並に起始、附着點及び作用を記せ
- 一、腎臟の位置、及び生理的作用を記せ
- 一、胃加答兒の症狀及び鍼灸術を記せ
- 一、坐骨神経痛に對する鍼灸術を記せ
- 一、消毒薬の名稱及び其使用法を記せ

宮崎縣 (昭和二年五月)

- 一、三叉神経の分佈に就て記せよ
- 一、泌尿器の名稱並に尿分泌の機能を挙げよ
- 一、消毒薬五種以上を挙げて其使用法を記せ
- 一、膀胱麻痺に對する刺鍼點の部位、穴名を挙げよ
- 一、臍中、靈臺、陽關、承扶の解剖的部位並に禁鍼、要穴の區別

- 一、解谿、三陽絡の解剖的部位を挙げよ
- 一、慢性胃加答兒に於ける施灸部位の穴名を挙げよ
- 一、心俞、秩邊、人迎、會陽の解剖的部位並に禁鍼、要穴の區別

青森縣 (昭和二年九月)

- 一、大腿に於ける血管、神経及び其名稱を記せ
- 一、胃の機能を記せ
- 一、顔面神経に對する刺鍼點に目的を記せ
- 一、鍼治の有效なる理由を記せ
- 一、患部の消毒法を記せ
- 一、消毒の目的並に消毒薬の種類を記せ (以上鍼術)
- 一、尺骨神経の徑路を記せ
- 一、皮膚の作用を記せ
- 一、胃擴張に對する灸治法を記せ
- 一、灸治を施す場合の心得事項を記せ

- 一、手指を消毒する目的如何
- 一、消毒薬の種類を記せ (以上灸術)

三 重 縣 (昭和二年六月)

- 一、關節とは如何
- 一、肺の作用を記せ
- 一、胸部、腹部に於ける禁鍼灸穴を記し鍼の注意を記せ
- 一、管鍼法と撚鍼との利害得失如何
- 一、鍼の消毒の必要なる理由
- 一、手指消毒法如何 (以上鍼術)
- 一、皮膚中に存在する必要なる器官
- 一、腹部内臓の名稱
- 一、灸が血液生理に及ぼす影響如何
- 一、古来より禁灸穴中著名なる穴五穴を挙げ其禁すべき理由を記せ
- 一、如何なる場合に消毒を行ふや

- 一、消毒薬の種類及び用法 (以上灸術)

栃 木 縣 (昭和二年五月)

- 一、尺骨の位置を記せ
- 一、三叉神経の起始及び分佈部位を記せ
- 一、皮膚の生理的作用を記せ
- 一、施術前消毒の必要なる理由を記せ
- 一、消毒薬品の名稱及び二、三の調製法を記せ

警 視 廳 (昭和二年九月)

- 一、皮膚の構造を記せ
- 一、消化液の種類及び名稱を記せ
- 一、施術局部の消毒の方法を記せ
- 一、唾痰の消毒の方法を記せ

奈 良 縣 (昭和二年十月)

- 一、顔面神経の起始、經過並に其分佈を記せ

- 一、肝臓の位置、形状及び作用を記せ
- 一、刺鍼は如何なる部に禁すべきや其理由を記せ
- 一、胃弛緩症に對する施術の部位、穴名並に奏效する理由を説明せよ
- 一、鍼術業者に消毒の必要なる理由を明記せよ
- 一、理學的消毒各種の利害を述べよ (以上鍼術)
- 一、足部に於ける動脈の名稱經過分佈を記せ
- 一、前膊前側筋の名稱、起始、停止、並に同側を通過する神経を記せ
- 一、灸の血液に及ぼす作用を記せ
- 一、肺俞、巨骨、中髻、公孫の部位並に應用疾病を記せ
- 一、灸術業者に消毒の必要なる理由を説明せよ
- 一、法定昇汞水、石炭酸水の調製方法並に之れが應用上の利害を記せ (以上灸術)

岐 阜 縣 (昭和二年十月)

- 一、理學的消毒と化學的消毒の異なる點を挙げよ
- 一、心臓、胃、子宮に分佈する神経の名稱及び起始を問ふ
- 一、鍼の反射作用とは如何、適例二三を挙げ且つ頭部孔穴名及び部位を列記せよ
- 一、撚、管、打法の優劣並に鍼の細大、長短の異なる理由 (以上鍼術)
- 一、理學的消毒と化學的消毒の異なる點
- 一、三叉神経の作用及び各枝通過する裂孔の名稱
- 一、急性ロイマチスに對する灸術及び其目的
- 一、各種灸柱に發する温度及び肩胛部にある經穴の名稱並に部位を問ふ (以上灸術)

大 阪 府 (昭和二年十月)

- 一、心臓の位置及び各部の名稱を詳記せよ
- 一、血液の生理的作用を問ふ

- 一、鍼術とは如何其應用上特異なる點を記せ
- 二、禁鍼穴中主要なる五穴を擧げ其部位竝に理由を記せ
- 一、艾とは何ぞや竝に治療上の撰擇を記せ
- 一、承靈、條口、大敦、臍會、腰俞の解剖的部位竝に禁灸の區別を記せ
- 一、理學的消毒方法とは如何
- 一、石炭酸は如何なる目的に如何にして使用するや

佐賀縣 (昭和二年十月)

- 一、胃の位置、形狀、構造
- 一、鍼の效用如何
- 一、灸治の效用如何
- 一、皮膚の生理的作用如何
- 一、膀胱加答兒の原因、症候、鍼治法如何
- 一、神經性腸痛の原因、症候及び灸治法
- 一、消毒藥の種類及び性状如何

滋賀縣 (昭和二年十月)

- 一、骨盤を構成する骨の名稱を問ふ
- 一、咀嚼筋きんの名稱及び之に分佈する神經の名稱を問ふ
- 一、尺骨動脈の起始及び其分佈を述べよ
- 一、三角筋の起始、停止を問ふ
- 一、坐骨神經痛の原因、症狀、及び鍼灸治法を記せ
- 一、常習頭痛の原因、症狀及び鍼灸治法を記せ
- 一、背部に於ける禁灸穴を問ふ
- 一、胸部、腹部に於ける禁灸穴を問ふ
- 一、リゾールの性状及び溶解法、用途を問ふ

島根縣 (昭和二年十月)

- 一、坐骨神經の起始、經過、枝別
- 一、尿の性状、成分及び其排泄路
- 一、有熱時に於ける刺鍼の可否、可とせば其刺法

- 一、頸部及び胸部の禁忌點
- 一、熱による消毒法を列擧し各其方法を簡單に説明せよ
- 一、左記の消毒藥の製法
 - 五%石炭酸水、五十倍クレゾール水三百グラム
- 一、有熱時に於ける施灸の可否、可とせば其施灸法
- 一、施灸禁忌の部位

長野縣 (昭和二年十月)

- 一、鎖骨の位置、形狀、聯接
- 一、膀胱に就て記せ
- 一、飲用したる水分は何れの部を通じて體外に排泄せらるゝや
- 一、腦神經は何對ありや其名稱を擧げよ
- 一、臍より恥骨軟骨接合に至る經穴の名稱及び間隔を問ふ
- 一、クレゾール石鹼水に就て記せ

兵庫縣 (昭和二年十月)

- 一、脊髄神經の名稱竝に其分佈如何
- 一、發汗の生理及び汗の成分を記せ
- 一、胃痙攣に對する治療方法如何
- 一、施鍼中突然患者卒倒せり如何なる處置をとるや
- 一、淋巴及び淋巴腺に就て詳記せよ (以上鍼術)
- 一、血液循環に就て知る所を記せ
- 一、大後頭孔を通過するものゝ名稱
- 一、灸を禁すべき部位を問ふ
- 一、三角筋ロイマチスの施灸法
- 一、尿の分泌竝に排泄を記せ (以上灸術)

臺南 (昭和二年四月)

- 一、腦髓、脊髓、末梢神經とは何なるや
- 一、上肢筋の名稱を記せ

- 一、消化管の作用
- 二、血液循環の理を記せ
- 一、消毒法、消毒の種類、目的竝に化學的消毒とは如何
- 一、糞便、手指、衣類、鍼、「ナイフ」、喀痰、以上に對し最も適當なる消毒法を記せ

茨城縣 (昭和二年十月)

- 一、打撲より來る腰痛に鍼灸の可否
- 一、治療に際し消毒の順序方式
- 一、腎臓の位置、形狀、生理的作用、マルピギー氏小體に就て
- 一、鍼灸に消毒の必要なる理由
- 二、二%の石炭酸水百瓦中に石炭酸何程含有するや

熊本縣 (昭和二年十月)

- 一、肩胛筋の名稱及び之に分佈する神経

- 一、呼吸作用とは如何なる事をいふや及び呼吸器に屬する器官の名稱
- 一、督脈經に於ける禁鍼灸の穴名及び盲腸炎の症狀及び鍼灸點を示せ

徳島縣 (昭和二年十月)

- 一、股神經の分佈狀態
- 一、生殖器の名稱及び位置
- 一、凝血現象を説明せよ
- 一、鍼の血液循環に及ぼす作用如何
- 一、鍼術の理想的消毒法は如何
- 一、灸の筋肉に對する作用如何
- 一、灸痕化膿の理由竝に其狀態如何

- 一、ブーバルト氏靱帶とは如何竝に其下を通る主なる血管、神經に就て記せ
- 一、消化作用とは如何なる事か
- 一、前膊及び腕關節前面の經穴の名稱及び部位を記せ
- 一、腸疝痛に對する剖鍼點及び各其奏效する理由如何
- 一、内臟疾患の場合に起る皮膚知覺異常と灸治との關係を記し其奏效する理由を説明せよ
- 一、腰椎各側に於ける穴名部位竝に其穴を應用する場合
- 一、消毒法の意義を問ふ
- 一、煮沸消毒法及び其應用に就て記せ

京都府 (昭和二年十月)

神奈川縣 (昭和二年十一月)

- 一、上肢淺靜脈に就て記せ
- 一、腎臟及び副腎の位置竝に機能を述べよ

- 一、拔鍼後、赤點を生ずる理由及び消失せしむる方法如何
- 一、後頸部に於ける經穴の解剖的部位を問ふ
- 一、鍼術に要する器具の消毒方法
- 一、術者の手指の消毒方法 (以上鍼術)
- 一、頭蓋骨、顔面骨の名稱及び數を記せ
- 一、心臟の位置及び構造
- 一、灸的刺戟と神經作用との關係
- 一、撓骨神經麻痺治療に必要な灸穴を記せ
- 一、理學的消毒とは如何
- 一、昇汞及び石炭酸の取扱上の注意を述べよ (以上灸術)

長崎縣 (昭和二年十月)

- 一、股動脈の部位及び枝別に就て記せ
- 一、迷走神經の機能に就て記せ
- 一、膾會、人迎、公孫の位置、其部の解剖的關係を記せ

- 一、偏頭痛に對する鍼治法を記せ
- 一、化學的消毒法に就て記せ
- 一、鍼の消毒法に就て記せ

和歌山縣 (昭和二年十月)

- 一、肩胛部に於ける筋肉、血管、神經の關係を記せ
- 一、神經の傳達機能及び反射運動を説明せよ
- 一、晴明、曲澤、承筋の解剖的部位及び其禁鍼を示せ
- 一、小兒急癇の原因、症候及び療法を問ふ
- 一、理學消毒法と化學消毒法の區別及び左記の物品の消毒法を問ふ

被服、ゴム管、鍼、爪洗刷毛、手術部

- 一、石炭酸水は何倍のものを用ふるや其調製法を問ふ
- 一、承光、長強、隱白の解剖的位置及び其禁鍼を記せ
- 一、月經困難症の原因、症候及び療法を問ふ

廣島縣 (昭和二年七月)

- 一、胸鎖乳嘴筋の起始停止及び神經との關係
- 一、(イ)尿の主なる成分(ロ)心臟制止神經
- 一、氣管枝喘息に對する鍼治法
- 一、翳風、承滿、肩外、殷門、乳根の解剖的部位並に内に存在する器管の名稱
- 一、腦充血の灸治法
- 一、會陽、合陽、環跳、勞宮、水分の解剖的部位

山口縣 (昭和二年十一月)

- 一、腦神經の名稱並に分佈を記せ
- 一、胸腔内臟器の名稱並に分佈を記せ
- 一、顔面神經麻痺の症候及び治療術式を記せ
- 一、興奮術の特技目的、生理的變化及び治療の例を示せ
- 一、消毒の目的及び各種消毒法を記せ
- 一、灸の血液成分に及ぼす影響及び蛋白體療法とは如何
- 一、消毒の目的及び各種消毒法を記せ

愛媛縣 (昭和二年十一月)

- 一、頭部を循る知覺神經の名稱及び起始、經過を問ふ
- 一、消化液の名稱及び腸の機能を問ふ
- 一、鍼の人體に及ぼす作用
- 一、尺澤、委中、靈臺、懸顛、幽門の部位並に解剖的關係及び禁鍼灸の區別を記せ
- 一、灸の血管、神經に及ぼす影響

鹿兒島縣 (昭和二年十一月)

- 一、頸、項部に就き解剖的説明を與へよ
- 一、皮膚の生理的作用に就て説明せよ
- 一、アルコール及び石炭酸水に就き消毒上の價值並に使用上注意すべき事項に就て説明せよ
- 一、臍の上下左右に存する穴名並に解剖的所見を述べよ
- 一、神經性消化困難に應用する主要なる穴名と各々其理

由を説明せよ

- 一、折鍼の處置如何
- 一、有、無癰痕灸の優劣を述べよ
- 一、副神經麻痺の症候並に灸治法を記せ

臺北 (昭和二年十一月)

- 一、下肢に分佈する血管、神經の名稱を記せ
- 一、腰部に於ける脊髓の中樞とは如何
- 一、鍼灸術に關する注意を記せ
- 一、大椎の位置及び血管、神經の名稱を記せ
- 一、石門と三陽絡の位置を挙げよ
- 一、翳風の位置と深部の血管、神經の名稱を記せ
- 一、神經性消化不良の原因、症候と刺鍼點を挙げよ
- 一、肋間神經痛の原因、症候と刺鍼點を挙げ採穴せしむ
- 一、灸の種類、艾の製造法並に灸の傳來せし時期を記せ
- 一、管鍼の先祖と其人の傳記を記せ

一、消毒の方法と消毒薬の名稱を挙げよ

山 梨 縣 (昭和三年三月)

- 一、傳染病患者に接したる時の注意を記せ
- 一、腎臟の位置、形狀、作用
- 一、胸廓を構成する筋の名稱
- 一、天柱、人迎、腎俞、會陰の解剖的部位
- 一、肋間神經痛の症候、療法
- 一、消毒の理由並に鍼灸術に於ける消毒の方法

東 京 府 (昭和三年三月)

- 一、上膊骨の名稱を挙げよ
- 一、呼吸に就て記せ
- 一、消毒の必要なる理由
- 一、酒精にて消毒する方法
- 一、上膊の筋及び主なる動脈の名稱

一、消化作用を述べよ

一、施術局所の消毒に使用する薬液の名稱及び濃度

一、熱を用ひて行ふ消毒方法

一、知覺神經及び運動神經の病的變化に對する鍼の作用

一、通谷、商曲の部位

一、心臟の位置、形狀各部の名稱

一、尿に就いて記せ

一、消毒の目的を達するに必要な條件

一、消毒用昇汞水使用上の注意

一、神經痛とロイマチスとの鑑別及び施灸法

一、マラリヤとは何ぞ灸治の可否及び灸治法

一、肩髃、支溝の部位

兵 庫 縣 (昭和三年四月)

一、瓦斯交換に就て記せ

一、中樞麻痺と末梢麻痺との鑑別

一、遊鍼を來す理由其際拔鍼の方法如何

一、次の諸疾患に對する鍼術治療の適否並に其理由如何

(イ)便秘、(ロ)腦膜炎、(ハ)ロイマチス、(ニ)脊髄
癆、(ホ)ヒステリー

一、煮沸消毒方法に就て記せ (以上鍼術)

一、皮膚の構造並に作用

一、神經の種類及び作用

一、皮下靜脈上に施灸すれば如何なる影響を來すか

一、穴とは何ぞや

一、石炭酸水の製法と其用途を問ふ (以上灸術)

大 阪 府 (昭和三年四月)

一、顔面神經の徑路を詳記せよ

一、血液の生理的作用を列記し之を簡單に説明せよ

一、鍼治療に伴ふ危害は如何なる場合に來るや且つ之
が豫防に關する注意を詳記せよ

一、神道、大谿、巨體、筋縮、陽池の部位と禁鍼穴の區
別を挙げ且つ巨體、筋縮の主治を記せ

一、施灸の皮膚、血管及び神經に及ぼす變化を問ふ

一、通谷、陽綱、漏谷、天髀、巨關の解剖學的部位並に
禁灸の區別を挙げ且つ天髀、巨關の應用を記せ

一、消毒薬としてのアルコールを説明せよ

京 都 府 (昭和三年四月)

一、胃の位置、形狀、構造並に機能を記せ

一、撓骨神經の經過に就き筋肉、脈管との關係を記せ

一、理學的消毒法の種類並に各消毒の際注意すべき點を
記せ

一、左の事項を説明せよ

(イ)消毒液を作る上に於ける倍數及び% (プロセン
ト)の意義

(ロ)昇汞水の消毒作用に於ける利害得失

- 一、氣管枝喘息に對する經穴及び各其應用の理由を問ふ
- 一、神經痛に對する刺鍼法並に坐骨神經痛に應用する經穴の名稱及び部位を問ふ
- 一、高熱患者に對する施灸の可否の症例を挙げ其理由を説明せよ

- 一、附分、屋翳、膈俞、志室、三陰交の部位解剖的所見並に應用せらるゝ場合を記せ

茨城縣 (昭和三年五月)

- 一、頸部を構成する骨及び筋肉、脈管

- 一、消毒の順序及び用式、使用藥品

- 一、半身不隨に對する刺鍼點の部位を一々解剖的に説明せよ

- 一、慢性氣管枝加答兒の灸治點

鹿兒島縣 (昭和三年四月)

- 一、心臟瓣膜の位置、名稱及び機能に就て説明せよ
- 一、體溫發生の根源及び其調節作用に就て説明せよ
- 一、理學的消毒とは如何(注意其他一切記すべからず)
- 一、胸椎各側に於ける穴名、部位並に解剖的所見を述べよ

- 一、肋間神經痛に對する刺鍼點及び刺鍼上の注意

- 一、前頸部刺鍼上特に注意を要する理由を述べよ

- 一、灸の神經系統に及ぼす影響

- 一、盲腸炎の原因、症候並に點灸の利害を述べよ

滋賀縣 (昭和三年五月)

- 一、上肢に關する三つの大なる關節の名稱及び之等を構成する骨の名稱を記せ

- 一、胃の位置、形狀、作用及び之に分佈する神經、血管を問ふ

- 一、二頭股筋の起始、停止並に之に分佈する神經と動脈

を問ふ

- 一、肋間神經痛の原因、症候及び之が鍼灸治法を記せ

- 一、腦溢血の原因、症候及び其半身不隨に對する鍼灸治法を問ふ

- 一、昇汞の性状及び消毒用昇汞水の調製法を問ふ

島根縣 (昭和三年四月)

- 一、顔面神經の起始及び經過

- 一、皮膚の作用

- 一、胃の諸症中鍼治の禁忌症及び禁忌の理由

- 一、瘰癧の刺鍼點及び其有效なる理由

- 一、消毒藥としての昇汞水

- 一、左記の消毒藥の製法

二%クレゾール水五百瓦、二十倍石炭酸水八百瓦

- 一、煮沸消毒法

- 一、尿道加答兒の灸治點

一、脚氣八處の穴名

熊本縣 (昭和三年五月)

- 一、頭蓋骨に就て知るところを示せ

- 一、消化とは如何なる作用なるや消化器に屬する器官の名稱を示せ

- 一、側胸部の穴名及び氣衝の解剖的部位其血管、神經との關係

- 一、便秘に對する鍼灸の處置

- 一、手指の消毒法

徳島縣 (昭和三年四月)

- 一、肝臓の位置及び構造を記せ、且つ其機能を述べよ

- 一、上肢神經の名稱及び其徑路を述べよ

- 一、肋間神經痛の原因、症候並に其鍼灸法

- 一、アルコール(酒精)、石炭酸、リゾール、昇汞、以上

の消毒薬の使用法

- 一、慢性關節ロイマチスの原因、症候及び其灸治法を述べよ

- 一、無癢痕灸と有癢痕灸の方法及び其各優劣を記せ

高知縣 (昭和三年四月)

- 一、皮膚の構造並に生理的作用を記せ

- 一、體温調節に就て述べよ

- 一、炎症とは何ぞ施術の可否及び其二三の例を示せ

- 一、膀胱麻痺の原因、症候及び鍼治法を示せ

- 一、純アルコールよりも稀アルコールが奏效確實なる理由如何

- 一、鍼術に消毒の必要なる理由を説明せよ

- 一、化膿は如何なる場合に起るや

- 一、風池、陽關、孔最の解剖的位置並に適應症を記せ

山口縣 (昭和三年五月)

- 一、正中神經の經過及び作用を問ふ

- 一、肝臟の位置、形狀及び作用を問ふ

- 一、ヘツド氏帯と經穴との關係を記せ

- 一、主なる消毒薬の種類及び調製法を記せ (以上鍼灸共通)

(以上鍼灸共通)

- 一、顔面神經麻痺の各性質を記し刺鍼點及び手技を記せ

- 一、偏頭痛の各性質を記し灸治點及び術式を問ふ

宮崎縣 (昭和三年六月)

- 一、下肢の主なる神經、血管の名稱及び下腿に於ける筋名を挙げよ

- 一、皮膚の構造及び其生理的作用に就て記せ

- 一、消毒の目的を達するに必要なる條件を挙げよ (以上共通)

(以上共通)

- 一、肋間神經痛の症候及び之に對する鍼治法並に刺鍼點穴名を記せ

- 一、承筋、心俞、天突の解剖的部位を記し禁穴要穴を區

別せよ

- 一、施灸に就て記せ

- 一、白環俞、肩貞、會陽の解剖的部位を記し禁穴、要穴を區別せよ

秋田縣 (昭和三年五月)

- 一、頭蓋を構成する骨の名稱

- 一、肝臟の位置、構造及び機能

- 一、脚氣の症候及び之に對する鍼灸術を記せ

- 一、坐骨神經痛の症候及び鍼灸術を記せ

- 一、消毒薬の名稱及び其應用

奈良縣 (昭和三年五月)

- 一、脚神經叢の位置並に之より發する神經の名及び各其分佈を記せ

- 一、横隔膜に就て詳記せよ

- 一、人迎、天府、神門、解谿、大迎の部位並に其部に存する血管、神經の名稱を記せ

- 一、腹部刺鍼上注意すべき事項を記せ

- 一、手指の消毒方法を述べよ

- 一、鍼術業者に適當なる消毒藥品三種を挙げ其性状と調製方法並に應用を記せ (以上鍼術)

- 一、坐骨神經の起始、經過、分岐並に其分佈を記せ

- 一、前膊動脈の經過並に筋肉との關係を記せ

- 一、灸の赤血球、白血球に及ぼす影響に就て知るところを記せ

- 一、子宮内膜炎の灸治點を挙げ各其奏效する理由を記せ

- 一、各種の理學的消毒方法に就て注意すべき點を挙げよ

- 一、灸術業者として消毒智識を要する理由を述べよ (以上灸術)

(以上灸術)

香川縣 (昭和三年五月)

- 一、頭蓋骨の名稱個數及び神經の名稱を問ふ
 - 一、横隔膜の位置、形狀及び其作用を問ふ
 - 一、(イ)消毒の意義を問ふ (ロ)業務上必要なる消毒薬の名稱及び其用法を問ふ
 - 一、腋窩を通過する神経、血管、筋及び其筋との關係を問ふ
 - 一、(イ)肘關節及び膝關節周圍の穴名を記せ
 - 一、(ロ)左記の諸穴の位置、竝に禁鍼、禁灸穴を指摘せよ
- 脊中、玉枕、魚際、膻中、伏兎
- 一、胃病に對する鍼療法如何
 - 一、腸疾患に對する灸療法如何

三 重 縣 (昭和三年六月)

- 一、胃の消化作用
- 一、皮膚の知覺作用とは如何

- 一、鍼の大小に對する利害得失は如何
- 一、止血法として鍼の效ある理由
- 一、化學的消毒の方法に就て知る處を記せ
- 一、施術部より侵入し易き傳染病の名稱及び其豫防消毒方法 (以上鍼術)
- 一、坐骨神經に就て知る處を記せ
- 一、内分泌に就て知る處を記せ
- 一、外分泌に就て知る處を記せ
- 一、艾灸と温灸との利害得失
- 一、胃擴張に對する施灸點三穴竝に其解剖的部位を記せ
- 一、昇汞水の消毒上の用途
- 一、施術時に行ふ消毒方法 (以上灸術)

青 森 縣 (昭和三年九月)

- 一、坐骨神經の徑路を問ふ
- 一、心臟の位置、形狀及び機能を問ふ

- 一、鍼治により鎮靜作用を起さしむるには如何なる神經に如何なる刺激を施すべきや
 - 一、鍼の消毒法を問ふ
 - 一、消毒薬の名稱竝に使用法を問ふ (以上鍼術)
 - 一、前膊に於ける筋及び神經の名稱を問ふ
 - 一、左の臟器の位置、形狀及び機能を問ふ
 - 一、(イ)心臟、(ロ)胃、(ハ)肝臟、(ニ)脾臟
 - 一、坐骨神經痛の灸治法を問ふ
 - 一、灸の方法と適應症を問ふ
 - 一、消毒の目的を問ふ
 - 一、消毒薬の種類及び使用法を問ふ (以上灸術)
- 和 歌 山 縣 (昭和三年九月)
- 一、膀胱の位置、形狀及び之に分佈する血管神經如何
 - 一、唾液の生理的作用を記せ
 - 一、三%石炭酸水の調製法及び其用途を問ふ

- 一、理學的消毒法とは如何鍼灸術者としての應用を述べよ (以上鍼灸共通)
 - 一、神經性消化不良の症候及び鍼療法を問ふ
 - 一、玉枕、曲池、附陽の解剖的位置及び禁鍼を示せ (以上鍼術)
 - 一、夜盲症の原因及び灸療法を問ふ
 - 一、扶突、少商、隱白の解剖的部位及び禁灸を示せ (以上灸術)
- 山 口 縣 (昭和三年十一月)
- 一、皮膚の構造竝に生理的作用を問ふ
 - 一、坐骨神經の起始經過に就て記せ
 - 一、消毒法に幾種在りや且つ施行上の注意を問ふ
 - 一、單刺術、雀啄術、廻旋術の手法、竝に生理的作用を記せ
 - 一、月經困難症の原因症候竝に治療を問ふ
 - 一、腦溢血の原因症候竝に治療法を問ふ (以上鍼術)

- 一、皮膚の構造並に生理的作用を問ふ
- 一、坐骨神経の起始經過を記せ

- 一、灸の生理的作用及び灸の大小壯數は何に由りて定めらるや

- 一、消毒法に幾種在りや並に施術上の注意を問ふ
- 一、月經困難症の原因並に治療法を問ふ
- 一、中風の原因症候並に治療法を問ふ (以上灸術)

愛媛縣 (昭和三年十一月)

- 一、胸部を構成する骨の名稱及び联接を問ふ

- 一、鍼治に於ける制止作用は如何例を示せ

- 一、延髓の機能を問ふ (以上鍼灸共通)

- 一、左の經穴の解剖的位置及び禁灸を問ふ

志室、三陽絡、會陽、腹哀、百會 (以上鍼術)

- 一、灸治の不可なる場合を問ふ

- 一、延髓の機能を問ふ

- 一、自己の使用せる消毒薬の名稱を選んだ理由を問ふ (以上灸術)

大阪府 (昭和三年十月)

- 一、腋窩動脈の經過及び其分佈する筋の名稱を記せ
- 一、腦神経の作用を擧げよ

- 一、急性、慢性撓骨神経痛の治療法、及び刺鍼後疼痛の増劇せし場合の處置を問ふ

- 一、大包、天容、痞根の解剖的部位、神經、血管の關係並に其應用を問ふ

- 一、直射光線の殺菌作用及び應用を問ふ

- 一、皮膚面消毒薬としてリゾールの使用法を問ふ (以上鍼術)

- 一、皮膚の構造を詳記せよ

- 一、體温の起る生理的作用を記せ

- 一、有熱患者にする施灸の可否並に其理由を問ふ

- 一、同名異穴の穴名を擧げ其解剖學的的部位並に禁穴の區

別を記せ

- 一、熱を應用する消毒法を列記し且つ之に要する時間及び温度的關係を記せ

- 一、手の消毒に適する藥品名及び其稀釋度を問ふ (以上灸術)

京都府 (昭和三年十月)

- 一、甲状腺の構造並に作用に就て記せ

- 一、頸部に於ける主要血管並に神經の經過に就て記せ

- 一、消毒と清潔と異なる點を説明せよ

- 一、消毒に適せる「フォルマリン」水の調製法及び消毒應用上に於ける適不適を述べよ (鍼灸術共通)

- 一、上肢の主なる神經の神経痛に對する刺鍼穴名及び刺鍼方式如何

- 一、子宮疾患に應用する經穴及び各其應用の目的を記せ (以上鍼術)

- 一、胃酸過多症に對する主治要穴に應用する理由

- 一、腦戶、邪門、心兪、期門、膝關の部位、應用する場合 (以上灸術)

福岡縣 (昭和三年十月)

- 一、脾臟の位置、形狀を問ふ

- 一、上肢に分佈する主なる神經の名稱を問ふ

- 一、齒痛に對する鍼治法を問ふ

- 一、顔面神経麻痺の症候及び鍼治法を問ふ

- 一、鍼術施術時に消毒を行ふ理由並に其順序方法を述べよ (以上鍼術)

- 一、肩胛骨の位置、形狀及び其機能を問ふ

- 一、膝の位置、形狀及び其機能を問ふ

- 一、灸の壯數及び大小を定むる場合を説明せよ

- 一、坐骨神経痛の症狀及び灸治法を問ふ

- 一、灸治に際し消毒を行ふ理由及び其順序、方法を説明せよ (以上灸術)

熊本縣 (昭和三年十月)

- 一、頸部に於ける主なる神経及び血管の關係を問ふ
- 一、腎臓の生理的作用を述べよ
- 一、極泉、湧泉、水泉、天泉、廉泉、曲泉、陰陵泉は何經に屬するや且解剖的部位を記せ
- 一、慢性胃加答兒の症狀及び要穴
- 一、主なる消毒薬品の名稱及び其用法

静岡縣 (昭和三年九月)

- 一、顔面骨の名稱
- 一、正中神経の経路を記せ
- 一、胆汁の作用 (以上鍼灸共通)
- 一、左の穴の位置を示せ
- (イ)承靈 (ロ)和膠 (ハ)合谷
- 一、鍼の興奮作用とは如何

岡山縣 (昭和三年十月)

- 一、胃痙攣に對する施鍼法 (以上鍼術)
- 一、脚氣に對する灸治法及び其施灸の時期
- 一、神経性胃痛に對する施灸點
- 一、施灸後血液に及ぼす變化如何 (以上灸術)

鹿兒島縣 (昭和三年十月)

- 一、鍼の消毒法
- 一、皮膚の消毒及び消毒薬の稀釋度
- 一、坐骨神経の位置及び經過
- 一、歩行は如何にして營まるゝや
- 一、後頭神経痛の症候及び治療法
- 一、慢性腸カタルの症候及び治療法
- 一、血管及び筋肉に及ぼす施灸の變化

山形縣 (昭和三年九月)

- 一、人體に於ける新陳代謝機能に就き其概要を述べよ

- 一、脾臓の位置、形狀竝に其觸知せらるべき事項を擧げて説明せよ
- 一、結核豫防上喀痰の處置に就き注意すべき事項を擧げて説明せよ
- 一、側腹部に於ける穴名、部位竝に解剖的所見を述べよ (鍼灸共通)
- 一、刺鍼刺戟の強弱を調節する諸種の條件を列記せよ (鍼術)
- 一、坐骨神経痛の原因、症候竝に鍼治法
- 一、灸の腸蠕動に及ぼす影響如何
- 一、膀胱麻痺の原因、症候竝に灸治法 (灸術)

茨城縣 (昭和三年十月)

- 一、三叉神経の起始、分佈
- 一、敬禮時の姿體を鍼灸家として如何と見るや
- 一、消化作用を系統的に述べよ
- 一、牛乳飲用時に於ける胃の作用

- 一、消毒とは如何竝に(リゾールの稀釋度数の色の鑑別法) (以上學說)
- 一、無癩灸治の價值と適應症
- 一、神経性消化不良の灸治點
- 一、四華の穴とは如何 (以上實地)

山形縣 (昭和三年九月)

- 一、心臟、肺臓に循る血管、神経の名稱如何
- 一、小腸と大腸の生理的作用の異なる所を記せ
- 一、刺鍼禁忌の部位及び其禁忌症を記せ
- 一、慢性胃加答兒の症狀及び療法を記せ
- 一、昇汞水、アルコール、石炭酸及び煮沸消毒の鍼に對する消毒の適否及び其方法を記せ
- 一、中風竝に關節脫臼に就て (實地) (以上鍼術)
- 一、膀胱の位置、形狀及び構造を記せ
- 一、脊髓の機能及び主なる中樞を記せ

- 一、赤血球、白血球の生理的作用及び灸治により起る處の影響を記せ
- 一、慢性氣管枝炎に對する解剖的灸治點及び其效果、壯數を記せ

- 一、石炭酸、クレゾール、昇汞水中灸術に必要な消毒藥品を挙げ一々其用法を記せ

- 一、顔面神経麻痺及び遺尿症の治療法並に部位 (以上灸術)

岐 阜 縣 (昭和三年十月)

- 一、三叉神経の分佈を記せ
- 一、皮膚の構造及其作用 (以上鍼灸共通)
- 一、頸部に刺鍼して失神卒倒することあり其理由並に是を覺醒せしむべき鍼術を問ふ (大久保適齋氏による)
- 一、急性腸加答兒に對する鍼術の可否及其理由並に天突の解剖的位置と刺鍼時の注意事項を挙げよ

- 一、副神経の通する孔穴に刺鍼せよ
- 一、アルコールに就て、及リゾール、石炭酸の使用法 (鍼灸共通)
- 一、腓腸筋痙攣の實地刺鍼 (以上鍼術)
- 一、灸の消化器に及ぼす作用並足の内外髁の上方三指横徑の部に在る孔穴名と之に該當する血管神経を問ふ
- 一、灸の血液及淋巴液に及ぼす反應を問ふ (以上灸術)

島 根 縣 (昭和三年十月)

- 一、背部諸筋の名稱並に其作用
- 一、鼠蹊窩を構成する筋の名稱及之を通過する血管と神經の名稱
- 一、消毒の必要なる理由
- 一、消毒方法の種類を列擧せよ (以上鍼灸共通)
- 一、神経痛に最も適當なる刺鍼手技
- 一、腰部の刺鍼は如何なる疾患に有效ありや (以上鍼術)

- 一、腰部の施灸は如何なる疾患に有效なりや
- 一、灸の白血球に及ぼす影響 (以上灸術) (實地問題)
- 一、子宮内膜炎に施す灸治穴名
- 一、後頭神経痛に施す灸治穴名 (以上灸術)
- 一、結膜充血に施すべき鍼治穴名
- 一、喘息に應用する穴名
- 一、肩井、肩外、脊中、大杼等の穴に刺鍼せしむ (以上鍼術)

北 海 道 (昭和三年八月)

- 一、人體に於ける血液循環に就き知る所を記せ
- 一、下肢を支配する脊髄神経の高さを問ふ
- 一、氣管枝喘息の鍼治療法を問ふ
- 一、刺鍼の禁忌部位を記せ
- 一、鍼及び刺鍼部の消毒を記せ
- 一、敗血症とは如何なる疾病なるや其の原因及症狀を問

ふ

臺 中 州 (昭和三年八月)

- 一、灸の作用に就て説明せよ
- 一、艾の大小に就て説明せよ
- 一、禁灸の場合
- 一、鍼術とは如何なる事か
- 一、鍼の筋神経に對する作用
- 一、禁鍼部位
- 一、筋肉の疲勞する原因及び之が回復法如何
- 一、麻痺とは如何なる疾病を言ふや
- 一、筋肉とは如何なるものか併せて其種類を問ふ
- 一、鎖骨の位置形状及び聯接を記せ
- 一、石炭酸の稀釋法及び強液使用時の注意
- 一、普通アルコールと無水アルコールの差異

秋 田 縣 (昭和三年十月)

- 一、背部に於ける主なる筋肉の名稱起始附着及其作用を記せ
- 一、膀胱の位置形狀構造及其機能を記せ
- 一、胃瘧に對する、鍼、灸術を記せ
- 一、脚氣の症狀及鍼、灸術を記せ
- 一、消毒藥の種類及其應用を記せ (以上學說)
- 一、消毒法の實施
- 一、前膊及肩部に於て各一穴を取穴し其解剖的位置の應用を語り正規の方法により各種の手技を試みよ且つ鍼に就いて語れ
- 一、通常多く用ひらるゝ大さの艾炷を作れ。稍々大なる及び稍々小なる艾炷を作り、施灸せよ。艾炷の大さの標準如何上膊及肩部に各一穴取穴せよ(以上實地)

石 川 縣 (昭和三年十月)

- 一、心臟肺臟に直接刺鍼の不可なる理由を説明すべし

灸 術

- 一、左記各部の位置を問ふ
 - (イ)胸腺 (ロ)深在股動脈 (ハ)舌骨 (ニ)第四腦室 (ホ)大圓筋
- 一、大腸の作用
- 一、消毒藥として昇汞の利害を問ふ
- 一、灸の血液成分に變化を及ぼす理由を説明せよ
- 一、腹痛中不適應症を三種挙げ理由を説明せよ

徳 島 縣 (昭和三年十月)

- 一、腦髓神經の種類に就て知覺運動を區別せよ
- 一、消化液の種類及其作用を記せよ
- 一、造血作用を説明せよ
- 一、施鍼による刺戟の強弱方法如何
- 一、パセドー氏病の症候及鍼治法

- 一、脊髓の機能を記せ

- 一、腸管の位置形狀機能を記せ (以上鍼灸共通)
- 一、坐骨神經痛に對する刺鍼法を記せ

實 地

- 一、鍼具及手指の消毒法を記せ

灸 の 部

- 一、坐骨神經痛に對する灸治法を記せ
- 一、消毒法の種類を記せ

愛 知 縣 (昭和三年十月)

鍼 術

- 一、脊椎骨各部の名稱及其の數
- 一、皮膚の知覺
- 一、消毒藥として石炭酸、アルコールの使用法
- 一、肝臟充血に就て鍼治療法の處方例三種を挙げ各方奏效の理由を説明せよ

- 一、上部腰椎の兩側に施灸せる場合は生理的に如何なる作用を及ぼすや

- 一、腹膜炎の症候及び之に對する施灸の時期

福 井 縣 (昭和三年十月)

鍼 術

- 一、鼠蹊管に就て知る事を記せ
- 一、肺の機能を述べよ
- 一、無水アルコールと普通アルコールとの消毒上の差異を挙げよ
- 一、術者の手指と被術者の患部と何れを先に消毒をするか及其の理由を問ふ
- 一、ミハエル氏菱形窩の部位及び其に存する經穴五穴を記せ

- 一、合谷、三陰交の所在及之れに通ずる神經を問ふ

灸 術

- 一、腕骨の名稱を問ふ
- 一、體温の調節作用を述べよ
- 一、消毒薬の種類及用法を問ふ
- 一、自己の使用せる消毒薬の名稱及之を撰びたる理由を問ふ

長野縣 (昭和三年十月)

- 一、三角筋ロイマチスの灸治法を問ふ
- 一、三里、五里は何處に在るか其治病の效用を問ふ
- 一、肋骨に就て
- 一、二頭膊筋及三頭膊筋の起始停止及作用
- 一、肺臓に於ける瓦斯交換とは何ぞや
- 一、交感神経に就て
- 一、顔面神経麻痺の鍼治點
- 一、石炭酸に就て (以上學說)
- 一、膝關節炎の鍼治點を指壓せよ

- 一、前脛骨筋に横刺せよ (以上實地)

千葉縣 (昭和四年五月)

- 一、肺の生理的作用
- 一、頸部にある血管神経の名稱
- 一、消毒の目的
- 一、刺鍼前後の消毒法に就て
- 一、雀啄術とは如何
- 一、腦戸、心兪、環跳の部位

島根縣 (昭和四年四月)

- 一、下腿後部諸筋の名稱並に分佈する神経の名稱
- 一、左の臓器の位置並に機能
- 一、肝臓、脾臓、腎臓、脾臓、心臓
- 一、興奮刺鍼を應用する場合並に部位
- 一、理學的消毒法の種類を列擧し其各々に就き簡單に説

明せよ

- 一、施術局部の消毒を要する理由並に其方法三つを例示せよ

奈良縣 (昭和三年九月)

- 一、三叉神経第三枝下顎枝に就て記せ
- 一、腸の生理的作用に就て記せ
- 一、刺鍼の深さは如何なる標準に依りて定むべきか
- 一、心臓疾患に於ける鍼術の適應症並に應用する經穴を擧げ其奏效する理由を説明せよ
- 一、業務上消毒薬の必要なる理由を説明せよ
- 一、昇汞水、石炭酸水、クレゾール水の消毒上の優劣を記せ (以上鍼術)
- 一、股動脈の起始、經過、枝別並に靜脈、神経との關係を記せ
- 一、腎臓の位置、形状及び其作用を記せ

- 一、少澤、腰眼、隱白、脾兪、二間の部位並に應用する疾病を記せ
- 一、各種理學的消毒法に就て説明せよ
- 一、消毒の意義を説明せよ (以上灸術)

愛知縣 (昭和四年四月)

- 一、皮膚の構造を問ふ
- 一、血液の成分及び血量を問ふ
- 一、消毒の必要なる理由
- 一、胃の疾病につき鍼術の興奮作用と沈靜作用と禁忌症とを分類して、其病名を擧げ且つ簡單なる理由を附すべし
- 一、押手の效害につき五例以下理由を附して説明せよ (以上鍼術)
- 一、腦の十二對神經幹の名稱及び位置
- 一、毛髮の作用

- 一、灸術を施す場合は如何なる消毒法を行ふや
- 二、灸の最新學說を記せ
- 一、灸の大小壯數と病症部位との關係及理由を説明せよ
(以上灸術)

山 梨 縣 (昭和四年三月)

- 一、咀嚼筋の起始停止及名稱
- 二、腎臟の位置形狀構造及生理的作用
- 一、下肢に分佈する神經の名稱
- 一、横竹承扶肩井腎俞の解剖的部位
- 一、偏頭痛の原因症候及治療法
- 一、化學的消毒とは如何 (以上鍼灸術共通)
- 一、坐骨神經痛の原因症候治療の穴名及指壓せしめ合谷に一鍼せしむ (以上實地)

東 京 府 (昭和四年三月)

- 一、神經の種類
- 一、皮膚の生理的作用
- 一、金屬製品に適當な消毒法
- 一、蒸氣消毒に適當な物品
- 一、頸部肩部に刺鍼せしむ (以上鍼術第一日)
- 一、皮膚の效用
- 一、消化作用を述べよ
- 一、中風の灸は何處になすや
- 一、熱氣消毒の種類を列記し且其一方法を詳記せよ
- 一、皮膚の消毒と其目的
- 一、中風の灸を實現せしむ (以上灸術第一日)
- 一、腦神經の名稱
- 一、呼吸の生理的作用を述べよ
- 一、刺鍼時消毒を怠る時は如何なる結果を來すや
- 一、左記物品に適應する消毒方法の名稱を記せ

- 衣類、鍼具、蒲團、硝子器、紙屑
- 一、孔穴水泉懸鐘の解剖的部位及それに通ずる神經の名稱
- 一、胸部及腹部に疼痛ある病氣にして鍼治を禁すべき病名
- 一、肩胛部に刺鍼せよ續いて雀啄廻旋振顫の諸技を行へ
(以上鍼術第二日)

三 重 縣 (昭和四年二月)

- 一、延髓の位置形狀機能
- 一、皮膚と粘液膜の區別
- 一、鍼の血液に及ぼす影響
- 一、消炎法としての鍼の效用
- 一、鍼治に特に消毒の必要な理由
- 一、傳染病患者に對したる時の其の手指は如何にして消毒すべきか (以上鍼術)

北 海 道 (昭和四年三月)

- 一、白血球に就て知る所
- 一、甲狀腺に就て
- 一、灸に關する最近學說
- 一、遺尿症に對する施灸點三穴
- 一、井水汚水の消毒に就て
- 一、灸痕より侵入し易き傳染病及び其の豫防 (以上灸術)
- 一、迷走神經に就て記せ
- 一、骨髓及骨膜に就て記せ
- 一、窒息とは何ぞや
- 一、三叉神經痛の主なる原因及療法を記せ
- 一、丹毒の原因及症狀を記せ
- 一、手指の消毒法を記せ (以上鍼術)
- 一、坐骨神經に就て記せ
- 一、唾液の分泌及作用に就て記せ

- 一、浮腫とは何ぞや浮腫の伴ふ疾病を記せ
- 一、腰痛の主なる原因及療法を記せ
- 一、禁灸穴に就て記せ
- 一、消毒薬として昇汞石炭酸及び酒精の使用上の注意を記せ (以上灸術)

咸鏡南道 (昭和四年三月)

- 一、鍼の種類を問ふ
- 一、刺鍼禁忌の部位及場合
- 一、誘導法の刺戟手法
- 一、頭蓋を構成する骨の名稱
- 一、胃痛に於ける鍼の禁忌症 (以上鍼術)
- 一、人體に於ける五官器の名稱
- 一、肺臓の構造及生理的作用
- 一、偏頭痛の症狀及療法
- 一、顔面神経痛の病狀

- 一、灸の適應症 (以上灸術)

秋田縣 (昭和四年四月)

- 一、上膊筋の名稱、起始、附着及び作用
- 一、肝臓の位置構造及び生理作用
- 一、顔面神経麻痺の症狀及び鍼灸療法
- 一、急性筋ロイマチスの症狀及び鍼灸療法

長崎縣 (昭和四年四月)

- 一、三叉神経の分佈を記せ
- 一、筋運動の起る理由を記せ
- 一、消毒、水分、解谿の位置及び其の部に於ける筋、血管、神経の關係を記せ
- 一、膝關節部に位する經穴の名稱を記せ
- 一、自己の使用せる消毒薬の名稱及び之を選びたる理由を記せ

- 一、施鍼に際し消毒せざる場合に發する疾病の種類及び症狀を記せ

口答試問

- 一、脚氣の鍼治法
- 一、三陰交の取穴法 (以上鍼術)
- 一、顔面神経の經過を記せ
- 一、白血球の作用に就て知るところを記せ
- 一、陽谷、懸樞、陰廉の位置及び其の部に於ける筋血管神経の關係を記せ
- 一、三角筋部に位する經穴の名稱を記せ
- 一、消毒法の意義を記せ
- 一、灸術を施すに消毒の必要なる理由及び其の消毒の方法を記せ

口答試問

- 一、突然右季肋部に疼痛を發し腹部及び右肩に放散する

模様を呈し最も婦人によく來るが如何なる病氣か病名及び其の灸治法

- 一、額脈穴を正確に取穴せよ (以上灸術)

大阪府 (昭和四年四月)

- 一、顔面神経の起始及經過を詳記せよ
- 一、腎臓の生理的作用を記せ (以上鍼灸共通)
- 一、鍼術の效ある炎症性疾患を記し其の中、二例に就き奏效する理由を説明せよ
- 一、神経性消化不良症に對する主要なる穴名五個を挙げ其の部位と血管神経との關係を挙げよ (以上鍼術)
- 一、呼吸器系に於ける灸の適應症三種を掲げて其の奏效する理由を述べよ
- 一、瘧門、前頂、條口、筋縮、關元俞の解剖的部位並に禁灸の區別を挙げ且つ筋縮、關元俞、の應用を記せ (以上灸術)

一、消毒に普通アルコールを使用する理由を説明せよ日光消毒に就いて記せ (以上鍼灸共通)

鹿 兒 島 縣 (昭和四年五月)

一、皮膚の構成竝に其生理的機能に就いて述べよ

一、腎臓及膀胱の位置形状竝に其作用に就き大要を述べよ

一、稀酒精の製法其應用範圍に就て説明せよ

一、肺俞、膀胱俞、腎俞、上髎、及び胃俞の部位に各穴の應用せらるゝ場合を問ふ

一、鍼の興奮作用とは如何なる事か且つ興奮作用を目的とする刺鍼を説明せよ

一、腸神経痛に對する施灸の方法如何

一、肺結核に對する施灸の方法竝に奏效する理由を説明せよ

一、脊髄炎の症候竝に施灸の利害を述べよ (以上鍼灸共通)

一、後頭部に刺鍼せしむ

一、後頭神経痛に對する刺鍼點竝に身體中刺鍼する際部位に由り痛みの異なるや否や竝に其理由 (以上鍼灸)

一、瘰癧、卒谷、天柱、神庭、璇璣の各穴を指壓せしめ竝に解剖的部位を問ふ

一、神経痛と神経麻痺との施灸に對する壯數竝に大小の區別を問ひ其理由を質す (以上鍼灸)

但し各受験人により肋間神経痛或は坐骨神経痛を問はれし人あり

山 口 縣 (昭和四年五月)

一、腹筋の名稱及作用を問ふ

一、三叉神経の起始經過及枝別を記せ

一、後頭部に存する經穴を解剖的に説明せよ

位を記せ

一、施灸に適當する消毒方法を記せ

一、昇末水の消毒上の利害得失を記せ (以上鍼灸)

一、内頸動脈の起始經過枝別を記せ

一、膝窩窩の形成竝に此部に於ける血管神経の關係を記せ

一、六腑(ロツブ)の穴とは何ぞ且つ其の部位を記せよ

一、灸の麻痺に效ある理由を説明せよ

一、消毒の意義竝に灸術に必要な理由を説明せよ

一、消毒薬の種類竝に主なる使用の場合を記せ(以上灸術)

岩 手 縣 (昭和四年五月)

一、坐骨神経の起始、徑路及分佈を記せ (共通)

一、泌尿器の名稱及び機能 (共通)

一、鍼治適應症及禁忌症に就て (鍼灸)

一、灸治の適應症及禁忌症に就て (灸術)

一、痔核の症候を擧げ鍼術の療法を記せ

一、消毒薬として「リゾール」石炭酸昇末の溶解法を問ふ

一、顔面神経麻痺の原因症状及鍼術法 (以上鍼灸)

一、鍼術に同じ

一、同

一、痔核の症候を擧げ灸術の療法を記せ

一、鍼術に同じ

一、顔面神経麻痺の原因症状及灸術療法 (以上灸術)

奈 良 縣 (昭和四年五月)

一、迷走神経の起始、經過分佈を記せ

一、腹筋の起始停止竝に分佈する血管神経を記せ

一、腹部に直接刺鍼を要する場合を擧げ且つその注意事項を記せ

一、客主人、腦戸、或中、照海、章門「肝經」の解剖的部

- 一、肋間神経痛の原因症状及鍼治法を記せ (以上鍼術)
- 一、肋間神経痛の原因症状及灸治法を記せ (以上灸術)
- 一、施術に際し患者の局所術者の手指及び鍼の消毒法を記せ (鍼灸)
- 一、上膊神経麻痺に對する灸治點を記せ

實地試験

- 一、神経性食道疾患の病名及び鍼灸は效あるか、竝に其の治療法、

灸の大小壯數治療の目的鍼の術式

- 一、神経痛と神経炎の區別法

- 一、關節神経痛と神経炎は主にどんな所に來るか鍼灸は效あるか

- 一、股關節神経痛、神経炎の治療法

- 一、風池に實地に刺鍼せしむ

滋賀縣 (昭和四年五月)

- 一、消化器系臓器の名稱を記せよ
- 一、正中神経の作用を問ふ

- 一、坐骨神経痛の原因

- 一、腰痛の原因

- 一、坐骨神経痛に對する穴名を問ふ

- 一、消毒薬の種類竝に其の製法

- 一、施術部化膿したる時の處置法

高知縣 (昭和四年五月)

- 一、上膊筋の名稱起始停止竝に其の作用

- 一、唾液に就て知る處を記せ

- 一、瓦斯消毒方法に就て知る處を記せ

- 一、蒸氣消毒の要約竝に注意を記せ (以上鍼灸術共通)

鍼術

- 一、風門、天府の部位及其の主治を問ふ

- 一、神經性消化不良の症状鍼治法を詳記せよ
- 灸術
- 一、竹杖に就て知る處を記せ
- 一、狭心症の原因灸治法を問ふ

石川縣 (昭和四年四月)

- 一、顔面神経の經過及分佈を記せ血液の成分に就て知る所を記せ

- 一、坐骨神経に對する刺鍼法灸治法を記せ

- 一、消毒の必要なる理由を記せ (鍼灸共通)

灸術實地

- 一、喘息に對する灸治法及び艾の大小良否の鑑別

鍼術實地

- 一、刺鍼上の注意及び運鍼

埼玉縣 (昭和四年四月)

- 一、胃の位置、形状、作用

- 一、皮膚の機能を記せ

- 一、鍼術に於ける消毒の目的を問ふ

- 一、胸部の刺鍼法及刺鍼點

- 一、鍼治の效用

- 一、下肢の麻痺に對する刺鍼法 (以上灸術)

- 一、二は共通

- 一、灸に關する注意事項

- 一、胃痙攣の施灸法

- 一、脚氣の施灸法

- 一、灸の禁忌症 (以上灸術)

静岡縣 (昭和四年四月)

- 一、坐骨神経の徑路を記せ

- 一、三角筋の起始、停止

- 一、皮膚に對する消毒法

- 一、便秘症の刺鍼法
- 一、翳風の主治穴如何 (以上鍼術)
- 一、三角筋の起始停止・皮膚に對する消毒法
- 一、灸の生理的作用
- 一、腦溢血の施灸時期及最も有效なる施灸點 (以上灸術)

長野縣 (昭和四年五月)

- 一、眼窠を構成する骨を略圖にて説明せよ
- 一、靭帯の性状種類並に作用を述べよ
- 一、坐骨神經の起始經過並に枝別
- 一、尿の分泌作用に就いて
- 一、脚氣に對する鍼灸療法
- 一、消毒藥の種類並に各消毒藥の稀釋法を述べよ

熊本縣 (昭和四年五月)

第一科 (鍼灸共通)

- 一、腹筋の名稱及其の作用を問ふ
- 一、肺臟の生理的作用を問ふ

第二科 (鍼灸共通)

- 一、第四肋間に在る穴名を挙げ且つ其の禁鍼禁灸を記せ
- 一、水溝と氣戸の解剖的部位及び之に分佈する神經

第三科 (鍼灸共通)

- 一、結核菌の附着せる衣類の消毒法

京都府 (昭和四年四月)

第三科

- 一、瓦斯を用ふる消毒の方法、並に應用に就て記せ
- 一、石炭酸水と「クレゾール」石鹼液と消毒上似た點及異なる點を記せ

第一科

- 一、肺の構造並に作用に就て記せ
- 一、坐骨神經の經過に就き筋肉脈管との關係を記せ

第二科

- 一、肺炎「カタル」に應用する經穴と其部位を挙げ灸治方法及其注意事項に就て述べよ
- 一、施灸の疾病豫防に對する效果及其理由 (以上灸術)

第一科

- 一、肺の構造並に作用に就て記せ
- 一、坐骨神經の經過に就き筋肉脈管との關係を記せ

第二科

- 一、坐骨神經痛の刺鍼法及之に用ふる經穴の名稱と部位
- 一、胃及腸疾患に應用する刺鍼部位と其の奏效理由 (以上灸術)
- 一、肩の凝りの原因症狀並治療穴名をいひつゝ指壓せよ
- 一、腓腸筋痙攣の原因症狀及治穴をいひつゝ指壓せよ
- 一、先づ自己の大腿に刺鍼して後余の肩上一穴を撰び刺鍼せよ (以上鍼術實地)
- 一、皮膚病に就き灸の適應症並に禁忌症を挙げ其の理由

を説明せよ

- 一、膀胱疾患の灸の適應症と禁忌症を挙げよ

- 一、膀胱加答兒の原因症狀治療穴名並に其の解剖的部位 (以上灸術實地)

- 一、喉頭加答兒の症狀と經穴

- 一、關節ロイマチスの症狀と膝關節の説明

風池實地刺鍼 (以上鍼術實地)

- 一、艾の良否の鑑別

- 一、胃の疾患の名稱及び不適應症名及び理由

胃の六ツ灸 (以上灸術實地)

徳島縣 (昭和四年四月)

鍼灸術共通(學說)

- 一、上肢神經の經路を説明せよ

- 一、反射機能とは如何

- 一、榮養素に就て知る所を詳記せよ

鍼 術

- 一、施鍼の各種神經纖維に及ぼす影響如何
- 一、腦性小兒麻痺の症候及び施鍼法

灸 術

- 一、氣海の穴を求むる方法竝に其部に於ける施灸の作用
- 一、胃擴張の症候及び其の施灸法消毒法

消毒法(口問)

- 一、手指消毒の方法
 - 一、一%と二%の倍量
 - 一、一%の石炭酸水と二%の石炭酸水の殺菌力の差如何
 - 一、純酒精と含水酒精との殺菌力如何
- (各人によりて多少異なり居るも各人とも主として石炭酸水、酒精、細菌に就て試問せり)

實地試験

- 一、痙攣は何に依つて起るか
- 一、痙攣は何神經の興奮なるか

兵 庫 縣 (昭和四年四月)

- 一、知覺神經及び分泌神經に痙攣ありや
- 一、二頭膊筋痙攣の爲肘關節強直の場合の刺鍼點を指壓せしめて穴名を問ふ(廻前圓筋に刺鍼せしむ)(以上鍼術)
- 一、淋疾に灸療するや否や。するとせば其の採穴法竝に尿道に分佈する神經如何 (以上灸術)

福 岡 縣 (昭和四年四月)

- 一、體温の調節は如何にして行はるゝか
- 一、腹腔内臓器の名稱及其の機能を記せ
- 一、傳染病と灸との關係
- 一、灸の治病上效果ある所以を問ふ
- 一、左のものに對し最も適切なる消毒方法を記せ
- (イ)衣類寢具 (ロ)硝子器陶器 (ハ)手指 (ニ)唾痰
- 一、腋窩動脈の起始、經過及靜脈神經との關係

- 一、胃の位置、形狀、機能を問ふ
- 一、鍼術の治病に效ある理由を説明せよ
- 一、肋間神經痛の症候及其鍼治法を記せ
- 一、皮膚の消毒は如何にして行ふや

廣 島 縣 (昭和四年四月)

- 一、大坐骨孔を通過する血管神經の名稱を記せ
 - 一、蛋白質の消化は如何にして行はるゝや
 - 一、齒痛の種類を挙げ鍼治療を記せ
 - 一、慢性腸加答兒の主なる症候及灸點部位を記せ
 - 一、下關、人迎、乘風、臍俞、承滿、大橫、承山、環跳、橫竹、腰俞の部位竝に足に循る神經の名稱を記せ
- (鍼灸共通)

佐 賀 縣 (昭和四年四月)

- 一、骨の種類及構造を記せ
- 一、血液の凝固作用を記せ

福 井 縣 (昭和四年四月)

- 一、氣管枝喘息の症候及灸治法を記せ
- 一、腎盂炎の症候及鍼治法を記せ
- 一、痛風の鍼治法を記せ
- 一、遺尿症の鍼治法を記せ
- 一、石炭酸の中毒症候を記せ
- 一、左に就て記載せよ
- (イ)腦室 (ロ)下頸叢 (ハ)僧帽筋の位置
- 一、左の作用を問ふ
- (イ)赤血球 (ロ)體温の調節
- 一、ヒステリーの症候を明記せよ
- 一、左の藥品にて鍼を完全に消毒する方法を問ふ
- (イ)アルコール (ロ)石炭酸
- 一、後頭神經痛の壓痛點を挙げ其の解剖的位置を問ふ
- 一、グロッシッヒ氏手指の消毒方法を記せ

一、左に就て知る事を記せ

(イ)血漿 (ロ)縦膈腔 (ハ)股輪

一、唾液の作用を問ふ

一、神経痛の原因を明記せよ

一、アルコールの消毒上効果ある理由を問ふ

一、ピフェルブル氏手指消毒法を記せ

一、灸點後の皮膚組織の變化を説明せよ

臺灣臺北州 (昭和四年五月)

一、腋窩を通過する神経血管の名稱

一、血液の働きに就き知る處を法せ

一、神経痛の原因及症候を述べよ

一、消毒の目的

一、法定消毒薬品の名稱 (鍼灸共通)

朝鮮京畿道 (昭和六年十二月)

一、筋の種類

一、唾液腺の種類及其作用

一、肋膜炎と肋間神経痛の鑑別點

一、鍼が筋の興奮性に及ぼす影響

一、灸の腸蠕動に及ぼす影響

東京府 (昭和四年九月)

一、下肢に分佈する血管、神経を問ふ

一、尿に就て記せ

一、煮沸消毒に就て

一、作業衣の藥物的消毒に就て詳記せよ(以上鍼灸共通)

一、胃脘、腎脘の部位

一、後頭部に刺鍼して卒倒する事あり其理由、處置。

一、頸部に寸三の二番鍼にて刺入せしめ、振顫法、刺動法、廻旋法を行しむ

臺灣臺南洲 (昭和四年九月)

一、頭蓋腔を構成する骨の名稱

一、血液の生理的作用

一、腹腔内臓器の名稱及其生理的機能を簡單に述べよ

一、皮膚の生理的作用

一、消毒方法の種類

一、消毒は何故に必要なか其理由

一、昇汞の使用法 (以上鍼灸共通)

大阪府 (昭和四年十月)

一、腦髓より發する十二對神経の名稱を記せ

一、消化液の名稱及作用を記せ (以上鍼灸共通)

一、小兒鍼の適應症を列記し、其奏效する理由を記せ

一、全身中大なる神経四種を挙げ其各々に就て最も適當なる刺鍼穴一つの解剖的部位を記せ (以上鍼灸)

一、鍼灸により疾病の治癒する理由を記せ

一、天府、委陽、腰眼、大横の解剖的位置竝に禁穴の別を挙げ其中二穴の應用病名を記せ (以上灸術)

一、煮沸及び蒸氣消毒に要する時間と温度との關係を問ふ

一、アルコールの殺菌作用を問ふ (以上鍼灸共通)

京都府 (昭和四年十月)

一、消毒の定義

一、通常使用する消毒薬四種を挙げ各の稀釋度を記せ

一、心臓の構造及作用

一、正中神経の經過に就き筋肉、脈管との關係を記せ (以上鍼灸共通)

一、坐骨神経痛の灸治法(穴名及部位)及豫後

一、左記の病名は灸の適應症なりや否や及其理由を記せ (イ)急性肺炎 (ロ)動脈硬化症 (ハ)子宮筋腫

- (ニ)常習便秘 (ホ)鼠蹊ヘルニヤ (以上鍼術)
- 一、胃の疾患に應用する背腰部の經穴五つを挙げ且つ其部位と奏效の理由を記せ
- 一、刺鍼の血液に及ぼす作用に就て知る處を記せ (以上鍼術)

奈 良 縣 (昭和四年十月)

- 一、胸部大動脈の位置、枝別分佈を記せ
- 一、利尿作用に就て記せ
- 一、刺鍼時に於ける押手の效用と其注意を記せ
- 一、常習便秘に對する刺鍼の部位、其奏效する理由を問ふ
- 一、理學的消毒法と化學的消毒法との優劣點を述べよ
- 一、石炭酸の性状を記し竝に消毒上の應用を述べよ (以上鍼術)
- 一、脛骨神經の起始、經過竝に共分佈を記せ

- 一、肝臓の位置、形狀竝に其作用を問ふ
- 一、風池、陽谿、命門、幽門、照海の部位竝に應用する疾患の名稱を問ふ
- 一、灸の肺結核に對して奏效する理由の知る處を記せ
- 一、灸術業者に消毒知識の必要なる理由を記せ
- 一、昇汞水とクレゾール水との消毒上の優劣を記せ (以上灸術)

長 野 縣 (昭和四年十月)

- 一、大腿骨を圖にて示し各部の名稱を記入せよ
- 一、腋窩を構成する筋の名稱及此處を通過する血管神經は如何
- 一、血壓に就て知る處を記せ
- 一、便秘及腦充血に鍼術灸術の效ある理由竝に其施術點は如何
- 一、呼吸とは何ぞや

- 一、鍼術灸術に用ひらるゝ各種消毒藥の作用特徴及用法如何

神 奈 川 縣 (昭和四年十月)

- 一、前膊に於ける主要なる動脈及神經を記せ
- 一、肺臓の作用を記せ
- 一、指先口唇等知覺最も鋭敏なる部位を選び刺鍼するは如何なる場合なるか及其效果を挙げよ
- 一、小兒病中吐乳の治療法如何
- 一、施鍼に用ふる金屬器具類の消毒方法
- 一、消毒方法の種類を挙げよ (以上鍼術)
- 一、泌尿器各部の名稱及作用
- 一、胃の位置を問ふ
- 一、溫熱刺戟が皮膚を隔て、内臓作用に及ぼす理由を問ふ
- 一、腰部の周圍にある經穴名と其深部の臓器の名稱を記せ

せ

- 一、消毒法の必要なる理由

鳥 取 縣 (昭和四年十月)

- 一、消毒藥品名を知れるだけ記せ (以上灸術)
- 一、頸部に於ける器官の名稱及其の位置を問ふ
- 一、脊髓の位置、構造及其作用を問ふ
- 一、消毒の目的及消毒藥の稀釋法を問ふ
- 一、顔面神經の分佈を問ふ竝に其作用を記せ
- 一、肺臓の位置形狀及其生理的作用を記せ
- 一、消毒の目的及消毒藥の稀釋方法を述べよ (以上灸術)

岡 山 縣 (昭和四年十月)

- 一、正中神經の起始、經過、枝別を記せ
- 一、大小循環の區別
- 一、クレゾール石鹼液の長所と短所

一、昇汞水の適應及使用上の注意

一、鍼の刺鍼部位の分類と其作用

一、血壓の下降する灸治法

一、腹部筋の名稱と分佈する神経の名稱を問ふ

一、門脈に就て知る所を記せ

鹿 兒 島 縣 (昭和四年十月)

一、神経痛と炎症痛との鑑別を問ふ

一、石炭酸の性状並に其の稀釋法 (以上鍼術)

一、動脈管と靜脈管との構造上に於ける差異を問ふ

一、肋膜及腹膜に就て説明せよ

一、呼吸運動の目的を問ふ

一、次に掲ぐる經穴の部位並に血管神経の名稱を問ふ

一、腰痛の原因、症候及灸法を問ふ

(イ)三里(下脚) (ロ)伏兎 (ハ)大横 (ニ)天樞

一、吃逆の灸治法を問ふ (以上灸術)

(ホ)腎俞 (ヘ)天柱 (ト)神庭 (以上鍼灸術共通)

滋 賀 縣 (昭和四年十月)

一、坐骨神経痛に對する刺鍼法並に刺鍼刺戟程度に就いて説明せよ

一、交感神経の所在及分佈 (鍼灸術共通)

一、鍼の交感神経に及ぼす影響に就て述べよ (以上鍼術)

一、血液の效用を記せ

一、再施灸と白血球増多との關係に就て述べよ

一、三叉神経痛の原因 (以上鍼術)

一、腸アトニー症に對する灸治法如何 (以上灸術)

一、常習便秘の原因症狀及鍼治法灸治法

一、腦充血に對する穴名

一、石炭酸の性状並に溶解法及び其の用途 (以上鍼灸術共通)

岐 阜 縣 (昭和四年十月)

和 歌 山 縣 (昭和四年十月)

一、肩胛筋の名稱及之に分佈する神経の名稱を問ふ

一、呼吸の目的を問ふ並に其種類を記せ

一、消毒薬として必要なる條件を挙げ酒精使用上の注意を記せ (以上鍼灸術共通)

一、小兒淺刺鍼の效ある理由並に胃に該當する穴名を問ふ

一、膀胱加答兒に對する刺鍼の可否及理由 (以上鍼術)

一、門脈系に及ぼす灸點及其作用

一、心臟興奮症より來る不眠症に對する灸點及び目的並に上膊に於ける撓尺骨神経部の經穴名を挙げよ (以上灸術)

一、膝關節は如何なる筋によりて構成せらるゝや及此部を通過する主なる血管、神経を問ふ

一、尿の分泌機能を詳記せよ

一、陽池、缺盆、犢鼻の解剖的位置及其部に分佈する血管神経を記し且つ其禁鍼灸を示せ

一、腰痛を起す疾病を列舉し其の鍼治に適する疾病の刺鍼點及其目的を詳記せよ

一、慢性三角筋ロイマチスの症候及び灸治法を記し其奏效する理由を詳記せよ

一、消毒薬品五種を記し例を挙げて其稀釋度及用途を記せ

一、理學的消毒法の應用範圍を問ふ

兵 庫 縣 (昭和四年十月)

- 一、血液は如何にして淨化せられるや
- 一、中樞麻痺と末梢麻痺の區別
- 一、腰痛に對する刺鍼法を問ふ
- 一、刺鍼に經穴の價値如何
- 一、溫熱的消毒の種類を記せ (以上鍼術)
- 一、運動神經と感覺神經との別如何
- 一、肋間神經痛の症狀を問ふ
- 一、艾灸と溫灸との作用上の相異如何
- 一、ロイマチスに對する灸の效果如何
- 一、日光消毒の價値に就て述べよ (以上灸術)

栃 木 縣 (昭和四年十月)

- 一、上膊に分佈する神經並に筋肉の名稱を問ふ
- 一、唾液腺の名稱と其生理的作用
- 一、煮沸消毒方法に就て
- 一、消毒薬二三の製法を記せ (以上鍼灸術共通)

- 一、肋間神經痛に對する刺鍼法
- 一、撓骨神經の徑路にある穴名を問ふ (以上鍼術)
- 一、灸術の手法
- 一、頸部に於ける禁灸部位 (以上灸術)

愛 知 縣 (昭和四年十月)

- 一、上膊中央部の横斷面を圖解せよ
- 一、神經の反射機能とは如何及び其例を挙げよ
- 一、鍼術に應用すべき消毒薬三種を挙げ其使用方法を詳述せよ
- 一、肩胛上部に施鍼して貧血を起すことあり其の療法及理由如何

一、鍼術刺戟の分類を問ふ (以上鍼術)

- 一、腦室の位置及形狀を問ふ
- 一、神經の傳達機能を問ふ
- 一、灸術と消毒との關係

- 一、加答兒性黃疸に對する施灸法及奏效の理由
- 一、傳染病に於ける施灸の效害 (以上灸術)

三 重 縣 (昭和四年十一月)

- 一、神經とは如何なるものか
- 一、生理的排泄物に就き知る所を記せ
- 一、手の厥陰心包經の穴名と禁鍼穴を記せ
- 一、經穴とヘッド氏帶との關係に就き記せ
- 一、昇汞水の消毒效果
- 一、乾熱消毒と濕熱消毒との差異如何 (以上鍼術)
- 一、皮膚の作用
- 一、淋巴腺の作用
- 一、足の厥陰肝經の穴名及禁灸穴
- 一、施灸點の撰定上注意すべき事項
- 一、消毒の意義
- 一、蒸氣消毒に就て注意すべき事項 (以上灸術)

愛 媛 縣 (昭和四年十一月)

- 一、下顎神經の起始、經過及び分佈の個所を問ふ
- 一、腎臟の構造及尿排泄の順序を問ふ
- 一、刺鍼の效用につき例を挙げて説明せよ
- 一、右の經穴につき解剖的關係及知る所を述べよ
- 一、頭維、地五會、缺盆、會宗、石門
- 一、灸の最も適せる疾病を舉げて其有效なる理由を詳記せよ (以上鍼灸術共通)

朝鮮慶尙南道 (昭和四年十一月)

- 一、迷走神經の徑路及び分佈する臟器の名稱
- 一、白血球の作用
- 一、胃擴張とは如何なるものなるや及び其の療法を記せ
- 一、前頸部に存在せる經穴の名稱
- 一、手指の消毒方法

徳島縣 (昭和四年十月)

- 一、淋巴管とは如何なるものなるや、竝に淋巴腺の構造を説明せよ
- 一、大腿中央部を横断して該部に現はる、筋肉、血管、神経の名稱を列記し且其神経の徑路を説明せよ
- 一、内呼吸と外呼吸に就て説明せよ
- 一、酒精、石炭酸、昇汞の使用方法を記せ
- 一、天柱、風市の二穴を求め是に一寸の直鍼をすれば如何なるものを刺すか
- 一、脳神経衰弱の主なる症状及鍼治法 (以上鍼術)
- 一、曲骨、横骨の二穴を求め、之に施灸すれば、生理的に如何なる關係を及ぼすか
- 一、結核性肋膜炎の症候及之に對する施灸法 (以上灸術)

福井縣 (昭和四年十月)

- 一、プーバルト氏靱帶下を通ずる血管及筋肉關係を問ふ
- 一、體温に就て知る所を記せ
- 一、アルコールとクレゾール石鹼液との殺菌作用を問ふ
- 一、消毒と清潔の區別を問ふ
- 一、脊髄癆の原因及症狀を問ふ
- 一、尺骨神経麻痺の症狀を問ふ (以上鍼術)
- 一、百會、風池、肩外、合陽、解谿の位置竝に其適應すべき疾病を問ふ
- 一、吃逆に對する鍼治法、試験委員に刺鍼し雀啄術を行はしむ (以上鍼實地)
- 一、消化器に附屬する腺の名稱及位置を問ふ
- 一、乳糜管とは如何なるものなりや
- 一、沃度丁幾の消毒的效果を記せ
- 一、作業衣の藥物消毒法に就て詳記せよ
- 一、炎症とは如何なるものなるか之に對する灸術の可否

島根縣 (昭和四年十月)

- 竝に其理由を問ふ
- 一、腓骨神経麻痺の症狀を問ふ (以上灸術)
- 一、四頭股筋に存する經穴名稱其部位を問ふ
- 一、胃擴張に對する灸治法 (以上灸實地)

廣島縣 (昭和四年十月)

- 一、下眼窩動脈の分枝及分佈を問ふ
- 一、凝血作用を説明すべし
- 一、次の穴の部位竝に其部に分佈せる神経を記せ
隱白、腎俞、横骨、上廉、腫子髀
- 一、ヒステリー發作と癲癇の鑑別竝に治療の目的及方法を記せ (以上鍼術)
- 一、膝關節神経痛とロイマチスとの鑑別竝に灸治の目的及方法を記せ (以上灸術)
- 一、三%石炭酸水十五リットルを製するには如何にすべきか (鍼灸術共通)

- 一、上膊を運動する筋の名稱及各筋に分佈する神経の名稱
- 一、胃の位置、形狀、各部の名稱及作用 (以上鍼灸術共通)
- 一、折鍼の原因
- 一、皮膚鍼應用の場合 (以上鍼術)
- 一、(イ)石炭酸と稀酒精と何れが消毒力大なるや竝に其理由
- 一、(ロ)三%石炭酸水四百瓦の作り方
- 一、(イ)日光消毒の有效理由及實施上注意すべき事項
- 一、(ロ)消毒薬としての石炭酸に就て (以上鍼灸術共通)
- 一、艾の成分
- 一、呼吸器病中灸の適應症を挙げ各其效果を説明せよ (以上灸術)
- 一、氣管枝喘息の刺鍼點

- 一、常習便秘の鍼治法
- 一、肩胛間部に一鍼せしむ (以上實地)

富山縣 (昭和四年十月)

- 一、肝臓の機能を問ふ
- 一、膝窩窩に於ける脈管神経に就て記せ
- 一、灸治の奏效の理由を述べよ
- 一、喘息の點灸法及穴名を問ふ
- 一、刺鍼の方式を問ふ
- 一、痲痛の刺鍼法及穴名を記せ
- 一、丹毒に就て知る所を記せ
- 一、アルコールの性状竝に應用を問ふ (以上鍼灸術共通)

熊本縣 (昭和四年十一月)

- 一、肋膜及腹膜に就て説明せよ
- 一、赤血球及白血球に就て説明せよ

- 一、消毒の目的竝に化學的消毒に就て説明せよ (以上鍼灸術共通)

- 一、次に掲ぐる經穴の部位竝に血管神経の名稱を問ふ
(イ)足の三里 (ロ)伏兔 (ハ)大横 (ニ)天樞
(ホ)腎俞 (ヘ)天柱と神庭

- 一、坐骨神経痛に對する刺鍼法竝に刺鍼刺戟の程度に就て説明せよ

- 一、鍼の交感神経に及ぼす影響に就て述べよ (以上鍼術)
- 一、再施灸と白血球增多症との關係を述べよ
- 一、胃アトニー症に對する灸治法如何 (以上鍼術)
- 一、消毒用石炭酸水の使用方法に就て
- 一、皮膚の完全なる消毒方法如何 (灸術)

山口縣 (昭和四年五月)

- 一、四肢の皮下を走る神経及び血管に就て説明せよ
- 一、膀胱の位置、形狀及び其の作用に就て記せ (以上鍼灸術共通)

- 一、反射の原理を説明し刺鍼刺戟の反射作用を述べよ
- 一、氣管枝喘息の原因、症候及び鍼治處方を述べ併せて其の療法理論を説明せよ

- 一、消毒法に幾種ありや、各其の消毒法の優劣を挙げよ (以上鍼灸術共通)

- 一、灸の病體作用に就て述べよ
- 一、子宮内膜炎の原因症候及び灸治處方を述べ併せて其の消毒理論を説明せよ

長崎縣 (昭和四年五月)

- 一、腋窩を通過する血管神経の名稱を記せ
- 一、脊髄官能の區別に就て記せ
- 一、大淵、乘風、魄戸の位置及びその部に於ける筋神経血管の關係を記せ
- 一、吃逆の原因症候及び之に對する鍼治法を記せ
- 一、藥品による鍼の消毒方法の順序を記せ

- 一、施術者の手指及び被術者の部位の消毒方法及び其の順序を記せ (以上鍼灸術共通)

静岡縣 (昭和四年五月)

- 一、胸部に於ける筋肉の名稱
- 一、反射機能とは如何 (以上鍼灸術共通)
- 一、鍼術の最も效を奏する胃の疾患を挙げよ
- 一、鍼術の不適應症竝に頸部に於ける穴名を述べよ (以上鍼術)

- 一、腹腔内消化器の位置を問ふ附慢性胃腸疾患に對する施灸點を問ふ

- 一、灸治の適應症を列擧せよ (以上灸術)

福岡縣 (昭和四年春)

- 一、心臓の生理的機能
- 一、坐骨神経の起始、經過及び皮下に現はれた部位
- 一、石炭酸、アルコール、昇汞水は何倍にて用ふるか

- 一、アルコール、昇汞の稀釋法
- 一、消毒の必要なる理由如何 (以上鍼灸術共通)

福井縣 (昭和五年四月)

- 一、上肢前面の皮下靜脈を圖解せよ
- 一、沃度丁幾の消毒力を問ふ
- 一、酒精を使用して鍼具消毒方法を明記せよ
- 一、睡眠中人の手に刺戟を與ふる時、不隨意に或る運動をなすは如何なる作用か及其の主要中樞所在部を述べよ

北海道 (昭和五年三月)

- 一、坐骨神經の起始及び分佈を問ふ
- 一、人體に於ける瓦斯交換に就て記せ
- 一、坐骨神經痛の鍼治に際しその施鍼點を解剖學的名稱を以て記せ

宮崎縣 (昭和五年六月)

- 一、膝關節を構成する筋の名稱及び此の部を通過する血管神經の名稱を記せ
- 一、淋巴及び淋巴腺に就て説明せよ
- 一、化學的消毒とは如何、二三の例を擧げて之を説明せよ (以上鍼灸術共通)
- 一、腦充血の原因及び症候竝に之に對する刺鍼法を記せ
- 一、横骨、四滿、環跳、顛息の解剖的部位竝に禁穴、要穴の別を記せ (以上鍼灸術)
- 一、瘰癧の症候及び之に對する灸治法に就て記せ
- 一、白環俞、日月、漏谷、少海の解剖的部位竝に禁穴、要穴の別を記せ (以上灸術)

鳥取縣 (昭和五年春)

- 一、咀嚼筋の名稱及び作用を問ふ

- 一、肝臟の位置、形狀及び生理的作用を問ふ

- 一、消毒の方法及び主なる消毒藥の稀釋法を問ふ (以上鍼術)

- 一、後頭神經痛、喘息、胃アトニー、腸痙痛の原因、症候施鍼穴名其の解剖的部位を問ふ。實地刺鍼 (以上鍼實地)

- 一、胸廓の上孔には如何なるものを通するか

- 一、唾液の化學的成分其の作用を問ふ

- 一、消毒の方法及び主なる消毒藥の稀釋法を問ふ (以上灸術)

- 一、消毒の際注意すべき事項 (以上鍼術)

- 一、肝臟の位置及び形狀

- 一、消化液の名稱及び作用

- 一、免疫の生ずる理由 (以上灸術)

廣島縣 (昭和五年五月)

- 一、左記の筋の起始、停止を記せ

梨子狀筋、縫匠筋

- 一、淋巴腺の機能を記せ

- 一、胃痙攣、胃潰瘍、神經性腸痙痛、盲腸炎、膽石痛、腎石痛

以上の疾病に於て各其の腹痛の特徴及鍼灸の禁忌、適應を述べよ

- 一、次の部位を述べ之に分佈する神經を擧げよ

大乙、中瀆、京門、秩邊、臂臑

- 一、アルコールの殺菌作用を説明し、且二十五倍の石炭酸水は何%に當るや (以上鍼灸術共通)

長崎縣 (昭和五年五月)

- 一、頸動脈の所在及び肩胛筋に分佈する神經の名稱を問ふ

- 一、迷走神經の作用を記せ

一、腦充血の原因、症候、鑑別及び之に對する刺鍼法を記せ

一、外丘、人迎、承光の位置及び其の部に於ける筋血管神經の關係を記せ

一、消毒方法の種類を記せ

一、化學的消毒薬の調製方法を記せ (以上鍼術)

一、大腿に分佈する神經の名稱と其經過を記せ

一、血液の生理的作用を記せ

一、會陽、府舍、交信の位置及び其の部に於ける筋血管神經の關係を記せ

一、灸術の神經機能に及ぼす作用に就て記せ

一、施術に際し行ふべき最も有效なる消毒方法を記せ

一、皮膚の消毒方法を記せ (以上灸術)

奈 良 縣 (昭和五年三月)

一、横隔膜神經の起始、經過、分佈を記せ

一、肩胛筋の名稱、起始停止竝に分佈する血管神經を記せ

一、小兒鍼の效果に就て知る所を記せ

一、胸椎各側(但し第一側線)に於ける穴名を挙げ且つ其應用する疾病と之が奏效する理由

一、消毒の目的を記せ

一、手指の消毒方法を記せ (以上鍼術)

一、腋窩の形成竝に其部に於ける血管神經の關係を記せ

一、手の陽明大腸經に於ける經穴中殊に眼の疾患に應用するもの三つを挙げて其部位を記せ

一、消毒の種類を述べよ

一、「フォルマリン」の消毒上の適用、竝に其優劣點を挙げよ (以上灸術)

東 京 府 (昭和五年三月)

一、聽器の構造を記載せよ

一、消化液の種類及び作用を詳記せよ

一、消毒用昇汞水の使用法に就き記せ

一、鍼具の完全なる消毒法 (以上鍼術)

一、脊髄神經に就て

一、血液の生理的作用を述べよ

一、消毒用石炭酸水の使用法に就て

一、皮膚の完全なる消毒方法如何 (以上灸術)

北 海 道 (昭和五年三月)

一、坐骨神經の起始及び分佈を問ふ

一、人體に於ける瓦斯交換に就て記せ

一、坐骨神經痛の鍼治に際しての施鍼法を解剖學的名稱を以て記せ

一、施鍼の禁忌症狀を問ふ

一、創傷傳染病とは何ぞや

一、十種傳染病とは何ぞや (以上鍼術)

一、三叉神經の起始及び分佈を問ふ

一、人體に於ける新陳代謝に就て知る所を記せ

一、半身不隨症の灸治に際し施灸點を解剖學的名稱を以て答へよ

一、火傷に就て知る所を記せ

一、理學的消毒法とは何ぞや

一、消毒薬として昇汞水を使用し得る場合及び其使用時に於ける注意を記せ (以上灸術)

大 阪 府 (昭和五年四月)

一、上腸間膜動脈の起始、經過及其枝別を記せ

一、體温の調節は如何にして行はるゝや

一、豫防衣と書籍類に行ふ可き理學的消毒方法を詳記せよ

一、酒精の殺菌作用を述べ且つ手の消毒に適する稀釋度を問ふ (以上鍼灸術共通)

一、刺鍼を避くべき場所及び場合を挙げ併せて其理由を問ふ

一、天髻、絡却、氣海俞、飛陽及び衝門の禁穴の區別を詳記せよ (以上鍼術)

一、腦充血、肺結核、脚氣に對して施灸の效ある理由を詳記せよ

一、臂膊、胃倉、通谷、髀關の解剖的部位並に應用病名二三を記せ (以上灸術)

京 都 府 (昭和五年四月)

一、肝臓の構造並に作用を記せ

一、上膊部に於ける筋肉の名稱並に上膊神経と上膊動脈の經過を記せ

一、煮沸消毒法並に應用に就て記せ

一、消毒薬液の倍數及び%の意義の例を挙げて説明せよ

一、鍼術に依る刺戟限度は如何なる方法にて定むるや

一、頰車、筋縮、命門、陽谿、不容の位置を骨を標準として説明し且此穴を應用する主な疾病一二を挙げて説明せよ

一、灸の本態に關する解説に就て二三學者の所感を問ふ

一、各種疾病に對する日常最も使用する經穴及び部位五つを挙げ且其醫治的應用に就て述べよ

鹿 兒 島 縣 (昭和五年四月)

一、肋膜(胸膜)に就て左の各項を説明せよ

位置、區分、胸縦隔腔(竇)肋膜腔

一、滋養品(栄養品)及び嗜好品に就て知る所を記せ

一、理學的消毒に就き用途上其優劣を挙げて説明せよ

一、ヘッド氏帶の意義並に之が經穴との關係に就て記せ

一、刺戟刺戟程度を定むべき要件に就て述べよ

一、腸疝痛に刺戟の效ある理由並に之に對する鍼治法に

就て述べよ

一、名灸とは何か、近代醫學上よりの見解を述べよ

一、神經衰弱に對する灸治法並に施行上の注意を述べよ

島 根 縣 (昭和五年四月)

一、上膊を繞る主なる動脈淺靜脈並に神經の名稱

一、脾臓の位置、形狀並に機能

一、後頭部に深刺して卒倒する事あり其理由及處置

一、筆瘻の刺戟法並に刺戟點

一、三%石炭酸水五百瓦の製法及び石炭酸使用上の注意

一、術者の手指消毒法を詳記せよ

一、施灸に際して注意すべき要點

一、不眠症の刺灸點

愛 知 縣 (昭和五年四月)

一、交感神經に就て知る所を記せ

一、呼吸は如何にして行はるゝや其目的を問ふ

一、七〇%のアルコールと千倍昇汞水との消毒上の效力如何

一、慢性腸加答兒に就き鍼術の適否を定め、適當と認むるものには、鍼術治療の目的及び其施術部位を記せ

一、腹痛時の刺戟につき其效害を述べよ (以上鍼術)

一、舌に分佈する神經の名稱及び其の領域を問ふ

一、動靜脈の區別

一、灸術を施すに際し消毒の必要あれば其場合を挙げ且つ理由を併記すべし

一、灸の生血器官に及ぼす影響に就き其理由を説明すべし

一、慢性股關節ロイマチスに對する療法及び奏效の理由 (以上灸術)

德 島 縣 (昭和五年四月)

- 一、甲狀腺の位置、形狀構造及び其の機能を問ふ
- 一、尿の性状竝に腎臓に分佈する神経の名稱及び其の機能を問ふ
- 一、消毒の必要なる所以竝に消毒薬の種類及び其溶解方法を述べよ (以上共通)
- 一、膀胱麻痺の原因症候及び其灸治法を問ふ
- 一、小海、神門、陽谿の三穴を求め之れに施灸する時は如何なる作用を現すや (以上灸術)
- 一、神経性下痢症の原因症候及び灸治法を問ふ
- 一、陰都、幽門、石關の三穴を求め之に施灸する時は如何なる作用を現すや (以上鍼術)

福岡縣 (昭和五年四月)

- 一、迷走神経の経過及び分佈
- 一、筋肉中に折鍼せば如何なる障礙を起すや
- 一、麻痺及び知覺脱失の中樞性と末梢性との鑑別

- 一、リゾール水に就て記せ (以上鍼術)
- 一、本年三十八歳の未亡人でヒステリー性の婦人なるに昨夜突如として臍を中心とした腹痛發作が起り顔色は蒼白となり脈搏頻數となつて患者は臍を強壓して上半身を屈してゐる其病名と療法を併記せよ (以上鍼術實地)
- 一、肺動脈に就て知る所を記せよ
- 一、灸痕の生ずる理由
- 一、水腫に就て知る所を記せ
- 一、施灸部の化膿する原因とその豫防法 (灸術)
- 一、本年五歳の女兒生後半年頃より腸を害し一度全快したが半年程前から少しづつ悪く二週間程前から毎朝定つて下痢をなす。而して右腸骨窩に腫瘍あり之を強壓すればグーと音が聞ゆる腹部が膨滿して體が痕せる食慾不振其病名と療法を問ふ (以上灸術實地)

佐賀縣 (昭和五年四月)

- 一、淋巴腺の構造及び淋巴管との關係
- 一、腎臓の機能に就きて述べよ
- 一、膀胱麻痺の原因
- 一、症候及び灸治法灸治法
- 一、破傷風とは何ぞ鍼灸治療の可否如何
- 一、フォルマリンの性状竝に應用

山口縣 (昭和五年五月)

- 一、五器官の名稱と構造を簡單に述べよ
- 一、胃に分佈する神経の名稱
- 一、消毒法に何種ありや其特徴を擧げよ (以上鍼灸術共通)
- 一、(イ)鍼の醫治的效果
- 一、(ロ)脾關、痞根、脾俞、風門、風池

肋膜炎の原因、症候、豫後、療法竝に治癒する理論 (以上鍼術)

- 一、大迎、曲澤、百會、陽谿、三里の採穴
- 一、三里に單刺、雀啄、振顫、廻旋、橫刺 (捻鍼、管鍼)
- 一、灸の豫防的效果ある理由
- 一、築賓、伏兔、育俞、附分、頭維、命門
- 一、肋膜炎の原因、症候、豫後、用法竝に治癒する理論 (以上灸術)
- 一、本年三十八歳の男子平常健康體なるに昨夜宴會に行きて今朝になつて熱候三八、ホロセが出来て全身かゆい
- 一、膝關、小海、角孫 (以上灸術實地)

千葉縣 (昭和五年五月)

- 一、肩胛筋の名稱及び三角筋の起始、停止、作用分佈する神経
- 一、胃の位置及び生理的作用

一、消毒の目的並に施鍼に臨みての消毒法

一、脚氣八處の灸穴に就て知る所を記せ

一、灸點と血壓との關係を記せ

一、瘰癧門、天柱、肺俞、心俞の部位 (以上學說)

一、齒痛に對する刺鍼點 (實地)

神奈川縣 (昭和五年三月)

一、疝痛に對する刺鍼法 (實地)

一、前膊に於ける主要なる動脈の名稱

高知縣 (昭和五年五月)

一、肺臟の作用を記せ

一、筋の興奮性に就て知る處を記せ

一、誘導刺鍼と興奮刺鍼の治療的價値に就て例を擧げて説明せよ

一、脾臟の位置、形狀及び構造を記せ

一、腰部に於ける刺鍼法並に刺鍼點を擧げよ

一、倍數%の關係を記し例を擧げて之を示せ

一、金屬類を消毒するに適當なる藥品の名稱

一、左記の事項を記せ

一、被術者の皮膚を消毒する方法 (以上鍼術)

(イ)消毒とは何ぞ

一、坐骨神經の分佈

(ロ)消毒方法の效を奏する理由 (以上鍼灸共通)

一、小腸の作用を記せ

一、胃俞、腎俞、委陽の解剖的部位を説明して之を應用する二三を擧げよ (以上鍼術)

一、背部正中線に相當する穴名及び其解剖的部位を記せ

一、陰萎病の原因、症候、鍼治法を記せ

一、灸の溫熱刺戟が遠心神經、求心神經に及ぼす作用如何

一、普通に用ひる消毒藥の名稱三種以上を擧げよ
一、消毒方法の種類 (以上灸術)

沖繩縣 (昭和五年九月)

一、輸尿管の位置、形狀及び各部の名稱を記せ

一、迷走神經の徑路

一、神經は如何なる用をなすやを問ふ (以上共通)

一、水溝(人中)、鬼官、鬼客廳(庫房)、五里の解剖的位置を記せ

一、折鍼の防止並に折鍼したる場合の處置を詳記せよ

一、正中神經麻痺の療法

一、京門、清冷淵、客主人、血海、天池の部位並に應用病名を擧げ其中に禁鍼穴あらば之を示せ (以上鍼術)

一、何度の酒精が消毒藥として努力あるか (以上灸術)

一、灸の血行に及ぼす作用並に其應用及び方式を記せ

一、淋巴管と靜脈との生理的差違

一、豐隆、内關、痞根、腹哀の解剖的關係禁灸穴の別を述べ併て其應用病名を問ふ (以上灸術)

一、百會、和髀、三焦俞の解剖的位置を示せ

一、日光消毒の方法並に其の效力を記せ

一、ヘッド氏帶の檢出法

一、クレゾール水の製法並に本消毒藥の長所に就て記せ (以上鍼灸共通)

一、石炭酸水稀釋度に就き消毒の效力に關係あるや、若しありとせば其理由 (以上鍼術)

一、百會、瘰癧門、俞府、神道、神堂、腫子髀、曲垣の指壓、分佈神經、經名

一、膀胱麻痺の原因、應用穴名、指壓

一、膀胱麻痺の原因、應用穴名、指壓

一、鍼の生理的作用、灸の生理的作用 (實地)

青 森 縣 (昭和五年九月)

- 一、(イ)腋窩を構成する筋肉の名稱を記せ
- (ロ)ブーバルト氏靱帯の下を通過する主なる血管神經の名稱を記せ
- 一、皮膚の機能を問ふ (以上鍼灸術共通)
- 一、腹部の疾患中特效あるもの禁すべきもの、及適應症と然らざるものと鑑別し難きものを問ふ
- 一、腦充血の治療法及び肋間神經痛の手法竝に注意すべき點を問ふ (以上鍼術)
- 一、蒸氣消毒法と熱氣消毒法との異なる點を記せ
- 一、石炭酸水の調製法及び應用に就て記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、地平鍼及び鉛直鍼
- 一、尺骨神經麻痺に對する鍼治療法及び其效ある理由 (以上鍼術實地)
- 一、灸治の不適應症を問ふ

東 京 府 (昭和五年九月)

- 一、黃疸の灸治法を記せ (以上灸術)
- 一、四華患門の部位竝に筋神經の名稱
- 一、後頭神經痛の壓痛點と其の要穴の部位 (以上灸實地)
- 一、肋膜に就て記載せよ
- 一、皮膚の生理的作用を述べよ
- 一、フォルマリン水を使用する消毒法に就て記せ
- 一、布片類の理學的消毒法如何 (以上灸術)
- 一、視器の構造を問ふ
- 一、呼吸作用を述べよ
- 一、刺鍼の消毒法に就て記せ
- 一、木製品の消毒法如何 (以上鍼術)

岡 山 縣 (昭和五年九月)

- 一、囊狀靱帯に就て

滋 賀 縣 (昭和五年十月)

- 一、知覺神經に就て
- 一、頑固な吃逆に對する刺鍼點
- 一、禁鍼の穴を挙げ其理由を説明せよ
- 一、蒸氣消毒に適せざる物品を挙げよ
- 一、手指の消毒に用ゆる藥品を挙げよ (以上鍼術)
- 一、皮膚の構造
- 一、坐骨神經の皮膚經過に就て
- 一、禁灸の穴を挙げ其の理由を説明せよ
- 一、腦壓の引下げに對する灸治法を問ふ
- 一、熱を用ふる消毒法を挙げよ
- 一、昇汞と石炭酸との稀釋法を問ふ (以上灸術)

筋の名稱

- 一、腋窩とは如何なる處をいふや、及び之を構成する諸筋の名稱
- 一、施鍼を避くべき部位を問ふ

京 都 府 (昭和五年十月)

- 一、肋間神經痛の鍼治法竝に胸筋「ロイマチス」との鑑別
- 一、煮沸消毒に適する物品の名稱及び其方法 (以上鍼術)
- 一、上肢に分佈する主なる神經の名稱
- 一、灸治の作用竝に施灸を避くべき部位を記せ
- 一、腰痛を起す疾病名稱及び其灸治穴名を問ふ
- 一、灸痕の處置如何(消毒を含む) (以上灸術)

左記經穴の部位

- 一、胃疾患と施灸療法に就て
- 一、天突、關元、命門、俠白、殷門 (以上灸術)

- 一、三%石炭酸水調製法及び應用に就て
- 一、理學的消毒法に就て詳記せよ。(以上鍼灸術共通)

奈良縣 (昭和五年十月)

- 一、顔面神経の起始、經過竝に分佈を記せ
- 一、血液の性状及び成分に就て記せ
- 一、施灸部皮膚は如何なる變化を生ずるや
- 一、腰部に存する經穴名と其部位竝に應用する疾病を記せ
- 一、如何なる條件を具備する藥品が消毒藥として最も適當なるや
- 一、防疫用石炭酸の性状竝に其應用を述べよ。(以上灸術)
- 一、腹部動脈幹の起始、經過竝に枝別を記せ
- 一、肝臓の位置、形状及び作用
- 一、迷走神経に刺戟を與へべき適當なる部位經穴を示し且つ其理由を説明せよ

- 一、三叉神経痛に應用する經穴名と且つ其部位を記せ
- 一、鍼術を行ふ際消毒の必要なる理由を説明せよ
- 一、蒸氣消毒方法を詳記せよ。(以上鍼術)

島根縣 (昭和五年十月)

- 一、結核豫防に灸療の効果ある理由
- 一、腹部の禁鍼禁灸及び其解剖的部位。(以上灸術)
- 一、喘息に對する要穴名竝に其解剖的部位
- 一、急性筋肉ロイマチスの刺戟法。(以上鍼術)
- 一、頸部を通過する血管神経の名稱
- 一、腎臓の位置及び作用
- 一、熱による消毒方法の種類を挙げ簡単に説明せよ
- 一、消毒藥としてのアルコールに就て
- 一、三%クレゾール水四百瓦の製法。(以上鍼灸術共通)

廣島縣 (昭和五年十月)

- 一、斜頭の種類及び刺戟の目的。(以上鍼術)
- 一、氣管枝喘息の灸治點及び目的。(以上灸術)
- 一、上膊に於ける血管神経の直接皮下に發する部位を記せ
- 一、腹腔内臓の名稱竝に位置を記せ
- 一、左の穴の部位、之に循る神経の名稱

陽綱、大都、腹哀、郛門、聽會

- 一、アルコール、石炭酸、昇汞の應用
- 一、消毒の必要なる理由を問ふ。(以上鍼灸術共通)
- 一、神経痛にして壓痛點を缺くものありや否や
- 一、下腿前側に寸六一番鍼にて無管刺戟せしむ
- 一、胸部、腹部禁灸穴名
- 一、灸の血管神経に及ぼす影響。(以上實地)
- 一、關節の種類及び其構造を記せ

徳島縣 (昭和五年十月)

- 一、脾臓の生理的機能を説明せよ
- 一、脊髓に於ける神経中樞の種類竝に其所在を問ふ
- 一、理學的消毒法を説明せよ。(以上鍼灸術共通)
- 一、皮膚鍼が胃腸に及ぼす影響如何
- 一、萎縮腎の原因、症候竝に之に施鍼すれば如何なる影響ありや。(以上鍼術)
- 一、身柱、肺俞、肩井の部位竝に之に施灸せば肺臓に對し如何なる影響ありや
- 一、陰萎症の原因、症候及び灸治法。(以上灸術)

福井縣 (昭和五年十月)

- 一、上肢前面の皮下靜脈の圖解せよ
- 一、沃度丁幾の消毒力を問ふ
- 一、酒精を使用する鍼具消毒方法を明記せよ
- 一、睡眠中の手に刺戟を與へる時不隨意に或る運動をなすは如何なる作用か及び其主要中樞所在部を述

へよ

- 一、坐骨神經麻痺は如何なる疾病か
 - 一、半身不隨症の原因を問ふ (以上鍼術)
 - 一、淋巴液とは如何なるものをいふか
 - 一、消化腺の構造を問ふ
 - 一、灸痕より丹毒を起す事なきか有れば其豫防方法を記せ
 - 一、理學的消毒方法を擧げよ
 - 一、溫熱は身體組織に如何なる影響を與へるか
 - 一、腎臟炎の原因及び症狀を問ふ (以上灸術)
 - 一、末梢神經麻痺に對する鍼治法
 - 一、頭痛に對する灸治法 (以上實地)
- 三 重 縣 (昭和五年十月)
- 一、心臟に分佈する神經の作用
 - 一、消化器の種類及び作用に就て

- 一、血液成分に及ぼす鍼の影響
- 一、痲痺に對する鍼の治療的價値
- 一、法定傳染病に對し蒸氣消毒の方法
- 一、鍼術の消毒方法 (以上學說)
- 一、便秘の原因症候療法 (實地口答)
- 一、承山の指壓刺鍼、同穴の筋肉神經の名稱 (以上鍼實地)
- 一、臍とは如何なるものか
- 一、分泌物の種類
- 一、痲癩に對し灸の效ある理由
- 一、喘息に對する治療法及び經穴名
- 一、消毒用昇汞水の製法
- 一、灸を施す時の消毒方法 (以上灸學說)
- 一、脚氣病の原因、症候、療法
- 一、風池、合谷の指壓及び應用病竝に犢鼻、照海の指壓 (以上灸實地)

福 岡 縣 (昭和五年十月)

- 一、股動脈の起始、經過及び神經との關係
- 一、肺臟、心臟、胃に來る神經を擧げよ
- 一、腹部に於ける禁忌症を述べよ
- 一、膀胱麻痺の鍼治法 (以上鍼術)
- 一、四十二歳の男子、事務員從來時々三角筋三頭筋筋腫攣骨筋の疼痛があつたが、一週間前から持續性の痛みとなり運動の節激痛が起つて不能となる、病名と療法を問ふ (以上鍼實地)
- 一、總頸動脈と外頸動脈の起始、經過、枝別を述べよ
- 一、腓腸神經に就て
- 一、副神經麻痺の症狀と療法
- 一、痔核症の灸治法 (以上灸術學說)
- 一、七歳の小兒、元來腺病體質であるが既往症に百日咳がある、毎年季節の變り目に一週間位咳嗽をする、

和 歌 山 縣 (昭和五年十月)

- 本年も其咳嗽が朝夕殊に夜間に多く灸がよいといふ話であるからとて求めて來た、病名と療法を問ふ (以上灸實地)
- 一、プーバルト氏靱帶とは如何、竝に其下を通過する主なる血管神經の名稱を問ふ
 - 一、左記に就て答へよ
 - (イ)神經の傳達機能とは何ぞ
 - (ロ)小腦の機能を問ふ
 - 一、手術局部の消毒は如何にせば完全なりや、其方法順序を記せ
 - 一、理學的消毒法に就き各優劣の點を詳記せよ (以上鍼灸術共通)
 - 一、上膊部に於ける穴名を列舉し其禁鍼穴を示せ
 - 一、神經性心悸亢進の原因、症候及鍼療法を問ふ (以上鍼術學說)

- 一、上膊部に於ける穴名を列挙し其禁灸穴を示せ
- 一、脚氣(神經性)の症狀及び灸療法を問ふ(以上灸術學說)
- 一、神經痛に對する施鍼法
- 一、膀胱疾患に對する施鍼法
- 一、氣管枝疾患に對する施灸法
- 一、脊髓疾患に對する施灸法(以上實地)

熊本縣 (昭和五年十月)

- 一、胸廓を構成する骨竝に胸腔内臓器の名稱を挙げよ
- 一、睪臓の生理的作用を記せ
- 一、左の二項に就きて知る處を記せ
 - (イ)交感神經の所在、分佈
 - (ロ)大腿に分佈する血管
- 一、消毒藥の種類及び藥品に就て使用法を詳記せよ
- 一、施術上消毒不完全の場合如何なる障礙を起すものなるや

- 一、手の五里、正營、肩井、懸鐘の解剖的部位竝に其經名を問ふ(以上鍼灸術共通)
- 一、刺鍼を施し能はざる部位を問ふ(以上鍼術)
- 一、灸の血液に及ぼす影響を記せよ(以上灸術)
- 一、深腓骨神經の部位竝にある穴及び刺鍼
- 一、黃疸の灸治の適否(以上實地)

秋田縣 (昭和五年十月)

- 一、二頭膊筋、三頭膊筋、内膊筋の起始、附着及び作用
- 一、腎臓の位置、構造及び生理的作用
- 一、顔面神經麻痺の症狀及び療法
- 一、急性筋肉ロイマチスの症狀及び療法(以上鍼灸術共通)

兵庫縣 (昭和五年十一月)

- 一、横紋筋と滑平筋との區別
- 一、中樞性麻痺と末梢性麻痺との差を問ふ

- 一、用鍼の種類及び鍼の使用法の特徴を問ふ
- 一、膊神經痛に對する刺鍼上の注意如何
- 一、消毒の必要なる理由を記せ(以上鍼術)
- 一、皮膚の作用を問ふ
- 一、肩の凝の成因を述べよ
- 一、灸術の醫治的效用を問ふ
- 一、胃アトニー(胃衰弱)に對する施灸法如何
- 一、煮沸消毒につき注意すべき事項を記せ(以上灸術)

福島縣 (昭和五年十月)

- 一、皮膚の構造及作用
- 一、交感神經の分佈及び作用
- 一、消毒とは如何其の目的
- 一、蒸氣消毒に就て
- 一、消毒藥の名稱及び石炭酸の稀釋法
- 一、灸痕化膿したる處置

山形縣 (昭和五年八月)

- 一、刺鍼に消毒せざれば如何なる危害ありや
- 一、肋間神經痛の症候、鍼灸治療法
- 一、腹部正中線の穴名其部の神經、脈管禁穴を挙げよ
- 一、折鍼は如何なる場合するや、又折鍼時の處置(以上鍼灸術共通)
- 一、階段の灸を問ふ
- 一、刺鍼法と拔鍼法(以上鍼灸術實地)
- 一、肘窩を構成する筋の名稱及び之を通過する主なる血管神經の名稱を記せ
- 一、延髓の位置、形狀及び諸中樞を記せ
- 一、天柱、大迎、章門の部位、經名を記せ
- 一、後頭部に於ける經穴の名稱及び其部位を記せ
- 一、皮膚消毒藥品の名稱及び其使用法を記せ(以上鍼術)
- 一、腰部禁穴の名稱及び位置を實地に指壓せよ

- 一、刺鍼手技 (以上鍼實地)
 - 一、頭蓋及び顔面を構成する骨の名稱を問ふ
 - 一、遠路旅行の際身體の内何れの部が最も疲勞するか、其筋肉の名稱を問ふ
 - 一、後頭に於ける禁灸穴の名稱及其位置を問ふ
 - 一、灸痕部より侵入し易き傳染病名及び其の豫防法を問ふ (以上灸術)
 - 一、食血、瘰癧の施灸法
 - 一、膝關節附近にある禁灸穴を實地に指壓せよ (以上灸實地)
- 北 海 道 (昭和五年九月)
- 一、大胸筋及び三角筋の起止、停止竝に分佈神經を記せ
 - 一、消化作用に就て知れる處を記せ
 - 一、知覺神經枝に對する鍼治の生理的作用に就て記せ
 - 一、上肢に於ける刺鍼點を解剖學的名稱を以て記せ

- 一、鍼の消毒方法を問ふ
 - 一、昇汞を消毒薬として使用する際の注意を述べよ (以上鍼術)
 - 一、二頭膊筋及び長腓骨筋の起始、停止竝に分佈神經を問ふ
 - 一、發汗作用と神經機能との關係を記せ
 - 一、灸治の適應症及び禁忌症を挙げよ
 - 一、坐骨神經痛の灸治療法
 - 一、施術部の消毒方法
 - 一、左記傳染病々原菌の侵入門を問ふ (イ)腸チフス (ロ)丹毒 (ハ)チフテリア (ニ)赤痢 (以上灸術)
- 長 野 縣 (昭和五年十月)
- 一、鎖骨の位置、形狀、聯接に就て記せ
 - 一、腹部諸筋の名稱及び作用を述べよ
 - 一、小腸に於ける消化作用を記せ

- 一、半身不隨とは如何なる病か
 - 一、肋間神經痛に對する刺鍼點及び灸點の解剖的部位を記せ
 - 一、法定消毒薬四種を挙げ其の鍼灸施術に際しての使用方法を記せよ (以上鍼灸術共通)
 - 一、坐骨神經痛に對する處置と刺鍼 (鍼實地)
 - 一、神經衰弱の症候及び處置治療穴の指壓 (灸實地)
- 山 口 縣 (昭和五年十一月)
- 一、胸腔内臟器各種の位置及び作用
 - 一、坐骨神經の起始、經過
 - 一、消毒の目的及び消毒法の種類
 - 一、鍼灸療法を經穴に基く理由、竝に結核症に對する治療的價値を問ふ (以上鍼灸術共通)
 - 一、次に示す穴名の解剖的部位竝に其の摘要を問ふ
前項、雲門、會陽、承扶、築賓、三陰交、曲差、

- 迎 香
- 一、膀胱麻痺の原因症候療法 (以上鍼術)
 - 一、咽頭加答兒に對する灸治法と禁灸穴を挙げよ
 - 一、子宮内膜炎の原因症候療法
 - 一、肘關節部の經穴名と部位指壓 (以上鍼實地)
 - 一、臍より命門に至る横線上の經穴名を述べよ (以上鍼灸術共通)
 - 一、肺炎に刺鍼せば如何なる徵候を呈するか
 - 一、受験者自己の下腿に一鍼、委員の下腿に一鍼せしむ (鍼實地)
- 富 山 縣 (昭和五年十月)
- 一、脚氣の灸治法
 - 一、偏頭痛の症候及び灸治法 (以上灸術)
 - 一、尺骨神經麻痺の症候及び刺鍼法
 - 一、胃擴張の症候及び刺鍼法 (以上鍼術)
 - 一、筋肉の種類及び作用

- 一、動脈血、靜脈血
- 一、理學的消毒法を問ふ
- 一、アルコールの性状及び應用 (以上鍼灸術共通)

愛知縣 (昭和五年十月)

- 一、腋窩を構成する諸筋の名稱及び位置
- 一、皮膚の作用
- 一、横隔膜痙攣の原因及び症候
- 一、陽交、勞宮、中極の解剖的部位及び血管、神經に就て記せよ (以上鍼術)

- 一、人體に於ける主要なる關節の名稱及び其の種類
- 一、神經の反射作用とは如何及び其例
- 一、灸術を施すに當り如何なる消毒を必要とするか
- 一、尿道加答兒の原因及び症候並に療法を記せ
- 一、顔面頭蓋部に於ける禁灸の經穴名を列舉せよ (以上鍼術)

- 一、坐骨神經麻痺は如何なる疾病か
- 一、半身不隨の原因を問ふ (以上鍼術)
- 一、便秘に對する治療法を問ひ刺鍼の深さと目的を問ふ
- 一、股神經痛の治療法、何れも部位を述べ指壓せしむ、股神經痛に刺鍼せしめ刺鍼の度合と深さとの手技を問ふ (以上鍼實地)
- 一、淋巴液とは如何なるものをいふか

山梨縣 (昭和五年三月)

- 一、上膊筋の名稱並に起始停止を述べよ
- 一、三叉神經の分佈區域を述べよ
- 一、淋巴腺の作用及其の主なる所在を問ふ
- 一、化學的消毒法に就て述べよ
- 一、左の經穴の解剖的位置を述べよ
- 百會、大迎、肩外、三陰交 (以上鍼灸術共通)
- 一、腦溢血の原因、症候及療法 (鍼灸)

肋間神經の原因症狀及療法 (鍼術)

福井縣 (昭和五年四月)

- 一、左の位置を問ふ
- (1) モーレンハイム氏窩 (2) 股輪 (3) バルトリン氏腺
- 一、内呼吸と外呼吸との區別を問ふ
- 一、アルコールを以てする鍼具の消毒方法を詳記せよ
- 一、施鍼に際し消毒せざる場合に發する疾病の種類及療法を問ふ
- 一、撓骨神經麻痺の症狀を問ふ
- 一、狭心症の原因及症狀を挙げよ (以上鍼術)
- 一、眼窠を構成する骨の名稱を挙げよ
- 一、動脈血と靜脈血との區別を問ふ
- 一、消毒と清潔の差異を記せ
- 一、熱の消毒的作用に就て記せ
- 一、黃疸とは如何なる疾病か

一、股神經痛の原因及症候を問ふ

埼玉縣 (昭和五年四月)

- 一、上膊の筋肉及之に分佈する神經の名稱を記せ
- 一、心臟の位置及機能を問ふ (以上鍼灸術共通)
- 一、脚氣に對する施術方法を問ふ
- 一、胃痛に對する鍼治法を記せ
- 一、麻痺及痙攣に刺鍼の有效なる理由を記せ
- 一、消毒の必要なる理由を記せ (以上鍼術)
- 一、鍼治の有效なる理由を記せ
- 一、施灸の禁忌症を記せ
- 一、半身不隨症に對する施術上の注意を問ふ
- 一、消毒の必要なる理由を記せ

秋田縣 (昭和五年四月)

- 一、大腿に於ける筋肉の名稱及其の起始附着

- 一、心臟の位置、構造及機能
- 一、脚氣の症候及鍼、灸術を記せ
- 一、胃瘰の症候及び、鍼灸術を記せ (以上鍼灸術共通)

熊 本 縣 (昭和五年四月)

- 一、泌尿器とは如何なるものか竝に腎臟の位置、形狀を記せ
- 一、唾液の消化作用を問ふ
- 一、消毒薬の種類及び手指消毒の順序方法
- 一、第五肋間の穴名を挙げよ
- 一、前頸部に於ける穴名及び禁鍼禁灸穴名を問ふ (以上鍼灸共通)

靜 岡 縣 (昭和五年四月)

- 一、坐骨神經の徑路を記せ
- 一、胃の位置及び形狀 (以上鍼灸術共通)

- 一、知覺脱出に對する鍼治法
- 一、胃瘰を起し易き場合、又は之に最も奏效する刺鍼點を問ふ (以上鍼術)

滋 賀 縣 (昭和五年四月)

- 一、慢性胃加答兒に對する施灸點及び其有效なる理由
- 一、灸の生理的作用を問ふ (以上灸術)
- 一、關節とは如何竝に其の種類を記せ
- 一、動脈血と靜脈血との區別を問ふ
- 一、刺鍼の際注意すべき事項
- 一、肝臟の位置及形狀
- 一、消化液の名稱及作用
- 一、灸痕の生ずる理由

佐 賀 縣 (昭和五年五月)

- 一、神經組織とは何ぞや

山 梨 縣 (昭和六年三月)

- 一、皮膚の分泌に就て記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、肋膜炎の症候及び灸治を記せ (灸術)
- 一、流行性耳下腺炎の症候及び鍼治を記せ (鍼術)
- 一、神経性心悸亢進の原因症候竝に灸治如何 (灸術)
- 一、脊髄癆の原因症候と鍼治の適否 (鍼術)
- 一、アルコールと石炭酸の應用上の差異如何 (鍼灸共通)

臺 灣 臺 北 州 (昭和六年三月)

- 一、腦神經の名稱を挙げ且運動知覺の區別を示せ
- 一、左の穴の經名を示し且解剖的位置を記せ
- 一、曲池、三里、翳風、腎俞、客主人、大椎
- 一、顔面神經麻痺の症候及び療法を記せ
- 一、消毒薬の種類及び其用法を記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、脚氣に對する鍼灸治療法を記せ
- 一、三里、懸鐘に刺鍼せしむ (以上鍼灸實地)

- 一、咀嚼筋の名稱竝に起始停止
- 一、胃の位置形狀及び分佈神經の名稱
- 一、交感神經の構造竝に作用
- 一、陽白、百會、水泉、曲池、三陰交の解剖的部位
- 一、消毒の意義竝に鍼術に關する消毒法 (以上鍼灸術共通)
- 一、撓骨神經麻痺の原因、症候、療法 (鍼術)
- 一、夜尿症の原因、症候、療法 (灸術)
- 一、夜驚症の原因、症候、竝に療法、前膊、腰部刺鍼、孔穴指壓 (以上鍼灸術共通)

茨 城 縣 (昭和六年四月)

- 一、腦神經の名稱及び機能を上方より順述せよ
- 一、消毒薬の具備すべき條件如何
- 一、大腿筋の起始點、作用、竝に血管を問ふ (以上鍼術)

- 一、皮膚の構造を圖解せよ
- 一、尿につきて知る處を述べよ
- 一、アルコール消毒について述べよ (以上灸術)

大阪府 (昭和六年四月)

- 一、副神經の起始、經過及び同神經の分佈する筋の名稱を記せ
- 一、淋巴液とは如何、其效用を記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、刺鍼の各手技を挙げ、之を詳記せよ
- 一、曲池、承筋及び痞根の三穴に就て知る處を列記せよ (以上鍼術)
- 一、灸の化膿する理由及び化膿を防止する方法を列記せよ
- 一、玉枕、天井、陷谷、氣穴、陰市の解剖學的部位並に禁穴の區別及び其中三穴の應用を記せ (以上灸術)
- 一、消毒の目的を記せ

- 一、酒精は如何なる作用により細菌を死滅せしむるやを問ふ (以上鍼灸術共通)

- 一、顔面神經麻痺の鍼治法

- 一、胃痛に對する鍼治法 (以上鍼實地)

- 一、偏頭痛の灸治法

- 一、下痢に對する灸治法 (以上灸實地)

兵庫縣 (昭和六年四月)

- 一、食物消化吸收の主要を説明せよ
- 一、血液の性状成分を問ふ
- 一、ヘッド氏帶に刺鍼せば治療上如何なる影響を與へ得るか
- 一、神經痛に對し鍼の奏效する場合を問ふ
- 一、蒸氣消毒に就て知る處を詳記せよ (以上鍼術)
- 一、體温は如何にして調節せらるるか
- 一、分泌と排泄の區別を例を挙げて説明せよ

- 一、灸の心臟機能に及ぼす影響を問ふ

- 一、筋ロイマチスの灸治法如何

- 一、瓦斯消毒に就て詳記せよ (以上鍼術)

福井縣 (昭和六年四月)

- 一、頭中央部の横斷面を圖解せよ
- 一、眼の物體を明視し得る理由を問ふ
- 一、舞踏病の症狀を問ふ
- 一、鍼術施行に際して行ふべき最も有效なる消毒法を順序的に記せ
- 一、副神經麻痺の原因及び症狀を問ふ (以上鍼術)

京都府 (昭和六年四月)

- 一、心臟の内部所見を記し併せて各部分の作用を記せ
- 一、前膊前側(淺層)筋の名稱を挙げ其起始停止部位並に其筋肉に分佈する神經の名稱を記せ (以上鍼灸術共通)

- 一、肋膜炎の施灸療法に就て左の事項を述べよ

- (イ)施灸の時期 (ロ)施灸の目的 (ハ)施灸の部位

- (穴名及び其の部位) (ニ)其他必要事項

- 一、灸痕化膿の防止法如何 (以上灸術)

- 一、胸部刺鍼法及び刺鍼上注意すべき事項を挙げよ

- 一、足の太陽膀胱經の中、大腿及び下腿にある經穴の部位と名稱

- 一、理學的消毒法の種類、各消毒の際の注意

- 一、手指消毒の目的及び其順序と方法を記せ (以上鍼灸術共通)

- 一、消毒の目的を記せ

- 一、副神經麻痺の原因及び症狀を問ふ (以上鍼術)

埼玉縣 (昭和六年四月)

- 一、頭部に存在する血管、神經及び筋の名稱を記せ
- 一、交感神經の機能を記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、施灸部化膿は如何なる場合に起るや
- 一、灸の禁忌部位を記せ

- 一、灸治の血管、神経に及ぼす作用を記せ
- 一、消毒を施す理由を記せ (以上灸術)
- 一、鍼術は如何なる疾患に適するや
- 一、鍼術の禁忌すべき部位及び場合を記せ
- 一、誘導刺鍼は如何なる場合に應用するや
- 一、消毒を施す理由を記せ (以上灸術)

香 川 縣 (昭和六年四月)

- 一、正中神経の經過分佈如何
- 一、消化器の名稱及び其作用
- 一、施術に際する消毒法を詳記せよ
- 一、咀嚼筋に就き詳記せよ。及び神経の名稱と經過如何
- 一、臍に接近する穴名を順序に従ひ十穴を記せ
- 一、大迎、五里、心俞、膻中、大敦の部位
- 一、鍼の刺戟の強弱につき詳記せよ
- 一、胃痙攣の灸療法の目的及び方法

徳 島 縣 (昭和六年四月)

- 一、腹腔内に存在する各臓器の名稱及び位置、形状並に腹腔内を通過する主要なる血管の名稱を問ふ
- 一、小腸の化學的消化作用を記せ
- 一、施術の際消毒の必要なる所以を述べ消毒薬の種類並に其の溶解法を記せ (以上灸術共通)
- 一、施鍼の血管並に血液に及ぼす影響を問ふ (以上灸術)
- 一、三里、五里の部位を記し並に此部に施灸すれば如何なる作用ありや (以上灸術)

愛 知 縣 (昭和六年四月)

- 一、膀胱の構造及び分佈する神経
- 一、胃の生理的作用
- 一、消毒薬の名稱及び其濃度
- 一、局所療法の適應症と其奏效の理由

- 一、神経痛と神経炎との區別、何れが適應症なるか及び奏效する理由 (以上灸術)
- 一、大腿中央を横斷すると如何なるものを切るや
- 一、體温の調節機能を問ふ
- 一、石炭酸、昇汞、酒精の消毒上の優劣を記せ
- 一、猿手(熊手)驚手の原因(如何なる神経の疾患か)治療穴名
- 一、前腹壁より刺鍼して奏效する胃疾患並に其理由及禁忌症を問ふ (以上灸術)

福 岡 縣 (昭和六年四月)

- 一、白血球の作用及び生成に就て
- 一、膀胱麻痺の原因及び灸治法
- 一、灸を禁すべき部位を記せ
- 一、腰痛に對する灸治法を擧げよ (以上灸術)
- 一、慢性神経性頭痛症

三十七歳の人妻、無職、貧血性、左半頭痛及び左眼充血す、壓痛點なし、右診斷、目的及び療法、穴名試問指壓せしむ (以上灸實地)

- 一、腹部に於て腹膜外にある器官の名稱、位置及び機能を問ふ
- 一、胃擴張の鍼治法
- 一、足の陽明胃經に屬する禁鍼穴名及び其解剖的部位を記せ
- 一、施鍼に際し、術者は如何なる準備を要するか (以上灸術)
- 一、ランニング握手、外股皮下神経痛、鍼二分間以内 (以上灸實地)

石 川 縣 (昭和六年四月)

- 一、(イ)交感神経に就て知る處を記せ
- 一、(ロ)腸の位置各部の名稱及構造機能を記せ
- 一、各種消毒法の長所短所を記せ

一、咳嗽に對する鍼灸治法 (以上鍼灸術共通)

滋賀縣 (昭和六年四月)

一、背部に分佈する筋の名稱を問ふ

一、顔面神經麻痺の症狀及鍼灸治法

一、消毒藥の種類及び其使用法 (以上鍼術)

一、腎臟の位置及び機能

一、胃痛に對する穴名

一、昇汞水使用時の注意 (以上灸術)

和歌山縣 (昭和六年五月)

一、胃の位置及び各部の名稱竝に神經を問ふ

一、皮膚感覺の性質に就て述べよ

一、消毒藥には常に水分を必要とする理由を詳記せよ

一、化學的消毒を鍼灸營業者として使用する範圍及び利害 (以上鍼灸術共通)

一、小兒斜差の灸穴に就て知る處を記せよ

一、夜盲症の原因、症候、療法 (以上灸術)

一、玉枕、神門、箕門の解剖的部位及び禁鍼穴を問ふ

一、常習便秘の原因、症候、療法 (以上鍼術)

一、横隔膜痙攣の原因、症候、鍼灸治法

一、腸痛の原因、症候、痛の種類

一、曲池に刺鍼一寸を行はしむ (以上鍼實地)

一、肋間神經痛の原因、症候、鑑別、治療法

一、黃疸の原因、症候、治療法

一、肝俞、膽俞、脾俞の取穴 (以上灸實地)

奈良縣 (昭和六年四月)

一、尺骨神經の起始、經過及び分佈を記せ

一、胃の構造竝に其機能を記せ

一、鍼術に依る誘導法とは如何且つ其の手技を説明せよ

一、手の指に有する經穴の名稱、部位竝に應用する疾患

を挙げよ

一、刺鍼時に於ける消毒の必要なる理由を説明せよ

一、クレゾール水の特質を記し、併せて其應用を述べよ (以上鍼術)

一、胸部淺層筋の起始、停止竝に之に分佈する神經を記せ

一、心臟の構造竝に其機能を記せ

一、風池、神封、大横、臂臑、大敦の部位と應用する疾患を挙げよ

一、灸の治療的作用に就て記せ

一、理學的消毒法の二種に就て記せ

一、昇汞水の調製法竝に應用を述べよ (以上灸術)

鹿兒島縣 (昭和六年五月)

一、骨の構造竝に其主要成分に就き其大要を挙げて説明せよ

一、尿の分泌竝に排泄に就き其大要を記せ

一、消毒の目的及び人體に應用せらるべき消毒藥品の名稱を記せ

一、治療鍼の細大長短と刺戟との關係に就て例を挙げて説明せよ

一、左に示す經穴の位置及び解剖的所見竝に該穴に知覺過敏帶の發現するは何疾患の場合なるや

風門、附分、魄戶、屋翳、身柱、譙譙、臑中、巨闕

一、夜尿症に對する鍼灸治療法の可否及び其理由を述べよ (以上鍼術)

一、唾液腺及び唾液に就き知る處を記せ

一、筋肉疲勞の原因竝に恢復法に就て説明せよ

一、喀痰の處置及び日光消毒に就て説明せよ

一、施灸の補體竝に調理素作用に及ぼす影響如何

一、肺結核に對する施灸の奏效する時期竝に應用せらるる穴名を記せ

穴名を記せ

一、左の穴の部位竝に解剖的所見を述べよ
承山、上髀、日月、痞根 (以上灸術)

佐賀縣 (昭和六年六月)

- 一、腸管の位置、構造竝に各部の名稱を記せ
- 一、蛋白質の消化を記せ
- 一、側腹部に於ける經穴の名稱と解剖學との關係を記せ
- 一、胃擴張の症候竝に其鍼治法及び灸治法を記せ
- 一、フォルマリンの性状及び應用を記せ (以上鍼灸術共通)

栃木縣 (昭和六年五月)

- 一、僧帽筋の起始、停止及び分佈する神經の名稱
- 一、皮膚の構造及び效用を記せ
- 一、鍼術に消毒の必要なる理由及び術者の手指と被術者の患部は何れを先に消毒するや
- 一、鍼術に用ゆる消毒薬二三の名稱及び製法を記せ

(以上鍼灸術共通)

岩手縣 (昭和六年五月)

- 一、前脛骨動脈の起始經過分佈を示せ
- 一、體温の調節を記せ
- 一、肋間神經痛に對する鍼灸治療法
- 一、腹水の原因症候及び鍼灸治療法 (以上鍼灸術共通)
- 一、肩胛下神經痛及び腸疝痛の原因症候及び鍼灸治療法 (鍼は刺し灸は穴を壓す) 消毒薬の調合及び使用時の注意 (以上鍼灸實地)

長崎縣 (昭和六年五月)

- 一、頸部に存在する神經の名稱を記せ
- 一、延髓の機能を記せ
- 一、靈臺、陰包、顛髻の位置及び其の部に於ける筋、血管、神經との關係を記せ

- 一、鍼術の神經機能に及ぼす作用に就て記せ
- 一、防腐法、制腐法、消毒法の區別を記せ
- 一、鍼の消毒に必要な消毒薬の名稱竝に其の稀釋方法を記せ (以上鍼術)

一、顔面神經の經過を記せ

一、皮膚の生理的作用を記せ

一、腋門、帶脈、目窓の位置及び其部に於ける筋、血管神經の關係を記せ

一、咳嗽を伴ふ疾病を灸術の適應するものと、適應せざるものとに別けて列記せよ

一、昇汞水の調製法竝に其の使用上の注意を記せ

一、灸痕より侵入し易き傳染病の名稱竝に其の豫防方を記せ (以上灸術)

長野縣 (昭和六年五月)

一、腋窩を構成する筋の名稱を各部につき外側より記せ

一、充血と鬱血との差異及び之等に對する病名を記せ

一、皮膚の生理的作用を記述せよ

一、左記の經穴の解剖的位置を記せ

三焦俞、小腸俞、少海 (灸術)

靈臺、五里(上肢)、志室 (鍼術)

一、常習便秘に對する鍼灸治法を記せ

一、消毒と清潔との意義を簡明に記せ (以上鍼灸術共通)

群馬縣 (昭和六年五月)

一、鼻腔を構成する骨の名稱を記せ

一、横隔膜の裂孔を通過する血管及び神經を問ふ

一、肝臓の生理的作用を問ふ

一、齒痛の刺鍼法を記せ

一、筋肉中に折鍼せば如何なる障礙を起すや

一、膀胱麻痺の鍼治法を問ふ (以上鍼術)

一、腋窩を構成する筋の名稱竝に通過する血管神經を問ふ

一、迷走神経の起始及び分佈する内臓を示せ

一、尿道加答兒の灸治法竝に施灸部位穴名如何 (以上鍼術)

一、皮膚の生理的作用を示せ

東京府 (昭和六年三月)

一、筋肉に發する病は何なるや

一、循環器の名稱及び機能は如何

一、大腿に於ける禁灸穴を挙げよ

一、胃の機能及び之に分佈する神経の名稱

宮崎縣 (昭和六年六月)

一、月経痛に對する灸治法を記せ (以上灸術)

一、石炭酸水の濃度及び消毒用途に就て記せ

一、泌尿器官の名稱及び尿の分泌機能に就て記せ

一、煮沸消毒方法を述べよ (以上鍼術)

一、三叉神経の分佈に就て詳細に説明せよ (以上鍼灸術共通)

一、上膊筋の名稱

一、消毒の方法及び主なる消毒薬の稀釋法を問ふ

一、三叉神経の徑路及筋との關係

一、胃痙攣、胃潰瘍、神経性腸疝痛、盲腸炎、疽石疝痛

一、昇汞水使用時の注意如何

腎石痛、以上の疾病に就て各々其腹痛の特徴及び刺

一、消毒方法の種類を問ふ (以上灸術)

鍼の禁忌適應を述べよ

秋田縣 (昭和六年五月)

一、腹中、靈臺、大迎、幽門の解剖的部位竝に禁鍼要穴

一、胸廓を構成する骨の名稱及び聯接

の區別 (以上鍼術)

一、肝臓の構造及び生理的作用

一、坐骨神経痛の症候及び鍼灸治療方法を記せ

一、アルコール及び昇汞水の使用方法及び溶解法

且つ使用に際しての兩者の優劣を述べよ

一、頸部に於て禁鍼穴ありや、ありとせば其の穴の名稱を述べよ (以上鍼灸術共通)

一、頸部任意の場所を取穴して雀啄術及び單刺術を施せ (以上鍼實地)

一、前膊任意の箇所を取穴して灸をつけよ (以上灸實地)

高知縣 (昭和六年五月)

一、淋巴及び淋巴腺に就て知る所を記せ

一、血管腺(内分泌腺)の種類と其の作用を記せ (以上鍼灸術共通)

一、胃俞、膝關の位置竝に筋、血管、神経の關係を記せ

一、疽石症の症候、治療法を記せ (以上鍼術)

一、蒸氣消毒とは何ぞ、其の要約注意を記せ

静岡縣 (昭和六年月不詳)

一、腸の構造及び諸腺の名稱を問ふ

一、消毒薬の種類稀釋度 (以上鍼灸術共通)

一、太陽叢の部位

一、腸疝痛に於ける鍼治法 (以上鍼術)

一、喘息の灸治法

一、階段の灸の取穴法

一、神経性心悸亢進の原因、症候、灸治法 (以上灸實地)

一、耳下腺炎の原因、症候、鍼治法

一、小兒急性脊髓前角炎の原因、症候、鍼治法 (以上鍼實地)

一、奇穴の著名なるもの三四を挙げ、併せて風市の部位主治を記せ

一、氣管枝喘息の症候、灸治法を問ふ

一、瓦斯消毒法に就て知る處を記せ (以上鍼灸術共通)

一、瓦斯消毒法に就て知る處を記せ (以上鍼灸術共通)

一、上髻、曲池、膝眼の部位、應用の範圍 (以上灸術)

岩手縣 (昭和六年月不詳)

- 一、頸部に於ける貴要血管に就て記せ (鍼術)
- 一、上膊神經の徑路及び其枝別に就て記せ (灸術)
- 一、脾臟の位置、構造及び機能を問ふ
- 一、坐骨神經痛の原因症候及び療法如何
- 一、下腹部に於ける穴名及び其の部位を記せ
- 一、鼓腸の原因及び症候、其の療法を記せ (以上鍼灸術共通)

山形縣 (昭和六年八月)

- 一、下腿後側筋の名稱を記せ
- 一、赤血球の生理的作用を記せ
- 一、膝窩窩に於ける穴名及び部位を記せ
- 一、上腿部に激痛ある患者の鍼治に就て如何なる方法を

取るや

- 一、化學的消毒法並に手指の消毒法を記せ (以上鍼術)
- 一、刺鍼の手法、頸部髮際に於ける穴名禁鍼を實地に就て指示せよ
- 一、上膊諸筋の名稱を問ふ (以上鍼實地)
- 一、分泌物排泄物に就て記せ
- 一、足背及び足趾に於ける灸穴名及び部位を記せ
- 一、腦溢血患者の施灸の時期及び穴名を記せ
- 一、灸治に應用する消毒藥の名稱及び其用法を記せ (以上灸術)
- 一、施灸方法臍の上、下左右に於ける灸穴名及び禁穴名を實地に就て指示せよ (以上灸實地)

鳥取縣 (昭和六年九月)

- 一、上肢の動脈及び靜脈を説明せよ
- 一、腹腔内臟器の名稱及び其機能

(以上灸術)

- 一、脚氣の原因、症候及び脚氣八處の穴指壓
- 一、肺結核の初期に於ける灸治法及び灸の奏效理由
- 一、副睾丸炎の原因灸治點指壓 (以上灸實地)

北海道 (昭和六年九月)

- 一、門靜脈の特徴及び經過を記せ
- 一、延髓の自働的中樞及び名稱を記せ
- 一、鍼の興奮作用を説明せよ
- 一、便秘痛に對する療法の大意を記せ
- 一、刺鍼後に於ける小隆起及び紫斑を呈せる理由を記せ
- 一、鍼により媒介せらるゝ傳染病の名稱を記せ (以上鍼術)
- 一、總頸動脈の經過を記せ
- 一、肺循環を説明せよ
- 一、遺尿症に對する療法の概要を記せ

一、鍼術者の使用する主なる消毒藥を挙げ其稀釋法を記せ

- 一、「アルコール」、「酒精」の區別を述べよ
- 一、酒精の消毒藥として奏效する理由如何 (以上鍼術)
- 一、鍼は血管に如何なる作用をするや
- 一、妊娠時に刺鍼を禁すべき部位と理由、及び其穴を指壓せしむ
- 一、三叉神經痛に對し刺鍼點及び指壓せしむ (以上鍼實地)

一、胸部を構成する骨の名稱、及び胸腔内に存在する臟器の名稱

- 一、顔面神經の經過及び其の分佈する器官を説明せよ
- 一、内務省令鍼術灸術營業取締規則中施鍼時に對してのみ消毒規定ありて施灸時に對し之のなき理由を述べ
- 一、理學的消毒法と化學的消毒法とを説明せよ

- 一、灸治に於ける直接刺戟療法的作用を説明せよ
- 一、化膿菌の傳染徑路及び之によりて惹起せらるゝ疾病の名稱を列記せよ

一、飛沫傳染病の名稱を列記せよ (以上灸術)

東京府 (昭和六年九月)

- 一、泌尿器の名稱
- 一、運動を主宰する神経の名稱
- 一、クレゾール石鹼液に就て記せ
- 一、器具の消毒方法如何 (以上鍼術)
- 一、上膊の名稱
- 一、皮膚の生理的作用
- 一、蒸氣消毒は如何なるものに適するか
- 一、消毒とは如何なることをいふか (以上灸術)

青森縣 (昭和六年九月)

- 一、上膊骨に起始停止する筋の名稱、及び各筋に分佈する神経の名稱を記せ

一、血液運行の原因を記せ (以上鍼灸術共通)

一、灸痕の化膿せる處置法を問ふ

一、胃加答兒に對する壓痛點と要穴を記せ (以上灸術)

一、清潔と消毒の異なる點を記せ

一、フォルマリン水の調製法及び應用に就て記せ (以上鍼灸術共通)

一、鍼術に於て最も有效なる主なる病名を擧げよ

一、利尿筋の麻痺症狀に對する鍼治法と要穴を記せ (以上鍼術)

徳島縣 (昭和六年十月)

- 一、脾臓の位置、形狀及び其構造を記せ
- 一、頭蓋底を構成する骨の名稱及び腦神経の種類を記せ
- 一、榮養素に就て説明せよ

一、自働中樞の種類並に其位置を記せ

一、クレゾール水及び昇汞水の溶解法並に使用上の注意を記せ

一、顔面神経麻痺の症候並に之に對する施鍼の主治穴を擧げ其奏效の理由を記せ (以上鍼灸術共通)

宮城縣 (昭和六年十月)

- 一、三叉神経の起始分佈及び作用
- 一、血壓に就て知る處を記せ
- 一、炎症に對し鍼灸施行の可否
- 一、施鍼並に灸治禁忌の部位を擧げよ
- 一、脚氣病の徵候及び其處置法を問ふ
- 一、業務上常に多く用ゆる消毒薬三種を擧げ其使用方法を詳記せよ (以上鍼灸術共通)

富山縣 (昭和六年十月)

一、腎臓の位置、形狀並に機能

一、消化液の名稱及び分泌する臓器を記せ

一、皮膚の傳染病に就て記せ

一、消毒法の種類を詳記せよ (以上鍼灸術共通)

一、身體に刺鍼の及ぼす影響を記せ

一、腕骨神経麻痺の原因及び刺鍼法 (以上鍼術)

一、灸の身體に及ぼす影響を記せ

一、慢性腸加答兒の灸治法 (以上灸術)

一、胃下垂の症候治療穴、坐骨神経痛の症候と治療穴、顔面神経麻痺の症候と治療穴、耳鳴の症候と治療穴 (以上鍼灸術實地)

島根縣 (昭和六年十月)

- 一、迷走神経の起始經過分佈
- 一、横紋筋及び平滑筋とは何ぞや、及び其例各二を擧げよ (以上鍼灸術共通)

- 一、腰部刺鍼に際し留意すべき事項
- 一、腦出血後の半身不隨症に對する施鍼法及び主治穴 (以上鍼術)
- 一、灸の醫治的效用一般を述べよ
- 一、腦出血後の半身不隨症に對する施灸法及び主治穴 (以上灸術)
- 一、(イ)消毒の意義
(ロ)三%クレゾール水五百瓦中にはクレゾール何瓦含有するや
- 一、理學的消毒法の種類 (以上鍼灸術共通)
- 一、鼻加答兒に對する刺鍼の部位、舉丸灸に對する治療方法、肩背に一鍼をせしむ (以上鍼實地)
- 一、眼瞼縁炎に對する施灸點、月經不順及び過多症に對する治療方法 (以上灸實地)

大阪府 (昭和六年九月)

- 一、正中神經の起始、經過を詳記せよ
- 一、血壓に就て問ふ
- 一、煮沸消毒の方法を詳記せよ
- 一、消毒藥としての昇汞水の利害を述べよ (以上鍼灸術共通)
- 一、鍼の分量(刺鍼の度)と其應用を問ふ
- 一、膝關節の周圍にある穴名を挙げ其中四穴に就き解剖的關係を述べ禁鍼穴あらば是を指摘せよ (以上鍼術)
- 一、灸術の疾病豫防に對する價値を述べよ
- 一、肩外俞、志室、中極、陽池、京門の五穴に就き知る所を列記せよ (以上灸術)
- 一、小兒夜驚症に對する治療法
- 一、腰部に於ける治療法
- 一、脚氣の灸治療法
- 一、月經困難症の灸治療法 (以上鍼實地)

- 愛知縣 (昭和六年十月)
- 一、交感神經の所在及び分佈を問ふ
- 一、血液循環を説明せよ
- 一、鍼術に要する消毒藥を列舉し其用法を明示せよ
- 一、胃の收縮を起すに足る可き刺鍼部位と同部の興奮術に由つて治癒し得べき疾病を挙げよ
- 一、神經衰弱の主徴六つを挙げ且つ其鍼治法の目的につき説明せよ (以上鍼術)
- 一、脊柱骨の數及び區別を問ふ
- 一、脊髓の機能を問ふ
- 一、手指の完全なる消毒法を問ふ
- 一、慢性腸加答兒灸治療法の施灸部位と其目的及び奏效の理由を挙げよ
- 一、左記穴名に就き解剖的部位及び血管神經、竝に禁灸の部位を問ふ

- 水泉、委中、五樞、肩貞、陽池、厥陰俞 (以上灸術)
- 一、三角筋ロイマチスの刺鍼部位一穴を挙げて、一鍼せよ、其手技、奏效理由を述べよ、神經痛の素因、消毒の部位、同一穴一鍼、同部刺鍼刺戟の奏效する病名を問ふ (以上鍼實地)
- 一、撓骨神經麻痺の灸點部位、奏效の理由、白血球の活動を停止する溫度、赤血球の形を變化する溫度、ヘモグロビンと酸素と化合し易き溫度、小兒身柱の部位と奏效する疾病 (以上灸實地)
- 二重縣 (昭和六年十一月)
- 一、神經の刺戟物とは如何
- 一、腹筋の名稱と血管神經に就て
- 一、鍼術の施行上經穴の可否及び其理由
- 一、補瀉迎隨とは如何
- 一、下記器物の消毒法(セルロイド製玩具、書籍、箸、

湯吞)

- 一、フォルマリンの消毒的價値 (以上鍼術)
- 一、腹筋に就て
- 一、頸部を通過する血管神経の名稱
- 一、灸の結核病竈に及ぼす影響
- 一、心臟疾患に對する灸の治療的價値
- 一、煮沸消毒法
- 一、唾液の消毒法 (以上灸術)

栃 木 縣 (昭和六年十月)

- 一、上膊筋の名稱と分佈する神経の名稱を問ふ
- 一、膝蓋腱反封の起る理由
- 一、消毒法の種類
- 一、鍼術に用ゆる消毒薬二三の名稱と稀釋度及び利害得失を問ふ (以上鍼術)
- 一、顔面神経の起始經過及び分佈を問ふ

- 一、神経の傳達機能に就きて
- 一、灸痕化膿時の處置を記せ
- 一、灸の施術に消毒の必要なる理由と消毒薬の二三の名稱 (以上灸術)

茨 城 縣 (昭和六年十月)

- 一、腦髓神経に就て
- 一、心臟の位置、形狀、機能を問ふ
- 一、消毒用クレゾール水の%量及び其溶解法 (以上鍼術)
- 一、上肢關節に就て
- 一、消毒薬の名稱
- 一、交感神経の機能 (以上灸術)

沖 繩 縣 (昭和六年十月)

- 一、上膊中央の斷面の筋肉と神経に就て記せ
- 一、血液の凝固作用
- 一、常習便秘の原因、治療法

- 一、腸チフスの鍼治療法
- 一、頬車、上關、肩井(膊井)、秉風の解剖的位置を記せ
- 一、アルコールの消毒法の效力を記せ (以上鍼術)
- 一、舌下腺に分佈する神経と筋肉を記せ
- 一、血壓に就て記せ
- 一、常習便秘の原因、治療法
- 一、腸チフスの灸治療法
- 一、玉堂、或中、神藏、紫宮の解剖的位置を記せ (以上灸術)

長 崎 縣 (昭和六年十月)

- 一、昇汞水にて消毒する場合を記せ
- 一、下肢に分佈する血管神経の名稱並に其經過
- 一、迷走神経の作用を記せ
- 一、天鼎、血海、築賓の位置及び其部に於ける筋血管神経の關係を記せ

- 一、鍼術の血液に及ぼす作用に就て記せ
- 一、鍼の消毒に際し理學的消毒と化學的消毒の優劣を記せ
- 一、鍼の消毒方法を記せ (以上鍼術)
- 一、肝臟の位置及び其機能を記せ
- 一、内關、靈臺、輻筋の位置及び其部に於ける血管神経の關係を記せ
- 一、腸加等兒に對する施灸法を記せ
- 一、酒精の消毒に最も有效なる調製法を記せ
- 一、灸點後の消毒方法を記せ (以上灸術)
- 一、自體適宜の穴に刺鍼、角孫穴の位置 (以上鍼實地)
- 一、齒疾患の施灸法、絲竹空の位置 (以上灸實地)

佐 賀 縣 (昭和六年十月)

- 一、筋肉の構造及び筋膜との關係を記せよ
- 一、心尖搏動の起る理由

- 一、急性傳染病の種類及び傳染の徑路
- 一、黃疸の原因、症候竝に治穴法 (以上灸術)
- 一、氣管枝喘息の原因症候鍼治法
- 一、刺鍼時に於ける注意事項
- 一、鍼治療法に類する治療效果 (以上鍼術)

福岡縣 (昭和六年十月)

- 一、頸部を通過する血管及び神經の名稱
- 一、肘關節に於ける血管及び神經の經過竝に相互の關係
- 一、肩井の部位竝に血管神經との關係竝に肩井の刺鍼に就て記せ
- 一、末梢神經に對する刺鍼の作用 (以上鍼術)
- 一、臨牀 本年二十八歳の既婚婦人、一週間前より婦人病にて醫師にかゝり居りしに醫師は卵巢炎と診斷して現在に於ても猶ほ卵巢腫脹を認め、治療中なるに左、大横内側より稍々前側に寄りたる部に痛を覺え

特に下腹部に近き部分を壓す時は、痛み甚だしいふ、夜間に少し忘れ氣味あり稍々間斷性に痛む之が病名と鍼治方法を記せ (以上灸實地)

- 一、咀嚼筋の名稱及び之を支配する神經
- 一、腸管の運動作用に就て
- 一、灸治の血管神經に及ぼす影響
- 一、夜尿症の原因及び灸治點 (以上灸術)
- 一、臨牀 本年五十歳の男子、農業、本年九月末から左膝關節部に痛みを覺え、坐して起立の際に特に痛み膝關節の内外を壓せば痛み内側に於て甚だし、膝蓋骨を上下に動かす時は少しキルク様な音を聞く、其際同骨の内面が痛む安座時には餘り痛まぬ、患部は少しく腫脹して居り、自動的にも他動的にも動く時痛む、患部は少しく温かし、右の診斷をなし病名と灸治方法を示せ (以上灸實地)

鹿兒島縣 (昭和六年十月)

- 一、外分泌及び内分泌につき知る處を記せよ
- 一、嚙下運動に就き説明せよ
- 一、フォルマリン消毒の方法及び其應用に就て説明せよ (以上鍼灸術共通)
- 一、ヘッド氏帯發現部検査法竝に左記經穴の部位及び神經分佈の状態を述べよ
- 陽綱、盲俞、三陰交、天關、陽谿、肩井
- 一、次の各項に就き述べよ
 - (イ) 鍼の無感的刺戟の治療的價値
 - (ロ) 鍼の連續的刺戟と斷續的刺戟との治療的價値
 - (ハ) 刺戟刺戟の身體組織の異なるに依り其感受性に差異を生ずる理由
- 一、頸髓炎の主徴及び之に對する鍼治療法の可否 (以上鍼術)
- 一、大赫、志室、光明、四瀆の部位及解剖的所見を述べよ

兵庫縣 (昭和六年十月)

- 一、艾炷の大小、壯數竝に施灸技術の巧拙は治療上如何なる影響を及ぼすや簡単に記せ
- 一、胃及び腸下垂症の症狀竝に灸治法如何 (以上灸術)
- 一、脈搏は如何にして起るか
- 一、肋間神經痛の症狀及び其類症鑑別を問ふ
- 一、頭痛に對する鍼の效果如何
- 一、腸蠕動に對する鍼の影響如何
- 一、理學的消毒法に就て説明せよ (以上鍼術)
- 一、腦神經の名稱を記せ
- 一、白血球に就て知る所を記せ
- 一、灸の疾病に對する豫防的效果如何
- 一、喘息に對する灸の效果如何
- 一、濕熱消毒法に就て記せ (以上灸術)

京 都 府 (昭和六年十月)

- 一、肝臓の位置、形状、構造並に作用を記せ
- 一、腋窩を構成する筋肉の名稱並に之を通過する神経血管の名稱と位置を記せ (以上鍼灸術共通)
- 一、便秘に對する應用經穴名と其奏效の理由如何
- 一、督脈經中の胸部腰部にある經穴の名稱と部位及び取穴法を問ふ (以上鍼術)
- 一、次記の病症に對する施灸療法の價値如何
- 胃擴張、腹膜炎、脊椎カリエス。副睾丸炎
- 一、艾柱に就き知る所を記せ (以上灸術)
- 一、蒸氣消毒の目的を達するに必要な條件を記せ
- 一、昇汞水の使用上注意を要する點と其の理由 (以上鍼灸術共通)

滋 賀 縣 (昭和六年十月)

- 一、横紋筋と滑平筋とに就き述べよ

奈 良 縣 (昭和六年十月)

- 一、煮沸消毒法及び之に適する物品を記せ
- 一、神経性嘔吐の鍼治穴名 (以上鍼術)
- 一、血液の生理的作用
- 一、半身不隨の原因及び其灸治法
- 一、皮膚の消毒法 (以上灸術)
- 一、腋窩動脈の起始經過、並に靜脈神經との關係を記せ
- 一、肺臓の位置、並に作用 (以上鍼灸術共通)
- 一、神経痛に對し鍼術の奏效する理由
- 一、曲垣、四瀆、筋縮、血海、水泉の部位並に各其の應用すべき主なる病名 (以上鍼術)
- 一、胃の疾患に於けるヘッド氏帯に一致する經穴名と其の部位
- 一、肺結核に於ける施灸の時期と之に應用する經穴名、並に其の奏效する理由を説明せよ (以上灸術)

石 川 縣 (昭和六年十月)

- 一、消毒の意義を説明し併せて消毒薬の種類を挙げよ
- 一、クレゾール水の性状應用並に優劣點を挙げよ (以上鍼灸術共通)

福 島 縣 (昭和六年十月)

- 一、腎臓の位置、形状、構造、機能如何
- 一、上肢の主なる血管の經過如何
- 一、副神経麻痺の症狀鍼治法灸治法如何
- 一、(イ)三%石炭酸水四〇〇瓦の調製法如何
- 一、(ロ)日光消毒に就て述べよ (以上鍼灸術共通)
- 一、胃の作用及び腸管各部の名稱
- 一、心臓の位置、形状及び機能を述べよ
- 一、消毒薬二三の名稱、使用法、稀釋度
- 一、消毒の必要な所以を述べよ (以上鍼灸術共通)

福 井 縣 (昭和六年十月)

- 一、偏頭痛の症候及び治療法
- 一、鍼の生理的作用
- 一、灸の血液に及ぼす作用
- 一、五虎の穴
- 一、實地刺鍼雀啄術、振顫術 (以上鍼灸實地)
- 一、下肢の皮下に分佈する神経及び靜脈を圖解せよ
- 一、脱糞及び排尿の神経的關係を述べよ
- 一、顔面神経麻痺の症狀を述べよ
- 一、脊髄癆は如何なる症狀を呈するや
- 一、沃度丁幾と酒精の消毒上の優劣を記せ
- 一、石炭酸による鍼具の消毒方法を明記せよ (以上鍼術)
- 一、腸の蠕動作用と呼吸作用との關係を述べよ
- 一、灸治の適應症及び不適應症に就て説明せよ
- 一、胃痙攣と子宮痙攣との區別を問ふ

- 一、灸痕化膿の原因を詳記せよ
- 一、消毒上純酒精と稀酒精と何れが效力大なるか其の理由を問ふ (以上灸術)

岐 阜 縣 (昭和六年十月)

- 一、膝關節を通過する血管、神経の名稱を挙げよ
- 一、尺骨神経の經過及び分佈に就て
- 一、消毒薬探定の要件 (以上鍼灸術共通)
- 一、迷走神経に及ぼす鍼術の作用及び肩胛部にある孔穴名、竝に解剖的位置を挙げよ
- 一、鍼の刺戟とは如何、是が治療上に及ぼす次の事項を説明せよ
 - (イ)刺戟の種類 (ロ)刺戟の長短 (ハ)刺戟の強弱 (以上鍼術)
- 一、鎮痙法として灸術の可否、及び其の理由
- 一、尿失禁症に對する灸の可否、及び其理由竝に竹杖穴

の解剖的位置と其主治效用を問ふ (以上灸術)

長 野 縣 (昭和六年十一月)

- 一、上膊骨に起始停止する筋の名稱
- 一、呼吸の機械的作用に就て記せ
- 一、盲腸及び蟲様突起の位置(外表より見たる)作用を記せ
- 一、治療中の患者にして赤痢病なりと知りたる場合鍼灸術者の取る可き處置如何
- 一、鍼灸術の疾病に對する治療的作用に就て知る處を記せ
- 一、清潔、消毒、滅菌 (以上鍼灸術共通)

佐 賀 縣 (昭和七年春)

- 一、骨の主成分と化骨作用
- 一、胃の運動に就て (以上鍼灸共通學說)

長 野 縣 (昭和七年春)

- 一、膝關節を通過する血管神経の名稱
- 一、僧帽筋の起始停止
- 一、背部の禁鍼禁灸穴を挙げて其解剖的部位を記せ
- 一、鍼灸術の治病に效果ある理由
- 一、三叉神经痛に對する刺戟及び施灸の解剖的部位
- 一、法定傳染病と鍼灸施術との關係を記せ (以上鍼灸共通學說)
- 一、鍼灸術に使用する主なる消毒薬の名稱及び稀釋度を唱へつゝ指壓せしむ
- 一、坐骨神経痛に對し刺戟及び施灸の部位を經穴名を唱へつゝ指壓せしむ
- 一、大腸俞に刺戟し強刺戟を與へしむ (以上實地)

山 口 縣 (昭和七年春)

- 一、刺戟の手法を説明せよ
- 一、氣管枝擴張の症狀、鍼治 (以上鍼術學說)
- 一、灸痕化膿の原因竝に處置
- 一、動脈硬化症の原因、灸治 (以上灸術學說)
- 一、痘瘡と水痘の鑑別竝に痘瘡の傳染徑路
- 一、消毒薬の鑑別
- 一、腕關節ロイマチスの灸治法
- 一、靈道、温溜、陽谷の部位 (以上實地)

茨 城 縣 (昭和七年春)

- 一、腦髓に就て記せ
- 一、神経の傳導性を區別し簡單に説明せよ
- 一、昇汞、石炭酸に就て記せ (以上鍼術)
- 一、下肢の關節に就て記せ
- 一、皮膚感覺の種類を挙げよ
- 一、消毒用クレゾール水の製法 (以上灸術)

- 一、項部を構成する筋肉、血管、神経の名稱を挙げよ
- 二、胃の位置、形状及び其機能を問ふ
- 一、消毒薬の名稱及び稀釋方法を問ふ(以上鍼灸共通學說)
- 一、禁鍼の部位及び場合を問ふ
- 二、折鍼の原因と結果を問ふ(以上鍼術學說)
- 一、灸の循環器系に及ぼす影響
- 一、施灸の巧拙は其結果上如何なる差異を生ずるか(以上灸術學說)
- 一、或人汽車に乗つて旅行す、汽車の窓に肘を枕にして一眠りし、覺て目を覺して見たるに小指と環指が動かぬ何れが如何になりしや
- 二、手の尺側に在る經穴名
- 二、足の下巨虚に鍼一寸刺鍼、廻旋術び雀啄術(拔鍼は試験委員がなす)(以上鍼術實地)
- 二、大後頭神経に刺戟を與へる穴名一穴を答へよ
- 一、天柱の解剖的部位、筋と神経、脈管

- 一、尺骨神経に只一穴を以て刺戟を與へるに何れの穴を取るか
 - 二、撓骨神経に只一鍼を以て刺戟を與へるに何れの穴を取るか
 - 一、曲池の部位、筋肉、神経、脈管
 - 一、上巨虚の部位、筋肉脈管
 - 二、尺骨神経に一穴を以て刺戟するには何れを選ぶか
 - 二、坐骨神経に一穴を以て刺戟するには何れを選ぶか
 - 一、郛門の部位(以上灸術實地)
- 熊 本 縣 (昭和七年四月)
- 一、背筋の名稱を列舉せよ
 - 一、血壓に就て知る處を記せ
 - 二、化學的消毒方法と理學的消毒法とに就て各其例を擧げて説明せよ
 - 一、手指の消毒方法を詳記せよ(以上鍼灸共通學說)

- 一、鎮靜法、誘導法、反射法を説明せよ
 - 一、鍼術を禁すべき場合(以上鍼術學說)
 - 一、誘導法に就き知る處を説明せよ
 - 二、灸の大小壯數を定むる場合如何(以上灸術學說)
- 朝鮮京畿道 (昭和七年三月)
- 一、皮膚の分泌作用を問ふ
 - 一、胸廓に就て記せ
 - 一、脊髓癆の原因、症狀を記せ
 - 一、一般に使用せらるゝ消毒薬三種を擧げて各特徴並に稀釋度を記せ
 - 一、鍼治の禁忌症を挙げよ
- 高 知 縣 (昭和七年五月)
- 一、固有口腔に就て知る處を記せ
 - 一、觸覺とは何ぞ知る處を記せ(以上鍼灸共通學說)

- 一、風門、尺澤の解剖的位置及び筋血管神経との關係
 - 一、神経性消化不良の原因鍼治法を記せ(以上鍼術學說)
 - 一、蒸氣消毒方法に就て知る處を記せ
 - 二、衣類、寝具、敷物、布片等の消毒方法を記せ(以上鍼灸共通學說)
 - 一、脚氣八處の灸穴に就て知る處を記せ
 - 二、遺尿症の症狀灸治法を記せ(以上灸術學說)
- 兵 庫 縣 (昭和七年四月)
- 一、血液は如何にして淨化せらるゝか
 - 一、消化液の定義及び種類を問ふ
 - 一、次に就き鍼術の適否を問ふ
 - (イ)肋膜炎 (ロ)肋間神経痛 (ハ)胸筋ロイマチス (ニ)喘息
 - 一、ロイマチスに對する鍼の効果如何
 - 一、昇汞を消毒薬とし使用する時の注意(以上鍼術學說)

- 一、血液の有形成分を記せ
- 一、淋巴腺の官能如何
- 一、灸の腸に對する影響
- 一、咳嗽に對する治療方針如何
- 一、理學的消毒に就て詳記せよ (以上灸術學說)

北海道 (釧路警察署) (昭和七年四月)

- 一、三叉神經の起始、經過
- 一、麻痺と痙攣に就て記せ
- 一、胃痙攣に對する刺鍼點を解剖的部位を以て記せ
- 一、創傷傳染病に就て
- 一、誘導刺戟の手技に就て
- 一、刺鍼時の消毒順序方法 (以上鍼術學說)
- 一、尿の分泌作用に就て知る處を記せ
- 一、皮膚の構造並に生理的作用に就て記せ
- 一、腰痛に對する施灸點を擧げよ

- 一、傳染性皮膚疾患に就て記せ
- 一、皮膚消毒に適せる藥品名を擧げ應用法を記せ
- 一、遺尿症の灸治法を述べよ (以上灸術學說)

埼玉縣 (昭和七年四月)

- 一、胸鎖乳嚔筋の起始並に停止作用
- 一、迷走神經は何れに分佈するや (以上鍼灸共通學說)
- 一、頸部に刺鍼の際注意すべき點を記せ
- 一、横隔膜痙攣に對する刺鍼點
- 一、腎臟炎に刺鍼の可否
- 一、施術せんとする場合如何なる順序に消毒をなすや (以上鍼術學說)
- 一、施灸後施灸部位の皮膚に起る變化
- 一、遺尿に對する灸治點
- 一、腦充血に對する灸治點と其解剖的部位
- 一、手指の消毒法 (以上灸術學說)

静岡県 (昭和七年四月)

- 一、上肢に分佈する主なる神經の名稱及び徑路
- 一、呼吸の生理的作用 (以上鍼灸共通學說)
- 一、胃痙に對する鍼治法
- 一、頸部に禁鍼穴あらば擧げよ (以上鍼術學說)
- 一、灸の奏效する理由
- 一、下肢の施灸經穴と其適應症 (以上灸術學說)

滋賀縣 (昭和七年四月)

- 一、前頸部に在る筋の名稱
- 一、常習頭痛の鍼治法
- 一、肩胛部の穴名
- 一、鍼具及び刺鍼部の消毒法 (以上鍼術學說)
- 一、股動脈の起始、經過、枝別
- 一、腰部にある穴名

胃擴張の灸治法

- 一、リゾールの性状及び使用法 (以上灸術學說)

徳島縣 (昭和七年四月)

- 一、唾液腺の位置、形状及び構造
- 一、尿の成分一日の排泄量並に腎臟に分佈せる神經の名稱
- 一、「フォルマリン」消毒法を問ふ (以上鍼灸共通學說)
- 一、偏頭痛の類症鑑別法並に之が施鍼に際し用ふる經穴を擧げ其奏效理由を記せ (以上鍼術學說)
- 一、石門、曲骨の部位並に之に施灸すれば奏效著明なる疾病一を擧げ理由を記せ (以上灸術學術)

大阪府 (昭和七年四月)

- 一、腋窩動脈の起始、經過、枝別を記し、併せて靜脈及び神經との關係を述べよ

- 一、呼吸運動に就て記せ (以上鍼灸共通學說)
- 一、痛痛の種類其特徴並鍼術の適否及び理由
- 一、左の五穴に就き詳述せよ
 - 關元、箕門、懸鐘、青靈、水分 (以上鍼術學說)
- 一、灸術の意義を問ふ
- 一、氣舍、肩貞、陽谿、維道、合陽穴の解剖的部位、取穴法、及び應用 (以上灸術學說)
- 一、蒸氣消毒の方法を述べ之に適當なる消毒物品二三を挙げよ
- 一、金屬消毒に適當なる消毒薬に就て(以上鍼灸共通學說)

京 都 府 (昭和七年四月)

- 一、心臟の構造及び其の作用に就き記せ
- 一、下肢に於ける主要なる神経、血管の經過 (以上鍼灸共通學說)
- 一、頸の前部及び側部にある經穴名並に刺鍼上の注意

- 一、神経痛に鍼術奏效する理由と坐骨神経痛に用ふる經穴名 (以上鍼術學說)

- 一、督脈中に存する禁灸穴及び部位

- 一、急性關節ロイマチスに對する施灸療法に就て左記事項を記せ

(イ)施灸時期

(ロ)施灸量(施灸點數及び壯數)を定むるに何を標準とするや

(ハ)施灸部位、經過、豫後等に就き治驗例の一を舉げて説明せよ (以上灸術學說)

- 一、消毒とは如何、並に清潔との區別

- 一、乾熱滅菌法を詳記し此方法を適用する物品名を挙げよ (以上鍼灸共通學說)

愛 知 縣 (昭和七年四月)

管、神經に就て記せ

- 一、腎臟及び副腎の生理的作用を記せ

- 一、百會、天樞、商陽、豐隆の部位、解剖的關係並に適應症 (以上鍼灸共通學說)

- 一、鍼の大、小、長、短に應じ施術上特に留意すべき要件如何 (以上鍼術學說)

- 一、藥液消毒に就て三例を挙げ詳記せよ

- 一、熱氣消毒とは如何 (以上鍼灸共通學說)

- 一、灸の種類並に其施術方法に就て説明せよ (以上灸術學說)

香 川 縣 (昭和七年春)

- 一、坐骨神經の起始經過及び枝別

- 一、腹腔内臟器の名稱及び相互の位置

- 一、消毒藥五種を挙げて説明せよ

- 一、灸の神經に及ぼす作用

- 一、迷走神經は何れに分佈するや
- 一、皮膚の重要なる機能を問ふ
- 一、無水酒精と普通酒精との消毒力の差異
- 一、習慣性頭痛と偏頭痛中より何れか其一つを撰びて目的を異にする鍼の處方三種を記せ
- 一、胃痛に際して起る運動及び反射に就て(以上鍼術學說)
- 一、腦神經の名稱
- 一、血球の種類及び生理的作用
- 一、石炭酸、アルコール、昇汞水、リゾールの稀釋度
- 一、便秘を來す疾病中より灸治に適當するもの及び其奏效する理由を記せ
- 一、臨牀上子宮及び膀胱の疾患につき疼痛放散の差異 (以上灸術學說)

大 分 縣 (昭和七年四月)

- 一、肩胛關節を構成する筋及び骨並に其部を通過する血

- 一、偏頭痛に對する鍼治法
- 一、懸顛、懸壺、孔最、瘡根、足の三里
- 一、水突の部位及び取穴法 (以上學說)
- 一、身柱、三陰交、合谷に灸すれば如何なる疾病に效くか (灸術實地)
- 一、鍼の誘導作用とは如何 (鍼術實地)

福井縣 (昭和七年四月)

- 一、交感神經の所在及び分佈を詳記せよ
- 一、小腦の位置及び其作用
- 一、痛痛を來す疾患を挙げよ並に其主なる差異を問ふ
- 一、炎症に施鍼の可否を述べよ
- 一、脊髓癆の主要症狀を詳記せよ
- 一、沃度丁幾の消毒的效果ある理由を述べよ (以上鍼術學說)
- 一、咀嚼に關與する筋の名稱及び各筋の作用

新潟縣 (昭和七年四月)

- 一、内分泌とは何ぞや
- 一、妊婦に點灸の可否を詳述せよ
- 一、癲癇とは如何なる疾病か
- 一、消毒上石灰は如何なる價值あるか
- 一、ヒステリーの症狀 (以上灸術學說)
- 一、膀胱麻痺と撓骨神經痛の鍼療法 (鍼術實地)
- 一、四頭股筋ロイマチスの灸療法 (灸術實地)
- 一、神經痛に對する鎮靜法
- 一、胃痙攣と膽石痛の鍼治法
- 一、尺骨神經麻痺の刺鍼法
- 一、下腿に於ける穴名全部の名稱
- 一、後頭部に於ける刺鍼の注意 (以上灸術)
- 一、灸の生理的作用
- 一、胃痙攣と膽石痛の灸治法

- 一、肩背部に於ける神經痛の灸治法
- 一、腹部内臟器の名稱、位置、内分泌に就て (以上鍼術)
- 一、消毒の必要なる理由及び消毒藥品の調製法並に應用
- 一、側頸部に於ける筋、神經、脈管の關係 (以上共通)

東京府 (昭和七年三月)

- 一、(イ)喉頭の構造
- 一、(ロ)泌尿器の名稱と尿に就て述べよ
- 一、(イ)鍼灸器具の消毒方法を問ふ
- 一、(ロ)クレゾール石鹼液に就て (以上鍼術學說)
- 一、(イ)肋膜の所在及び構造
- 一、(ロ)淋巴管系統と淋巴腺との作用
- 一、(イ)消毒方法の種類を述べよ
- 一、(ロ)石炭酸と昇汞を比較せよ (以上灸術學說)
- 一、神經性心悸亢進症に對する刺鍼の目的及び部位
- 一、曲垣、肩外の部位

山梨縣 (昭和七年三月)

- 一、後頭部に適宜刺鍼せよ、而して雀啄、震顛、廻旋術を順次行はしむ (以上鍼實地)
- 一、灸の神經に及ぼす作用並に血液に及ぼす作用
- 一、背部正中線に在る穴名及び部位
- 一、偏頭痛の原因、症狀、灸が效くや否や穴名をいへ (以上灸實地)
- 一、心臟の位置及び分佈する神經の名稱
- 一、脊髓の機能
- 一、腹部諸筋の名稱及び起始停止
- 一、鍼術の消毒法
- 一、顔面神經麻痺の原因症狀、鍼治點
- 一、四白、長強、瘡門、合谷、巨闕の解刺的部位 (以上鍼術學說)
- 一、食道痙攣の原因、症狀、鍼治點
- 一、膝關節神經痛の原因、症狀、鍼治點 (以上鍼術實地)

- 一、口腔の消化作用
- 一、呼吸の種類及び目的
- 一、腎臓の位置、作用
- 一、後頭神経痛の原因、症候、灸治點
- 一、化學的消毒法とは如何
- 一、大迎、陽白、神封、大椎、陽陵泉の解剖的部位
(以上灸術學說)
- 一、神經性嘔吐の原因、症候、灸治點
- 一、膀胱痙攣の原因、症候、灸治點 (以上灸術實地)

石川縣 (昭和七年四月)

- 一、内分泌腺に就て知る所を記せ
- 一、頸部中央横斷面の解剖的所見
- 一、左の經穴の部位竝に禁鍼を問ふ
命門、肩井、神闕、上巨虛、顛會
- 一、慢性胃加答兒の鍼療を記せ

- 一、左の消毒方法を記せ
(1) 鍼及び鍼管、唾痰 (2) 術者の手指 (3) 白衣
(4) 治療室 (5) 患部
- 一、灸の効果ある理由竝に血液に及ぼす影響
- 一、下齒痛に對する鍼治法、施鍼點の部位、血管の關係
- 一、血液の生理的作用 (鍼術實地)
- 一、灸は施灸後血液に如何なる作用あるや (灸術實地)

長崎縣 (昭和七年四月)

- 一、盲腸竝に蟲様突起の部位を記せ
- 一、動脈血と靜脈血との區別を記せ
- 一、天井、中都、地倉の位置及び其の部に於ける筋、血管、神經の關係を記せ
- 一、腺病質の小兒に對する刺鍼法を記せ
- 一、施術に際し鍼の消毒不完全の場合如何なる傳染病を起すか其病名と症狀を記せ (以上鍼術學說)

- 一、勞宮の採穴 (鍼術實地)
- 一、坐骨神經の起始竝に其經過を記せ
- 一、腎臓の生理的作用を記せ
- 一、完骨、天谿、飛陽の位置及び其の部に於ける筋、血管、神經の關係を記せ
- 一、消化器病中より灸術の適するものと適せざるものとを區別して列記せよ
- 一、消毒法の意義を記せ (以上灸術學說)
- 一、慢性全身貧血とは何か及び其治療法を問ふ (灸術實地)

奈良縣 (昭和七年五月)

- 一、咽頭の構造竝に嚥下作用に就て説明せよ
- 一、頸動脈の起始及び分岐竝に神經との關係
(以上鍼灸共通學說)
- 一、麻痺に對する刺鍼の方式竝に其の奏效理由
(以上鍼術學說)

- 一、身柱、腰眼、至陰、後谿、大赫の部位と其の應用する疾患 (以上灸術學說)
- 一、大迎、曲垣、三陽絡、大巨、委中の部位
(以上灸術學說)
- 一、灸の大小竝に壯數を定むる標準如何 (以上灸術學說)
- 一、消毒の意義を説明し消毒と殺菌の區別を記せ
- 一、石炭酸の性状、調製法竝に應用上の利害を記せ
(以上鍼灸共通學說)
- 一、偏頭痛の種類、症狀、刺鍼點
- 一、肩上に刺鍼せしむ
- 一、股神經痛の原因、症狀、壓痛點、刺鍼點
大腿前内面に刺鍼せしむ (以上灸術實地)
- 一、書癢の種類、症狀、灸治點
- 一、下腿外側の經穴、竝に三里と下巨虛と飛陽とを正確に取穴せしむ (以上灸術實地)

三重縣 (昭和七年五月)

- 一、心囊の作用
- 二、三叉神経の起始、經過、枝別
- 一、小陽三焦經の禁鍼穴名及び部位
- 一、小兒鍼の効果
- 一、石炭酸水の調製方法
- 一、無水酒精の効果 (以上鍼術學說)
- 一、皮膚の機能
- 一、白血球の作用
- 一、大陰脾經の禁灸穴名解剖的部位
- 一、血壓亢進に對する效果
- 一、日光消毒の時間
- 一、湯呑、重箱、セルロイド玩具の消毒注 (以上灸術學說)
- 一、腸痙痛の原因症狀治穴
- 一、肩井に刺鍼 (以上鍼術實地)
- 一、「チブ」の灸とは何ぞや取穴法を問ふ

一、天衝、頰車、蠡溝、手の五里、少府の五穴の部位及び取穴法 (以上灸術實地)

島 根 縣 (昭和七年四月)

- 一、頭蓋骨及び顔面骨の名稱と骨相互の關係を記せ
- 一、正中神經の起始、經過及び其枝別を述べよ (以上鍼灸共通學說)
- 一、鍼術施術上の注意事項
- 一、顔面神經麻痺に對する鍼治點を挙げ且つ鍼治療法の禁忌症を問ふ (以上鍼術學說)
- 一、灸の神經に及ぼす影響
- 一、偏頭痛に對する穴名と艾の製法を問ふ (以上灸術學說)
- 一、理學的消毒方法の種類及び其方法優劣
- 一、(イ)三十三倍クレゾール水四百瓦の調製方法を問ふ (ロ)酒精を消毒用に使用する場合の注意事項 (以上鍼灸共通學說)

- 一、撓骨神經麻痺の治療法竝に其刺鍼法 (管鍼撓鍼) (鍼實地)
 - 一、胸鎖乳嚙筋麻痺の治療法竝に取穴
 - 一、腸痙痛の治療法竝に取穴 (灸術實地)
- 福 岡 縣 (昭和七年四月)
- 一、脊髓の機能を記せ
 - 一、鎖骨下動脈の起始、經過及び分枝
 - 一、腹痛患者に對する處置竝に臍の上下左右に近接せる經穴を挙げよ
 - 一、小兒の夜泣きに對する鍼治に就て (以上鍼術學說)
 - 一、左記の事に就て説明せよ
 - (一)肺活量 (二)淋巴 (三)腸液 (四)股輪
 - (五)滑平筋
 - 一、體溫の發生及び調節作用
 - 一、灸に對する過敏症に就て

一、慢性貧血に對する灸治法 (以上灸術學說)

一、本年廿五歳になる中等度の體質の看護婦にして十日ばかり病人看護の爲め非常に働いた、突然朝起きたる時右の乳嚙突起の近くより鎖骨の内端にかけて筋肉が引きつり斜頸を來し首を動かすと痛みが増して動かさぬ時も少し疼痛があり、乳嚙突起より三種少しく赤く腫れ、熱はない。其診斷と治療法如何 (以上鍼術實地)

一、本年十五歳になる大工の弟子にして弟子入りしてより十五日ばかり鋸ひき、カンナ削り等して、腰部、上肢等に痛みがあつた、特に、突然右の拇指の第二節の背面より、腕關節の後面に行く筋肉に疼痛があり、前膊撓側も疼痛がある、特に拇指第二節より三纏ばかり筋が赤發腫脹して、無理に拇指を動かすと疼痛が増しクチ、と音がする。右の診斷と治療法 (以上灸術實地)

和歌山縣 (昭和七年秋)

- 一、(イ)蟲様突起の位置
- 一、(ロ)心臓の作用
- 一、腹部を構成する筋の名稱及び此の部を通過する血管並神經に就て
- 一、腦頭蓋部にある禁鍼穴を列舉し其の解剖的位置を示せ
- 一、顔面神經麻痺の症候及其鍼療法
- 一、(イ)施灸の中樞神經に對する生理的作用
- 一、(ロ)施灸の末梢神經に對する生理的作用
- 一、狭心症の症候及灸療法
- 一、化膿は如何なる場合に起るや
- 一、普通アルコールと無水アルコールとの消毒力の優劣及理由
- 一、肩胛筋の名稱並に之れに分佈する神經を記せ

- 一、腎臓の位置、形狀、構造
- 一、常習便秘に對する施鍼點(經穴)及び其の奏效する理由を説明せよ

長崎縣 (昭和七年秋)

- 一、頭部施鍼に當り注意すべき事項を舉げよ
- 一、刺鍼に際し消毒を行ふ理由を説明せよ
- 一、昇末の性状並に應用を述べよ
- 一、外頸動脈の經過内頸動脈の起始を記せ
- 一、小腦の機能に就て
- 一、支正、大包、水泉の解剖的部位並に筋、血管、神經の關係を問ふ
- 一、鍼術の白血球に及ぼす作用
- 一、防腐法と制腐法との區別
- 一、齒牙に分佈する神經の名稱及び起始
- 一、白血球の作用に就て詳しく説明せよ

奈良縣 (昭和七年秋)

- 一、臍俞、歸來、僕參の解剖的部位並に筋血管、神經との關係
- 一、灸術の血液循環に及ぼす作用に就て
- 一、消毒と清潔との區別に就て
- 一、肩胛筋の名稱並に之に分佈する神經を記せ
- 一、腎臓の位置、形狀、構造を記せ
- 一、常習便秘に對する施鍼點(經穴)及其の奏效する理由を説明せよ
- 一、頭部施鍼に當り注意すべき事項を舉げよ
- 一、刺鍼に際し消毒を行ふ理由を説明せよ
- 一、昇末の性状並に應用を述べよ
- 一、腹筋の名稱、起始、停止、及び之に分佈する神經を記せ
- 一、胸膜に就て記せ

徳島縣 (昭和七年秋)

- 一、靈墟、陽池、三焦俞、幽門、承筋の部位並に各其の應用疾患を記せ
- 一、無痕灸の治療的作用に就て記せ
- 一、理學的消毒法と化學的消毒法との長所短所を述べよ
- 一、手指の消毒法を述べよ
- 一、體溫發生の理由及び體溫調節中樞の所在
- 一、(イ)心臓、攝護腺、副腎の位置及構造
- 一、(ロ)外頸動脈の起始、經過、枝別
- 一、消毒藥の種類及其使用法
- 一、胃痙攣の類症鑑別並に施鍼法及び奏效する理由
- 一、患門の取穴法並に其適應症一つ舉げ其の奏效する理由を記せ

青森縣 (昭和七年秋)

- 一、膝關節を構成する筋肉の名稱及其部を通過する主なる神経血管の名稱を記せ
- 二、肝臟の生理的機能を記せ
- 一、アルコールの消毒に適當なる含水量竝に其理由を記せ
- 一、三叉神経の起始經過及分佈區域に屬する穴名を問ふ
- 一、刺鍼して拔鍼し難き場合の理由及び其處置法を記せ
- 一、鍼術に應用する消毒藥の名稱及其稀釋度を記せ
- 一、腸疝痛の要穴を記せ
- 一、灸の大小に對する利害を記せ
- 一、灸術に應用する消毒藥の名稱及其稀釋度を記せ
- 一、歩行困難を伴ふ病名を挙げよ竝に刺鍼法
- 一、偏頭痛の原因病理症候孔穴を問ふ

鳥 取 縣 (昭和七年秋)

- 一、内分泌腺の名稱、位置、構造、機能及之が脱落症狀を詳記せよ
- 一、筋により構成せらるゝ凹窩を挙げよ、且つ其處を通過する主要器官の名稱
- 一、消毒藥品の固體にて奏效せざる理由を記し竝に左の言葉を説明せよ
イ 殺菌 ロ 滅菌 ハ 消毒 ホ 防腐 ヘ 制腐
- 一、1%の昇汞水五〇〇瓦造れ
- 一、上肢の神経を記せよ
- 一、胃血管に於ける神経の作用及び尿水中に分泌さるゝ物質を記せ
- 一、石炭酸、クレゾール石鹼液及び酒精の稀釋法を述べよ
- 一、施灸後壞滅せし局部の消毒法中の有力なるもの一種を記し其有力なる理由を説明せよ

- 一、消化とは如何且つ消化液の種類を問ふ
- 一、顔面神経麻痺の種類及び原因竝に微候を記せ
- 一、刺鍼中突然失神せる患者在り其の原因竝に之に對する處置如何
- 一、喘息に對する鍼の治療方針
- 一、蒸汽消毒に當り注意すべき事項
- 一、皮膚の構造如何
- 一、坐骨神経痛の症候及び診断を問ふ
- 一、次に就き灸術の適否を問ふ
乳兒脚氣、喘息、齒痛、百日咳、便秘
- 一、下痢に對する施灸方針
- 一、消毒としての必要條件を問ふ (以上灸術)

富 山 縣 (昭和七年秋)

- 一、腎臟の機能を説明せよ
- 一、顔面神経の走路を説明せよ
- 一、腰腹神経痛の原因、症候、刺鍼法
- 一、鍼の強弱、刺戟の生理的作用竝に應用
- 一、膝臟の位置、形狀、構造
- 一、膝關節脈の分枝の走路を示せ
- 一、氣管枝喘息の原因、症候竝に灸療

廣 島 縣 (昭和七年秋)

- 一、胸廓を構成する骨名、聯接
- 一、迷走神経に就て知る處を記せ
- 一、偏頭痛に對する刺鍼の目的
- 一、腰俞、膏肓、陰陵泉、隱白、臂臑、乘風、京門、天樞、頰車、懸顛の部位
- 一、理學的消毒の種類其應用
- 一、石炭酸、昇汞水、アルコールの應用

愛知縣 (昭和七年秋)

- 一、前胸部筋肉の名稱を挙げよ
- 一、迷走神経の機能を記せ
- 一、消毒薬五種以上を挙げ其の使用プロセントを記せ
- 一、股神経に對して最も適當なる刺鍼點五ヶ所を挙げよ
- 一、サフェナ神経に沿へる穴名を記せ
- 一、大腿に一鍼せしむ
- 一、曲池の指壓と神經を問ふ
- 一、赤、白血球とは如何
- 一、皮膚は如何なる作用をするや
- 一、無水酒精と含水酒精との消毒上の優劣如何
- 一、熱度の組織に及ぼす影響に就て記せ
- 一、腦卒中後の麻痺に就き灸術の効果を記せ
- 一、頭部、顔面、上肢の禁灸穴名及び禁穴の理由

岐阜縣 (昭和七年秋)

- 一、皮膚の構造を詳記せよ
- 一、血液の生理的作用竝に動脈血と靜脈血の差異
- 一、術者の手指と被術者の患部と何れを先にするや其の理由を説明せよ
- 一、二十倍石炭酸水と二〇%石炭酸水との濃度の差異を問ふ
- 一、鍼術の有感及無感的刺戟の治療上に及す作用を問ふ
- 一、末梢性神経疾患に鍼術の特效なる理由と腰眼の穴の主治效用を記せ
- 一、盲腸炎の後療法としての灸術の價値を挙げよ竝に瘻門に點灸して如何なる作用を呈するや
- 一、灸の治療上に及ぼす作用に就き其の要項を問ふ

岡山縣 (昭和七年秋)

静岡縣 (昭和七年秋)

- 一、正中神経の經過及び枝別
- 一、唾液の作用
- 一、蒸氣消毒の要約
- 一、施鍼に當りて如何なる消毒法を取るや
- 一、腸に及ぼす鍼の作用
- 一、書癩の治療法
- 一、寸六二番鍼を以て實地施鍼せしむ
- 一、上膊動脈の經過及び枝別
- 一、胃の作用
- 一、消毒薬、五種を挙げよ
- 一、化學的消毒に依らざれば消毒し能はざるものは何か
- 一、前頸部の經穴名及實地探穴せしむ
- 一、前頸部の穴に施灸すれば如何なる病氣に效ありや
- 一、養生灸、健康灸或は身體のダルイ様な時の灸治法を問ふ(經穴名)

鹿兒島縣 (昭和七年秋)

- 一、前膊の筋肉及之に分佈する神経の名稱
- 一、脂肪の消化吸収の道程及び其生理的作用を問ふ
- 一、手の陽明大腸經の徑路を解剖的に説明せよ
- 一、人中、天突及鳩尾に刺鍼する場合ありとせば如何なる注意を要するや
- 一、神経衰弱に對する灸治法を問ふ
- 一、左に示す各穴の部位竝に鍼灸の病理的應用を解剖的見地より説明せよ
- 一、志室、秩邊、外丘、清冷淵、天關
- 一、唾液の分泌部位及其性状並生理的作用を説明せよ
- 一、昇汞水の消毒作用並其應用に就て述べよ
- 一、胸廓に就て述べよ

- 一、神經興奮性の變狀により刺鍼刺戟感受方の比較を述べよ
- 一、痙攣性脊髄麻痺の症狀竝之に對する鍼治療法の適否に付理由を擧げて説明せよ
- 一、副神經麻痺の症狀竝灸治法を記せ
- 一、灸の結核性疾患に及ぼす影響如何

北海道 (昭和七年秋)

- 一、脊髓の構造を記せ
- 一、口腔の消化作用を記せ
- 一、關節痠麻質斯の症候及療法を記せ
- 一、施灸に依り起る局部の組織的變化を記せ
- 一、石炭酸の取扱上の注意及石炭酸による消毒の方法を記せ

滋賀縣 (昭和七年秋)

- 一、創傷傳染病の主なるものを列擧せよ

- 一、五官器の種類及作用
- 一、咳嗽及吃逆に對する灸治法
- 一、日光消毒の價値を問ふ
- 一、眼の生理的作用
- 一、慢性胃加答兒鍼灸治穴名竝胃疾患に對する鍼禁忌症を擧げよ
- 一、細菌とは如何なるものなるや且つ之に因つて起る主なる疾病の名稱を記せ

神奈川縣 (昭和七年秋)

- 一、貧血性疼痛と充血性疼痛の治療方法
- 一、刺鍼中副刺戟法(之は何かの誤りか)の目的竝に應用如何
- 一、腎臟の位置構造
- 一、肺臟の機能を記せ
- 一、昇汞の消毒的效果に就て述べよ

- 一、患部の消毒方法
- 一、鍼は深く刺すのがよいか、淺く刺すのがよいか
- 一、巨髀、地倉、額髀、下關、中瀆の部位
- 一、臀部へ刺鍼せしむ
- 一、胃痙攣、神經痛の原因
- 一、上膊に於ける主なる神經の經過
- 一、衣類の消毒方法
- 一、肥瘦老若等に對する施灸の治療的應用
- 一、主なる消毒藥三種を擧げ其の用途を記せ
- 一、腹部臟器の名稱と其の機能の概要を記せ
- 一、施灸直後血壓の亢進する理由
- 一、神經痛と神經麻痺に對して施灸點は同一なりや
- 一、灸は衛生上よいか
- 一、生後何日位から施灸するか
- 一、天柱、曲垣の部位(指壓)

- 一、偏頭痛に對する頭部にある灸治點
- 一、百會の部位、竝に主治症
- 一、有痕灸と無痕灸の差異
- 一、艾の製法如何
- 一、艾は如何なる效果ありや

長野縣 (昭和七年秋)

- 一、僧帽筋の起始停止
- 一、脊部の禁鍼灸穴及び其解剖的部位
- 一、神經痛と神經麻痺
- 一、鍼灸術の治療的作用
- 一、腎臟の位置機能
- 一、齒痛の刺鍼施灸點を擧げ其解剖的部位を記せ
- 一、消毒藥四種を出し其の名稱を言はしむ

備考

東京府鍼灸術試驗規程

鍼術灸術試問 (著者抄)

(明治四十五年二月警視廳令)

實地試験の要點丈けを抄出して實地受験生の參考とす

- 一、(著者著)
- 二、(身體各部の刺鍼法、又は灸點法竝に經穴及禁穴) 鍼術に在りては身體各部の刺方

灸術に在りては身體各部の灸點法

竝に經穴、禁穴の位置名稱及筋神經脈管臟器等との關係

鍼術灸術の適應症、禁忌症其の他施術上の注意

- 三、(消毒法大意) 消毒の意義、消毒藥の種類、

鍼、手指及手術局部の消毒方法順序

- 四、(鍼術又は灸術の實地) 身體各部の刺鍼又は灸點施術の實地

山形縣 (昭和七年秋)

- 一、迷走神經の作用及其分佈する部位を問ふ
- 二、横紋筋と滑平筋とに就て記せ
- 三、皮膚消毒に適當なる藥品の種類及其使用濃度を記せ
- 四、三陽絡の部位之に鍼治を行ふ可否如何

- 一、便秘に對する刺鍼部位を問ふ

- 一、胃擴張に對する灸穴名を問ふ

- 一、大腿に於ける禁灸穴名其部位を記せ

- 一、鼠蹊窩の部位と之を構成する筋肉の名稱及通過する血管神經の名稱を問ふ

茨城縣 (昭和七年秋)

- 一、坐骨神經の起始經過

- 一、脾臟の機能

- 一、鍼具の消毒方法に就て

- 一、神經性麻痺に對する刺鍼法

- 一、上關、承泣、曲池、命門、天府の解剖的部位及經名

- 一、後頸部の實地刺鍼

- 一、腸を區分して其名稱を擧げよ

- 一、交感神經の機能

- 一、石炭酸に就て記せ

- 一、灸の神經に及ぼす作用

- 一、天突、人迎、列缺、肩髃、大椎の解剖的部位及經名

宮崎縣 (昭和八年春)

- 一、三叉神經の起始、經過、分佈に就て

- 一、大脳と小脳の機能に就て

- 一、化學的消毒法と理學的消毒法とに就て各其例を擧げて説明せよ

- 一、慢性腸加答兒の原因、症候及び此に對する刺鍼法に就て

- 一、上肢に於ける禁鍼穴の名稱、經名竝に解剖的部位且つ之に繞る神經を擧げよ

- 一、氣管枝喘息の症狀之に對する灸治法

- 一、上肢に於ける禁灸穴の名稱、經名竝に解剖的部位之を繞る神經を擧げよ

群馬縣 (昭和八年春)

- 一、腦頭蓋骨縫合の種類及び所在を問ふ

- 一、胸廓の上孔には如何なる者を通ずるや

- 一、嘔吐の起る原因を問ふ

- 一、神經痛と神經炎との區別

- 一、衄血に對する刺鍼法及び刺鍼點

- 一、四頭股筋の起始、停止竝に分佈する神經動脈の名稱を記せ

- 一、肺臟の位置、形狀及び構造を問ふ

- 一、膽汁の消化作用を問ふ

- 一、水腫と浮腫との區別を論ぜよ

- 一、偏頭痛に對する灸の要點を擧げよ

- 一、月經痛に對する灸治法を問ふ

富山縣 (昭和八年春)

- 一、上肢に分佈する神經の走路を問ふ

- 一、肝臟の構造並其の作用

- 一、痲痛の症狀及之に對する刺鍼方式を説明せよ
- 一、副神經痙攣の症狀及之に對する刺鍼方式を問ふ
- 一、下肢に分佈する主なる神經の走路を問ふ
- 一、血管の構造並作用を問ふ
- 一、胃擴張に對する穴名及灸治法を問ふ
- 一、腕骨神經痲痺の症狀及灸治法を問ふ

島根縣 (昭和八年春)

- 一、上肢にある三大關節の名稱及び之を構成する骨名を記せ
- 一、(1)大動脈弓より分岐する動脈を列記せよ
- 一、(2)下肢に分佈する主なる神經の名稱を問ふ
- 一、夜驚症の原因、症候及主治穴名を記せ
- 一、胸部及腹部に於ける禁穴を挙げ其理由を説明せよ
- 一、二問題は鍼術に同じ
- 一、大迎、肩髃、膝眼、湧泉、絶骨の部位及び適應症を問ふ

問ふ

香川縣 (昭和八年春)

- 一、神經衰弱の灸治點を挙げ其效ある理由を説明せよ
- 一、顚顚骨の構造及び聯接を記せ
- 一、膝臟の位置及生理的機能を記せ
- 一、左記の消毒方法を記せ
- 一、手指、坐蒲團、書籍、金屬製品
- 一、頸動脈の經過を記せ
- 一、腰痛と其鍼療法を記せ
- 一、炎症に對する灸療法を記せ
- 一、イ、腕關節及膝關節の周圍にある穴名
- 一、ロ、左の經穴の取穴法並禁鍼穴を指摘せよ
- 一、帶脈、商丘、缺盆、五處、白環俞
- 一、胃病の種類、胃痙攣の症狀治療點、部位、手の三里に刺鍼

養生灸の目的方法。作用各穴の指壓

兵庫縣 (昭和八年春)

- 一、骨盤を構成する骨の名稱及び其の聯接を問ふ
- 一、皮膚の生理作用を記せよ
- 一、神經性消化不良に對する鍼治の方法及び其の注意を問ふ
- 一、鍼の適應症及び禁忌症を挙げよ
- 一、理學的化學的消毒法の種類を挙げて其の各方法に就て略記せよ
- 一、胸腹部臟器の名稱及び其の位置を問ふ
- 一、腸の生理的作用に就て記せ
- 一、半身不隨症を來す原因及之に對する灸治の可否如何
- 一、灸の血液に及ぼす影響を記せ
- 一、消毒藥としての必要條件を問ふ

徳島縣 (昭和八年春)

一、左記に就き其の位置及び機能を問ふ

東京警視廳 (昭和八年春)

- 一、延髓に於ける反射中樞の名稱を列舉せよ
- 一、腸痲痛の症狀及び施鍼法並に其の類症鑑別を問ふ
- 一、八髻の穴とは如何並に子宮内膜炎に對して如何なる目的を以て施灸すべきや
- 一、理學的消毒法を詳記せよ
- 一、(イ)脾神經叢及其枝別を問ふ
- 一、(ロ)健康大人に於ける脈搏數、呼吸及體温を問ふ
- 一、(イ)衣類の消毒方法を問ふ
- 一、(ロ)昇汞水使用上の注意
- 一、(イ)氣管及氣管枝の位置形狀
- 一、(ロ)泌尿器の生理的機能
- 一、(イ)蒸氣消毒の方法に就て記せ

(ロ)消毒薬の名稱を挙げよ

- 一、間代性横隔膜痙攣に對する施鍼の方法
- 一、背部側縁に存在する孔穴の名稱
- 一、灸の血液に及ぼす作用
- 一、前膊に存在する孔穴の名稱
- 一、實地、腰腹神經痛の徴候竝に之に對する灸治療法

京都府 (昭和八年春)

- 一、肺臟の構造竝に作用に就て記せ
- 一、大腿に於ける主要なる動脈と筋肉との關係を記せ
- 一、期門(箕門)の經名部位、是が應用さる、場合竝に其の理由
- 一、一鍼にして多數の神經終末に刺戟を與へんとする場合に如何なる刺戟法を應用するや
- 一、二、鍼灸共通
- 一、下三里の經名、部位、是が胃疾患に應用さるゝ理由

一、施灸量は何に依て決定するや

一、藥品消毒とは如何竝に藥品選定に必要な條件を記せ

一、理學的消毒方法の種類をあげ其の應用物件を示せ

茨城県 (昭和八年春)

- 一、頸部の動脈に就て記せ
- 一、病毒に汚染せる鍼、鍼箱、手指の消毒法を問ふ
- 一、腸各部の名稱及機能を問ふ
- 一、健康體に鍼術をすれば如何なる現象が起るか
- 一、慢性筋肉ロイマチスの治療法
- 一、腎臟の位置、形狀、機能を問ふ
- 一、千倍昇汞水の製法、竝に消毒適否の物品を記せ
- 一、胆囊の位置、形狀、及び機能を問ふ
- 一、灸の禁忌部位
- 一、遺尿症の灸治點

栃木縣 (昭和八年春)

- 一、腦神經の名稱と分佈位置
- 一、消毒の認定
- 一、卅三倍の石炭酸水九百瓦の製法
- 一、皮膚の構造及作用
- 一、刺戟前後の消毒法及鍼の消毒法
- 一、關元、大椎、命門、曲池、陽交の解剖的部位
- 一、頸部に於ける刺戟法の注意事項
- 一、小兒鍼の刺戟法
- 一、肩胛關節の麻痺の刺戟點及肩髁を指壓し刺戟せしむ
- 一、心臟の位置作用
- 一、五十倍石炭酸水三百瓦の製法
- 一、背筋の名稱及神經、血管、副神經の起始
- 一、艾灸量は何によりて決定するや
- 一、艾灸の溫度を計る機械の名

一、灸の神經に及ぼす作用

一、胃のアトニー症狀、灸治點

一、癲癇の症狀及灸治點

埼玉縣 (昭和八年春)

- 一、大腿に分佈する血管、神經の名稱を記せ
- 一、腓腸筋の所在及其作用を記せ
- 一、神經の傳達機能とは如何
- 一、頭部に於ける施鍼の可否に就て記せ
- 一、腹痛に於ける鍼の禁忌症を問ふ
- 一、鍼器の消毒には如何なる藥品を使用するや
- 一、二は鍼灸共通
- 一、皮膚呼吸とは如何
- 一、點灸するに至り注意すべき要點を記せ
- 一、妊婦に對する灸術の適否を問ふ
- 一、消毒藥品の種類及其使用法を記せ

大 阪 府 (昭和八年春)

- 一、胸管「左總淋巴幹」の起始、經過竝に受容淋巴幹の名稱を記せ
- 一、筋の收縮を起す理由を説明せよ
- 一、刺鍼の刺戟は神經に如何なる反應を現はすや、且其の效用を問ふ
- 一、完骨、雲門、間使、帶脈、陽陵泉の部位、取穴法及其應用を問ふ
- 一、灸治の疾病に對する作用を問ふ
- 一、臍俞、風門、天樞、血海、光明の部位及經名と應用を記せ
- 一、アルコールの消毒力に就て記せ
- 一、蒸氣消毒法を記し適當なる物品を記せ
- 一、股神經の起始、經過、分佈を記せ

奈 良 縣 (昭和八年春)

- 一、肝臟の位置、形狀、作用を記せ
- 一、腦空、巨骨、神門、腰眼、崑崙の部位竝各其應用疾病を記せ
- 一、鍼術に依る誘導及反射作用とは如何例を舉げて説明せよ
- 一、消毒と滅菌とを例を舉げて説明せよ
- 一、鍼術家に最も適當なる消毒藥品二種を舉げ各其の優劣點を記せ
- 一、股動脈の起始、經過、枝別竝に其の分佈を記せ
- 一、横隔膜の起始、停止竝其の作用を記せ
- 一、艾の燃燒溫度竝其の深達作用を記せ
- 一、肺結核に對する施灸の部位と其の奏效する理由を説明せよ
- 一、施灸時消毒を行ふ理由を説明せよ
- 一、蒸氣消毒に就て詳記せよ

臺 灣 臺 北 州 (昭和八年春)

- 一、下腿筋の名稱を記せ
- 一、腰神經痛に用ふべき主なる穴名を舉げて之等の位置竝に分佈する血管神經を記せ
- 一、肺臟の生理的作用を記せ
- 一、肋間神經痛の症狀及療法を記せ
- 一、消毒藥名稱及使用法を問ふ
- 一、鍼の種類と現今使用しつゝある鍼の名稱
- 一、鍼の生理的作用
- 一、腰部に刺鍼せしむ
- 一、陽池、支溝、陰廉、中極、三里、三陰交、懸鐘の部位を指壓せしむ
- 一、灸の種類
- 一、灸の生理的作用
- 一、灸の血管に及ぼす影響

愛 知 縣 (昭和八年春)

- 一、夜尿症に用ふべき穴名を指壓せしむ
- 一、大腿中央部横断面を圖解若くば説明せよ
- 一、赤血球、白血球とは如何なるものなるや
- 一、鍼術に消毒の必要なる理由を述べよ
- 一、神經痛と神經炎との鑑別要點を舉げ其何れが鍼の禁忌症なるかを説明すべし
- 一、閉鎖神經痛の刺鍼部位を舉げよ
- 一、胃に分佈する神經の名稱竝に其經路を述べよ
- 一、白血球の生理的作用を問ふ
- 一、左のものゝ最も適當なる消毒法を述べよ
- 一、手指、仕事着、吐鳴物、體温器、傷面
- 一、利尿催進を目的とする點灸の部位及其理由を説明すべし
- 一、深腓骨神經の經路に沿へる經穴名稱を舉げよ

長野縣 (昭和八年春)

- 一、内臓の意義臓器の名稱を記せ
- 一、腎臓の部位其機能に就て記せ
- 一、太陽叢に就て知る所を記せ
- 一、白血球に就て知る所を記せ
- 一、酒精の性状及使用上の注意を記せ
- 一、(鍼)施鍼の前施術者としての注意すべき事項を記せ
- 一、(灸)施灸前施術者及被施術者の注意事項を記せ
(以上鍼灸共通)

滋賀縣 (昭和八年春)

- 一、體温に就て
- 一、鍼の鎮靜作用に就て
- 一、顔面神經麻痺に對する刺鍼點
- 一、鍼の施鍼時に最も有效なる消毒法
- 一、腹部臓器の名稱及腎臓の機能

一、灸の種類及方法

- 一、腰痛に對し灸點の場所
- 一、施灸後の消毒方法及主なる消毒薬の名稱

静岡縣 (昭和八年春)

- 一、横隔膜に接する臓器の名稱並に之れを通過する器管の名稱とを列記せよ
- 一、舌に分佈する神經の名稱を挙げよ
- 一、足太陽膀胱經に於て大杼穴より白環俞穴に至る各穴の部位を簡単に記せ
- 一、神經衰弱に對する鍼治法如何
- 一、横隔膜に接する臓器の名稱並に之れを通過する名稱を列記せよ
- 一、舌に分佈する神經の名稱を挙げよ
- 一、足太陽膀胱經に於て大杼穴より白環俞穴に至る各穴の部位を簡単に記せ

三重縣 (昭和八年春)

- 一、喘息に對する灸治法如何
- 一、淋巴線の構造作用
- 一、頸部を通過する血管神經
- 一、折鍼に就て述べよ
- 一、次の穴の位置適應症及禁鍼穴を挙げよ
手の五里、陽陵泉、承筋、靈臺
- 一、衣類の消毒方法
- 一、左記物品の消毒方法
タオル、毛布、金鹽、革製財布 (以上鍼術)
- 一、淋巴腺の構造作用
- 一、頸部を通過する血管神經
- 一、灸の免疫血清に及ぼす影響
- 一、六ツ灸に就て
- 一、衣類の消毒法

山梨縣 (昭和八年春)

- 一、左記物品の消毒方法
タオル、毛布、金鹽、革製財布 (以上灸術)
- 一、腎臓の位置、機能
- 一、坐骨神經の起始、經過、枝別
- 一、頸筋の數と名稱
- 一、鍼術に必要な消毒法
- 一、膀胱麻痺の原因、症候、療法
- 一、天井、歩廊、長強
- 一、咀嚼筋痙攣の原因、症候、療法
- 一、衄血の原因、症候、療法
- 一、肩外、曲垣、尺澤、陽池の指壓
- 一、脊髓の機能
- 一、肝臓の位置、形状、機能
- 一、胸筋の數、名稱並に二三の筋の起始停止

- 一、化學的消毒法に就て述べよ
- 一、撓骨神經麻痺の原因、症候、療法
- 一、狭白、建里、消瀉、陽陵泉の部位
- 一、胃加答兒の原因、症候、療法
- 一、惡阻の原因、症候、療法
- 一、支滿、神藏、騎風、大腸俞、關元俞の指壓

北海道 (昭和八年春)

- 一、皮膚の感覺器官を説明せよ
- 一、血液の凝固作用を説明せよ
- 一、神經衰弱の症狀及び療法を記せ
- 一、顔面神經癱瘓の療法を記せ
- 一、化膿菌に就て知る處を記せ
- 一、理學的消毒方法の種類を記せ

石川縣 (昭和八年春)

- 一、横隔膜の位置、形状、機能及分佈せる血管神經を記せ
- 一、手指の消毒を詳記せよ
- 一、膀胱カタルの療法を記せ
- 一、喘息の療法
- 一、顔面神經麻痺の療法
- 一、手技の種類

鳥取縣 (昭和八年春)

- 一、横隔膜に就て
- 一、迷走神經に就て記せ
- 一、坐骨神經の起始經過と枝別を問ふ
- 一、内呼吸に就て
- 一、膝關動脈に就て
- 一、前頸部の動脈に就て
- 一、手指の消毒法を記せ

- 一、「ホルムアルデヒド」一プロセント水溶液七〇〇グラム調製法を問ふ
- 一、脾白に就て
- 一、上膊骨に就て記せ
- 一、筋の種類及構造を問ふ
- 一、僧帽筋に就て知る所を記せ
- 一、甲狀腺の作用を記せ
- 一、血管を主宰する神經の種類及其中樞の所在を問ふ
- 一、鎖骨下動脈に就て記せ
- 一、消毒に用ゆる藥品五種以上を挙げ且つ其使用濃度を記せ

山口縣 (昭和八年春)

- 一、上膊を通過する神経血管の名稱を問ふ
- 一、消毒薬に幾種あるや其優劣を比較せよ
- 一、皮膚の構造及生理的作用

- 一、消毒の順序を述べよ
- 一、張介賓氏の四華患門の取穴法及其應用
- 一、鍼の神經に及ぼす影響
- 一、手指の消毒方法
- 一、脚氣八處の穴名竝に部位
- 一、灸の血液に及ぼす影響

福岡縣 (昭和八年春)

- 一、迷走神經の分佈
- 一、反射運動とは何か例をあげて説明せよ
- 一、鍼の大小長短と生理的作用との關係を記せ
- 一、胃癱瘓に刺鍼の可否と其理由
- 一、三十八才の男子 大工さん、今迄も酒を飲むと左の如き痛狀があつてゐた、一昨日酒を少し飲み過ぎたところが下腹がクシクシ痛み出した、便所に行たくなつたから行くと、ネバリ氣のある便が少し出る、

しばらくすると又行きたくなる故便所に行くとなバ
ネバした便が少し出る、下腹が少し脹つた様な気分
がする、そんな風で便所通ひは七、八回ある、昨日
は一昨日よりも少しよい位だ、その「病名」と如何な
る原因でかゝる病状があるか、治療の目的、部位手
技如何に

- 一、三叉神経に就て記せ
- 一、飲用した水分は、いづれより體外に排泄せらるゝや
- 一、肩の「コリ」に對する灸治を問ふ
- 一、上膊に禁灸の箇所ありや其部位、名稱を記せ
- 一、二十七才の男子 四、五年事務にたづさわつてゐるが、三週間程前に風を引いた、それから今日迄咳が出るが痰は出ない、熱（午前より午後の方が高い三十七度位）左背の外がはの下の方が呼吸をする度に痛む、食慾や便通は以前より不整だが、たいして變りはない、音を聴くとガリガリ、ジャリ／＼といつ

た音がする、本人は事務を休んでゐるが床に就く程の事もない病名を問ふ又どうした原因であるか、治療の部位と目的と手技如何

神奈川縣 (昭和八年春)

- 一、脾臓の位置、形狀並に其の構造を問ふ
- 一、心臓の機能を記せ
- 一、鎮靜刺戟と亢奮刺戟との效果並に之れが應用に就て述べよ
- 一、皮膚刺戟の治療的價値を説明せよ
- 一、石炭酸「アルコール」昇汞の消毒上に於ける利害
- 一、消毒の必要なる理由を記せ
- 一、胃の位置、形狀、構造に就て記せ
- 一、血液の性状、並に作用に就て知る所を記せ
- 一、濕熱刺戟の内臟作用に及す理由
- 一、小兒施灸は如何なる症狀に奏效するや其治療方法の

要點を記せ

- 一、消毒方法の種類及其應用を問ふ
- 一、石炭酸の性状並に石炭酸水調製方法を記せ
- 一、薦骨部の穴名及主治症
- 一、長強の位置及主治症
- 一、天突の主治症
- 一、百會の主治症
- 一、中風の原因及症狀及灸治療法
- 一、灸の禁忌症に就いて

大阪府 (昭和八年秋)

- 一、門靜脈とは如何其の經過を詳記せよ
- 一、腸に於ける吸收作用を記せ
- 一、次の場合の處置如何
- (1) 施鍼中腦貧血を起せし場合
- (2) 施鍼中肋間痛を起せし場合

(3) 施鍼中抜鍼困難なる場合

- 一、顔面上半部に於ける經穴を擧げ其の應用を略記せよ
- 一、施灸に依る皮膚に起る變化を記せ
- 一、和髻、中腕、章門、血海、足三里の取穴法と應用を記せ
- 一、手指消毒の必要なる理由と其消毒法を記せ

熊本縣 (昭和八年秋)

- 一、大腿部の神経血管の名稱及経路
- 一、皮膚の構造及其應用を問ふ
- 一、消毒薬二種を選び之れが稀釋法及用途を説明せよ
- 一、理學的消毒とは如何
- 一、皮膚の知覺脱出の原因及鍼治療法
- 一、刺鍼上の注意
- 一、坐骨神經痛の原因、症候、並に鍼治療法。
- 刺鍼各自持參の番及流派自由にて鍼の實地

- 一、肩胛筋肉の名稱
 - 一、下腿に於ける骨血管神経を列記せよ
 - 一、消毒法の意義を問ふ
 - 一、灸術の際に施行する消毒法に就て記せ
 - 一、灸痕の保護
 - 一、血管運動神経に及ぼす灸の影響
 - 一、胃弱の症候及灸治療
- 實地取穴は指壓

岐 阜 縣 (昭和八年秋)

- 一、上肢及下肢に分佈する神経に就て述べよ
- 一、血球に就て知る所を記せ
- 一、消毒を行はざる場合の結果如何
- 一、頭痛を發する疾患刺鍼の部位竝に其目的を問ふ
- 一、鍼の健康神経及病的神経に及ぼす作用竝に耳下腺叢に該當する穴名を記せ

- 一、腰部八點灸の取點法及之れが效果に就て説明せよ
- 一、次の疾患に對し灸點及其目的を擧げよ
 - 一、便秘 二、下痢 三、疝痛(腸疝痛)

京 都 府 (昭和八年秋)

- 一、撓骨神経の經過竝に筋肉脈管との關係を記せ
- 二、脾臓の位置、構造及機能を述べよ
- 三、便秘に對する刺鍼點竝に其理由
- 四、股門、承扶、陽陵泉の經名竝に應用せらるゝ場合
- 五、機械的消毒法と理學的消毒法との差異を問ふ
- 六、三%クレゾール水の調製法、其原消毒薬の性状竝に適用消毒物件を示せ (以上鍼術)
- 一、二、鍼術に同じ
- 三、子宮疾患に對する施術點竝理由
- 四、禁忌症の症候を擧げ其理由を説明せよ
- 五、六問鍼術に同じ (以上灸術)

長 野 縣 (昭和八年秋)

- 一、横隔膜の位置、構造、及作用に就て記せ
- 一、内分泌腺に就て記せ
- 一、坐骨神経の起始經過に就て記せ
- 一、左の孔穴の解剖的位置を記せ

イ、陽白

ロ、衝門

ハ、三里

ニ、曲垣

一、齒痛に對する施鍼方法(施灸方法)を記せ

一、鍼術(灸術)の業務に關し消毒を怠りたる時の被施術者及施術者に及ぼす障害に就て記せ

秋 田 縣 (昭和八年秋)

一、上肢骨の名稱を問ふ

一、心臟の構造を説明せよ

一、(イ)後頭神経痛に對する刺鍼法を問ふ

(ロ)禁鍼穴の名稱を問ふ

一、(イ)後頭神経痛に對する灸治法を問ふ

(ロ)禁灸穴の名稱を問ふ

一、消毒薬の名稱及び其使用法

一、消毒方法の種類を擧げ其大要を記せ

富 山 縣 (昭和八年秋)

一、下腿に分佈する主なる血管神経に就て記せ

一、脾臓の位置竝に機能を問ふ

一、患門の取穴法を問ふ

一、鍼の強弱刺戟が身體に及ぼす影響を問ふ

一、滅菌法竝に消毒法に就て説明せよ

一、左の消毒薬の性状竝に其應用上の利害得失を問ふ

一、アルコール 一、石炭酸 一、フォルマリン

- 一、クレゾール石鹼液
- 一、上肢に分佈する主なる血管神経に就て記せ
- 一、肝臓の位置竝に機能を問ふ
- 一、四花の取穴法を問ふ
- 一、灸の温熱刺激の強弱が身體に及ぼす影響を問ふ
- 灸術の消毒薬二問は鍼術同様
- 一、肋間神経痛に對する鍼治法
- 一、顔面神経麻痺に對する鍼治法
- 一、常習便秘の灸治法
- 一、遺尿症に對する灸治法

島 根 縣 (昭和八年秋)

- 一、膝窩窩を形成する筋の名稱竝に神経と脈管との關係
- 二、三叉神経の起始經過分佈に就て記せ
- 三、痔疾の原因竝に主治穴名を問ふ
- 四、腦貧血の原因。病狀竝に其鍼治法を記せ

- 五、細菌死滅の要約
- 六、(イ)純アルコールと稀釋アルコールとの消毒上の優劣に就て述べよ
- (ロ)理學的消毒法の種類を挙げ最も完全なる消毒方法竝に其用途を記せ (以上鍼術)
- 一、二は鍼術同様
- 三、盲腸炎の原因症狀竝に鍼治療法を問ふ
- 四、左の灸穴の解剖的部位竝に其適應症を記せ
- 一、客主人 二、天地 三、犢鼻 四、天井
- 五、氣海俞
- 五、六は鍼術同様 (以上灸術)

福 岡 縣 (昭和八年秋)

- 一、腦神経の名稱を挙げ其運動及知覺の區別を記せ
- 一、體温の調節機能を記せ
- 一、拔鍼後に於ける皮膚の變化を説明せよ

- 一、交感神経緊張症の症候及び鍼治法
- 一、皮膚の構造及び生理的作用を問ふ
- 一、プーバルト氏靱帶の下を通過する血管神経の名稱を挙げよ
- 一、下肢に於ける禁灸穴名を問ふ
- 一、關節に發する疾病と其灸治法を記せ

青 森 縣 (昭和八年秋)

- 一、大腿屈筋の名稱及坐骨神経の分佈の概要を記せ
- 一、消溼、陽陵泉の部位經名を説明し其の疾病應用に就て知る所を述べよ
- 一、消毒の必要なる所以を記せ
- 一、肺臓の機能と呼吸原理とに就き述べよ
- 一、坐骨神経痛の鍼治法に就て記せ
- 一、腰痛に對する灸治法如何
- 一、皮膚の消毒法竝に之に適切なる消毒薬を挙げよ

福 島 縣 (昭和八年秋)

- 一、腹腔内臓器の名稱
- 一、消化液の種類を問ふ
- 一、神経性消化不良の症候を述べ而して之に對する鍼灸療法を問ふ
- 一、上膊及前膊部に於ける肺經の穴名を挙げ而して其解剖的部位竝に之に循れる血管神経の名稱を述べよ
- 一、刺鍼の方式に就て説明せよ
- 一、刺鍼手技の名稱を述べ而して二三の手技を實地にせしむ
- 一、灸術の禁忌症を述べよ
- 一、四華患門を取穴せよ

栃 木 縣 (昭和八年秋)

- 一、三叉神経の起始、停止、經過及び作用
- 一、鍼治の注意

- 一、反射神経と間接神経との區別如何
- 一、眼球麻痺に鍼治を施して效ありや、否や
- 一、五%の消毒液を三十五瓦作るには原液何程するか
- 一、鍼治を施す部位の消毒の必要如何
- 一、皮膚の構造竝に作用
- 一、消化器の名稱と其機械的作用
- 一、胃の位置、形狀及、噴門、幽門、大赫、上腕の部位を明細に記せ

- 一、灸治前後に於ける消毒の方法
- 一、灸治に於ける消毒の必要なる理由
- 一、灸治の血行に及ぼす影響
- 一、喘息の灸治點
- 一、脚氣の種類及其灸治點

石川縣 (昭和八年秋)

- 一、左記の所在及作用機轉を問ふ

福井縣 (昭和八年秋)

- 一、瞳孔散大中樞、咳嗽中樞、痙攣中樞、言語中樞 (イ) 心臟に分佈する動靜脈に就て知る處を記せ
- 一、狭心症の原因、症狀、及鍼灸治療法を記せ
- 一、昇汞水に就て知る處を記せ
- 一、神經痛の起る原因。風池、三里の刺鍼
- 一、左記經穴の解剖的位置及禁穴記せ
晴明、日月、下髻、合谷、湧泉
- 一、筋運動の起る理由を述べよ
- 一、如何なる場合に鍼器及手指の消毒を反覆するや
- 一、横隔膜の位置及作用と之を通ずる器官の名稱を擧げよ
- 一、生石灰は如何にして使用するや
- 一、肋間筋ロイマチスと肋間神經痛との鑑別を問ふ
- 一、三叉神經痛の原因及症候を述べよ (以上鍼術)

- 一、オイスタヒー氏管の位置を問ふ
辰井註(歐氏管、即ち耳咽管也)
- 一、指を屈する筋の名稱を擧げよ
- 一、中樞麻痺と末梢麻痺の區別を問ふ
- 一、アルコールとヨードチンキと何れが消毒力強きや及其理由
- 一、肺結核患者の喀痰は如何なる方法にて消毒するや (以上灸術)

和歌山縣 (昭和八年秋)

- 一、胃の位置各部の名稱
- 一、皮膚の生理的作用 (以上鍼灸共通)
- 一、鍼治を禁すべき部位
- 一、神経性心悸亢進に對する鍼療法 (以上鍼術)
- 一、(イ)五十倍の石炭酸水五百瓦の調製法
(ロ)術者の手指の消毒法に就て
- 一、熱を用ひる消毒法に就て (以上鍼灸共通)

奈良縣 (昭和八年秋)

- 一、腋下神經麻痺に對する鍼療法
- 一、後頭神經痛に對する鍼療法 (以上鍼實地)
- 一、麻痺に對し鍼術は奏效するや否や、及其理由
- 一、肋間神經痛の鍼療法 (以上灸術)
- 一、腓骨神經麻痺に對する鍼療法
- 一、偏頭痛に對する鍼療法 (以上灸實地)
- 一、上膊動脈の起始、經過竝に靜脈、神經との關係を記せ
- 一、心臟の位置、構造、作用を記せ
- 一、皮膚鍼の治療的作用を記せ
- 一、腕關節部に存する經穴と經名竝に之に相當する神經の名を記せ
- 一、消毒の意義竝に要件を記せ
- 一、クレゾール石鹼液の性状竝に應用を述べよ

- 一、脊髓に就いて記せ
- 一、小腸の構造並に其の生理的作用を述べよ
- 一、子宮内膜炎の灸治點を挙げ各其の奏效する理由を記せ
- 一、灸の血壓に及ぼす影響に就て
- 一、室内の消毒方法を記せ
- 一、消毒薬として具ふべき要件を挙げよ

兵庫縣 (昭和八年秋)

- 一、脾臓の位置構造及其の機能を問ふ
- 一、瓦斯交換に就て記せ
- 一、施灸せば組織に如何なる變化を起すや
- 一、喘息に對する灸の效果如何
- 一、皮膚消毒に就て詳記せよ
- 一、脊髄神経の數及部位に由て其區別を問ふ
- 一、鍼の適應症及禁忌症を挙げよ

- 一、胃擴張に對する刺鍼方法を問ふ
- 一、食物の消化に就て知る所を記せ
- 一、煮沸消毒方法及本消毒を行ふ際注意すべき事項を記せ
- 一、腦神経の名稱を挙げ其生理的作用を述べよ
- 一、鍼治の適應症並に巨關、上腕、中腕の解剖學的位置を問ふ
- 一、横隔膜痙攣の症狀及び鍼治法を問ふ
- 一、消毒薬の種類及び其の使用法を述べよ
- 一、自律神経に就いて知る所を記せ
- 一、灸治の血管及び神経に及ぼす作用並に天柱風池の解剖學的位置を問ふ
- 一、子宮内膜炎の症狀及灸治法を問ふ
- 一、皮膚の消毒に適應する主なる消毒薬品の名稱及び使用

滋賀縣 (昭和八年秋)

法を記せ

山形縣 (昭和八年秋)

- 一、脊髓の機能を略記し且其主なる中樞を記せ
- 一、貧血、充血の原因及症狀に就て説明せよ
- 一、神経痛の原因症狀及之に對して鍼術の效果ある理由を説明せよ
- 一、慢性胃加答兒の鍼治穴名を問ふ
- 一、消毒、清潔、殺菌の意義及昇汞、フォルマリン、石炭酸、酒精、使用上の注意を記せ
- 一、腋窩を構成する筋の名稱及之を通過する血管、神経の名稱を問ふ
- 一、健康大人に於ける血壓、脈搏、呼吸、體温を記し是等に著しき變化を起す疾病の名稱を一二列記せよ
- 一、斜頸の原因灸治の效果を問ふ
- 一、胸腹部に於ける禁穴名を記せ

静岡縣 (昭和八年秋)

- 一、頸部に於て擧握し得る筋の名稱及其作用
- 一、體温と脈搏と呼吸との關係
- 一、鍼の適應症及禁忌症
- 一、坐骨神經麻痺に對する鍼治法 (以上鍼術)
- 一、鍼術に同じ
- 一、鍼術に同じ
- 一、慢性ロイマチスに對する施灸點
- 一、禁灸穴の部位及其理由
- 一、顔面皮膚に分佈する知覺神経の名稱を記せ
- 一、膝關節脈の位置及其分佈
- 一、鍼の生理的作用に就て記せ
- 一、頭部に於ける禁穴名如何
- 一、石炭酸水の使用方法を述べよ

三重縣 (昭和八年秋)

- 一、日光の消毒效果に就て記せ
- 一、筋肉收縮を起す原因を述べよ
- 一、腸の蠕動に就て説明せよ
- 一、灸の血脈に及ぼす影響
- 一、灸の炎症に對する効果
- 一、左記物品の消毒方
- 一、熱を利用する消毒方法の種類應用 (以上灸術)

愛知縣 (昭和八年秋)

- 一、頭部を循る動脈及知覺神經の分佈状態に就て
- 一、肝臟の構造、血管及生理的作用を問ふ (以上鍼灸術共通)
- 一、神經の刺戟に就き詳述し且鍼治の效果に就て (以上鍼術)
- 一、左の經穴に就て解剖的關係及其他知る處を記せ
承光、天鼎、膈俞、石門、經渠、中瀆
- 一、清潔と消毒との區別

- 一、アルコール及石炭酸に就き知る處を記せ
- 一、胃カタルの症狀並に灸治法 (以上灸術)

徳島縣 (昭和八年秋)

- 一、(イ)心臓の位置及構造
- 一、(ロ)頭蓋を構成する骨の名稱
- 一、胃の化學的消化作用
- 一、理學的消毒法及消毒藥の種類並に其溶解方法
- 一、偏頭痛に對する刺戟點を擧げて奏效する理由を記せ
- 一、陰萎症の原因並に灸治法

大分縣 (昭和八年秋)

- 一、顔面神經麻痺の原因、症候、治療法と主治穴
- 一、下肢神經痛の原因、症候、灸治法と主治穴
- 一、股關節を構成する骨の名稱並に大腿を擧上するに要する筋肉の名稱及其起始停止部の名稱並に坐骨神經の經過を記せ

- 一、肝臟の構造並に其生理的作用を記せ
- 一、理學的消毒法及化學的消毒法の種類を擧げ其各々の特徴を列記せよ
- 一、施術者の消毒法を詳記せよ
- 一、清冷淵、築賓、肩外俞の部位、解剖的關係並に適應症
- 一、胸部疾患に對する施灸上の注意
- 一、下肢水腫に對する施灸の目的並に部位を記せ

佐賀縣 (昭和八年秋)

- 一、脾臟の位置、形狀及構造を記せ
- 一、食物吸收作用に就て記せ
- 一、癲癩瘰癧發作とは何ぞ及び鍼治療法
- 一、喀痰及唾液とに混合せられる傳染病の種類並に之が消毒方法

- 一、任脈中の中樞、神闕、中庭の解剖的關係を記せ

- 一、淋巴液の機能を記せ

- 一、坐骨神經の起始、經過及分佈

- 一、糞便と共に菌が排泄せられる傳染病

- 一、膀胱經中の曲差、承光、意舎の解剖的關係

- 一、顔面神經麻痺の症候、灸治法

長崎縣 (昭和八年秋)

- 一、頸部を通過する主要なる血管及神經の名稱を擧げよ
- 一、血液の成分を問ふ
- 一、鍼術を施したる部位の化膿する事あるは何故か、及之の豫防法
- 一、脛骨神經麻痺と腓骨神經麻痺とに就き其の主徴及之に施す鍼治法
- 一、鞏乳孔外の障礙に依る場合の顔面神經麻痺の症狀及鍼治法

一、左記各項の位置を問ふ

半月瓣、肋間神経、烏啄膊筋、環狀軟骨、正中靜脈

一、皮膚の生理的作用

一、消毒藥五種を擧げ其調合法を述べよ

一、血壓の高くなる諸病に就き灸治法の可否を述べよ

一、神経性胃痛と胃潰瘍との鑑別に就て記せ

鹿 兒 島 縣 (昭和八年秋)

一、肝臟の位置、形狀其機能を問ふ

一、迷走神経の作用を記せ

一、陷谷、漏谷、靈道、陽谷の部位及應用

一、石炭酸水の調製法及其用途を問ふ

(以上鍼灸術共通)

一、鍼術の血液に及ぼす影響

一、胃潰瘍の主徴候竝に之に對する鍼治の治療價値に就き記せ

一、灸とヘッド氏帶との關係

沖 繩 縣 (昭和八年秋)

一、下肢に分佈する主なる血管神経の名稱及び其經過を記せ

一、左記疾病を鍼術の適否に依り區別し其理由を説明せよ

一、鍼具及皮膚竝に手指の消毒に各適當する藥品を擧げて其使用法を説明せよ

一、肋間神経痛の原因、症候、鍼治法を記せ

一、唾液線の種類及び其生理的作用を記せ

一、澁鍼とは如何、其原因、處置を問ふ

一、鳩尾の部位鍼術の可否を説明せよ

一、雀啄術とは如何竝に如何なる場合に應用するや

一、肝臟の位置、形狀、及其生理的作用を記せ

一、左記疾病を灸治の可否に依り區別し其理由を説明せ

よ

(イ)クループ性肺炎

(ロ)動脈硬化症

(ハ)胃痛

(ニ)常習便秘

(ホ)鼠蹊管

(ヘ)ヘルニヤ

一、灸治に際し消毒を行ふ理由及び其順序方法を説明せよ

一、盲腸炎の原因、症候竝に點灸の利害を述べよ

一、軀幹を構成する骨の名稱竝に联接を記せ

一、灸治の誘導作用とは如何竝に偏頭痛の穴名を記せ

一、灸痕より侵入し易き傳染病を擧げて其症狀及び豫防方法を述べよ

一、灸治の最も適當せる疾病を擧げて其有效なる理由を説明せよ

富 山 縣 (昭和九年春)

一、脾臟の位置形狀竝に機能を問ふ

一、腰腹神経痛の原因竝に刺鍼法を問ふ

一、肘窩の血管竝に神経の關係を記せ

一、遺尿症の原因竝に灸治法を記せ

一、膝關窩の筋竝に血管神経の關係を記せ

一、腎臟の位置形狀竝に機能を記せ

一、痙攣の症狀竝に鍼治法を記せ

一、アルコールの性狀竝に應用を問ふ

一、足關節ロイマチスの灸治法を記せ

一、呼吸にて自然吸入する瓦斯の名稱を問ふ

一、鍼の生理的作用を問ふ

一、脚氣の灸治法竝に要穴を問ふ

一、胃擴張の症狀並に要穴を問ふ

岩手縣 (昭和九年春)

- 一、延髓の位置及延髄中に存在する各中樞の名稱を擧げよ
- 一、皮膚の機能に就て記せ
- 一、側腹部に於ける穴名と分佈神經の名稱を記せ
- 一、撓骨神經麻痺の原因、症候及び其鍼術と灸術如何
- 一、横隔膜痙攣の原因、症候及び其鍼術と灸術に就て記せ

山口縣 (昭和九年春)

- 一、胸腔内臓器の名稱位置及其作用を記せ
- 一、膝關節を通過する神經及血管の名稱を問ふ
- 一、消毒の目的を記し手指を消毒する藥品の種類及其稀釋度を擧げよ
- 一、三叉神經痛の原因、症候、鍼治療法を問ふ

一、腎俞、大横、大乙、身柱、肩髃の位置、並びに應用を問ふ

一、胃痙攣の原因、症狀、灸治療法を問ふ

一、胃俞、腹結、天樞、百會、風池の位置及應用を問ふ

北海道 (昭和九年春)

- 一、血液循環の概要を記せ
- 一、四面股筋の起始、停止及び作用を記せ
- 一、氣管枝喘息の鍼治療法を記せ
- 一、腓腸筋痙攣の療法を記せ
- 一、手拭の共用による衛生上の危害を記せ
- 一、消毒薬として沃度丁幾の應用及取扱上の注意を記せ
- 一、脊髓の構造及生理作用を記せ
- 一、心臟の構造を記せ
- 一、狭心症の療法を記せ
- 一、慢性氣管枝加答兒に對する灸治療法を記せ

を論ぜよ

一、胸部内臓の疾患に現はる知覺過敏帯の部位を擧げ此處に施す鍼術の影響に就いて説明すべし

一、腹部疾患中適應症と禁忌症とを擧げ其理由を説明すべし

一、左記各項の位置を問ふ

(1) 廻前方形筋 (2) 腸骨動脈 (3) 會厭軟骨

(4) 灰白質 (5) 僧帽瓣

一、皮膚は生理的如何なる作用をなすや

一、蒸氣消毒に就き知る所を述べよ

一、單純なる急性腸加答兒に施灸して止瀉の効ある理由を説明すべし

一、温熱的治療法としての灸術の立場竝に身體に及す熱度の影響に就き説明せよ

三重縣 (昭和九年春)

靜岡縣 (昭和九年春)

- 一、手指の消毒の必要なる理由を記せ
- 一、灸點部位より侵入する處れある病原菌の種類を擧げよ

一、眼窩を構成する骨の名稱

一、肝臟の生理的作用

一、肋間神經痛に對する鍼治療法

一、顔面神經麻痺に對する鍼治療法

一、灸の生理的効用

一、神經衰弱に對する灸治療法

愛知縣 (昭和九年春)

- 一、手腕骨の名稱及略圖を記せ
- 一、肺膜は生理的如何なる作用をなすや
- 一、鍼の消毒に昇汞水、アルコール、石炭酸水の適不適

- 一、鼻腔を構成する骨の名稱を記せ
- 一、脾臓の作用を記せ
- 一、鍼の治療的作用に就て述べよ
- 一、神經性心悸亢進に對する鍼治法
- 一、左記消毒藥の製法を述べよ
 - 五%石炭酸水、千倍昇汞水
- 一、蒸氣消毒方に就て記せ
- 一、唾液腺の位置及排泄管の開口部を問ふ
- 一、延髓の機能及諸中樞の名稱を記せ
- 一、灸の治療的作用
- 一、婦人病に灸の奏效する理由を述べよ
- 一、毛布の消毒法を記せ
- 一、物理的消毒法の種類及其應用に就て述べよ

福井縣 (昭和九年春)

- 一、鼠蹊管とは如何なるものなりや

且つ之に通ずる主要なる器官を詳述せよ

一、内分泌腺とは如何なるものなりや及其臓器の主要なる作用を擧げよ

- 一、喉頭筋麻痺の原因及症狀を問ふ
- 一、鍼施行時の消毒に就て順序よく説明せよ
- 一、中樞性麻痺と末梢性麻痺の區別を問ふ
- 一、脊髄勞の症狀を記せ
- 一、膝關節を構成する筋の名稱を擧げ此の部を經過する神經及血管の關係を問ふ
- 一、心音、心動に就き知る處を記せ
- 一、熱を用ふる消毒方法を述べよ
- 一、脊髓空洞症の症狀を述べよ
- 一、神經痛と筋痛との區別を問ふ
- 一、關節炎の原因及症狀問ふ
- 一、坐骨神經痛の鍼治法に就て

- 一、上眼窩神經痛の刺鍼法
- 一、氣管枝喘息の灸治法に就て
- 一、慢性腸加答兒の灸治法

岡山縣 (昭和九年秋)

- 一、胃に分佈する神經の名稱並に經過
- 一、心臟に分佈する神經の名稱並に經過
- 一、呼吸作用を問ふ
- 一、關節の構造を問ふ
- 一、理學的消毒法とは如何並に種類
- 一、化學的消毒法とは如何並に種類
- 一、昇汞水の稀釋度及注意事項
- 一、惡阻に對する刺鍼の可否刺鍼點並に實地刺鍼
- 一、帶下に對する施灸の可否施灸點並に取穴法

滋賀縣 (昭和九年春)

- 一、肝臟の位置、形狀及機能を問ふ
- 一、胸神經の名稱及其の機能を問ふ
- 一、副神經麻痺の原因及鍼治法並に穴名を擧げよ
- 一、左の物件に就き消毒方法を述べよ
 - (イ)病室 (ロ)衣服 (ハ)書籍 (ニ)皮膚
- 一、頸部の動脈に就て記せ
- 一、偏頭痛の原因及灸治法
- 一、脚氣の原因、症狀並に之に對する灸治穴名を擧げよ
- 一、(イ)喀痰の消毒法に就て記せ
 - (ロ)業務上最も多く用ひる消毒法三種を擧げ、稀釋法並に使用方法を記せ

千葉縣 (昭和九年春)

- 一、大サフエナ靜脈の徑路を問ふ
- 一、(イ)腸各部の名稱
- (ロ)皮膚の生理的作用

- 一、消毒の必要なる理由
- 一、脚氣の症狀、八處の穴名竝に部位
- 一、灸の種類を列記せよ
- 一、騎竹馬の灸、百日咳に就て灸の可否

群馬縣 (昭和九年春)

- 一、軟骨の所在構造竝に作用
- 一、大腿中部を切断すると如何なる筋を切るや
- 一、脱糞作用を問ふ
- 一、肋間神経痛と肋膜炎との鑑別
- 一、無癢痕灸と有癢灸との優劣と差異
- 一、氣管枝喘息に對する灸治點
- 一、骨の種類及構造
- 一、プーバルト氏靱帶とは何ぞ竝に其下を通過する血管
- 一、腸の消化作用

- 一、坐骨神経痛と股関節炎との鑑別
- 一、刺鍼禁忌の部位と場合を記せ
- 一、ヒステリーの鍼治法を問ふ

山梨縣 (昭和九年春)

- 一、腓腸筋の起始、停止、作用
- 一、手指消毒法に就て
- 一、天突、尺澤、身柱、陰廉の解剖的部位
- 一、鎖骨下神経の起始經過に就て
- 一、血液の生理的作用
- 一、食道痙攣の原因、症狀、治療法
- 一、尿道炎の原因、症狀、治療法
- 一、神経性心悸亢進症の原因、症狀、治療法
- 一、足の血海、飛陽に二番鍼にて刺鍼せしむ
- 一、フォルマリンに就て
- 一、水溝、關元、水泉、命門の解剖的部位

- 一、後頭神経痛の原因、症狀、治療法
- 一、皮膚の構造生理的作用
- 一、血管の構造に就て
- 一、腹筋の名稱、起始、停止、作用
- 一、慢性膀胱炎の原因、症狀、治療法、理論
- 一、曲垣、肩外俞、天井、消滯の解剖的部位指壓
- 一、痔疾の原因、症狀、治療法、理論
- 一、上肢に終る經穴の部位解剖的關係指壓

東京府 (昭和九年春)

- 一、腦神経に就て
- 一、皮膚の生理的作用
- 一、消毒の意義
- 一、昇汞水使用上の注意
- 一、坐骨神経に就て述べよ
- 一、血液の成分と作用を述べよ

- 一、制腐と防腐との別
- 一、使用器具器械竝に手指消毒法

香川県 (昭和九年春)

- 一、膝蓋關節に就て
- 一、脾臓の位置及び作用を記せ
- 一、(イ)酒精に就て記せ

(ロ)消毒衣の必要なる理由

- 一、腦神経知覚運動の區別竝に名稱及分佈に就て

- 一、(イ)神庭、庫房、三陰交、陰交、陽谿の部位竝に取

穴法

(ロ)顔面に於ける禁鍼灸穴名

- 一、灸術の禁忌症十種を挙げよ
- 一、胸部刺鍼の注意事項に就て
- 一、胃腸の疾患中の禁鍼病名
- 一、胃の疾患中一番良く奏效する病名

竝に刺鍼點、奏效理由

鳥 取 縣 (昭和九年春)

- 一、迷走神經の血管運動神經纖維に就て
- 一、骨髓の構造
- 一、筋によりて構成される筋窩の名稱
- 一、施術に當り消毒すべき物、方法其目的を問ふ
- 一、腸に分佈せる神經の名稱及其中樞を説明せよ
- 一、腎臟の機能
- 一、内頸動脈を説明せよ
- 一、蒸氣消毒と乾熱滅菌との優劣
- 一、外皮の觸覺装置及附屬器に就て
- 一、唾液分泌と神經作用との關係
- 一、消毒藥五種の名稱と其の使用濃度を記せ
- 一、アルコール消毒とクレゾール消毒との優劣を比較記

載すべし

一、胃に分佈せる神經の名稱、機能、及其中樞を説明せよ

一、肝臟の機能

一、股動脈を説明せよ

朝鮮慶尙南道 (昭和九年春)

- 一、上肢及下肢に分佈する主なる神經の名稱を記せ
- 一、脊髓の機能
- 一、胃痙攣に對する刺鍼點
- 一、消毒の目的竝に鍼に適當なる消毒藥を記せ
- 一、脊部の主なる筋の名稱を記せ
- 一、皮膚の生理的作用を記せ
- 一、灸の適應症及禁忌症を記せ
- 一、胃病に對する灸穴を記せ

神 奈 川 縣 (昭和九年春)

- 一、(イ)血行障礙に對する灸の應用及其效果
- 一、(ロ)有癢痕灸及無癢痕灸の利害を問ふ
- 一、皮膚の構造及作用
- 一、被術者の皮膚の消毒に就て
- 一、(イ)興奮せる神經機能を正常に復せしむる刺鍼手技及其作用を説明せよ
- 一、(ロ)廣範性疼痛に對し刺鍼刺戟の効用竝に其理由を問ふ
- 一、腦神經の名稱及交感神經の作用に就て
- 一、消毒法の種類に就て記せ
- 一、澁鍼の所置法
- 一、折鍼の所置法
- 一、小兒出生後初めて鍼する時期
- 一、四肢の末梢に刺鍼して治療すべき疾病の名稱

一、腰痛の刺鍼法及大腸俞刺鍼

一、頭部に分佈する神經の名稱と此神經に刺鍼刺戟を與へて治療すべき疾病の名稱 (以上鍼實地)

一、四華患門の取穴法

一、慢性消化不良の灸治點及胃に分佈する神經の名稱

一、偏頭痛とは如何其灸治點

一、坐骨神經痛の壓痛點を問ふ

一、半身不隨の灸治點

青 森 縣 (昭和九年春)

- 一、坐骨神經の起始、經過竝に分佈狀態を記せ
- 一、吃逆の理由を記せ
- 一、經穴とヘッド氏帶との關係
- 一、背部第二線の經穴を記せ
- 一、消毒法の目的を記せ
- 一、鍼灸術に於て主として使用する藥品の名稱及溶解度

を問ふ

大分縣 (昭和九年春)

- 一、頸筋の名稱竝に頸部を通過する血管神經との關係に就て
- 一、血壓の呼吸及身體運動に因る變化を記せ
- 一、呼吸器傳染病患者に接したる場合術者は如何なる消毒を施すや
- 一、角孫、會陰、鄰門、豐隆の部位、解剖的關係竝に適應症
- 一、腹痛に對する鍼の利害と其施術上の注意如何
- 一、喘息に對する鍼の治療的作用如何

島根縣 (昭和九年春)

- 一、横隔膜に接する臓器の名稱を挙げ其の機能を説明せよ

一、下腿後側筋の起始、停止、作用、分佈神經の名稱

一、妊娠時に於ける刺鍼の可否如何

一、胃潰瘍、盲腸炎、肺炎、筋肉ロイマチス、偏頭痛、脚氣に對する鍼の適否を記し、其適するものに就て理由を記せ

理由を記せ

一、聯合肩胛麻痺(一名上肢神經叢麻痺)の症狀竝に主治穴名を記せ

一、手の太陰肺經に屬する穴名を挙げ其解剖的部位を記せ

一、(イ)化學的消毒法の應用範圍竝に其優劣の點を記せ

(ロ)消毒藥として具備すべき必要事項

一、微菌と細菌とは如何なる點が異なるや、又人體に及ぼす關係如何

兵庫縣 (昭和九年春)

- 一、脾臓の位置、機能

一、前膊神經の名稱

一、皮膚刺鍼に於ける治療的價值如何

一、坐骨神經痛の原因、壓痛點

一、消毒藥の名稱を挙げて、鍼治の前に於ける消毒方法如何

一、心臟瓣膜の名稱及其作用

一、下腿前側筋の名稱

一、偏頭痛の要穴を記せ

一、背部禁灸穴

一、理學的消毒と化學的消毒法との利害關係を述べよ

廣島縣 (昭和九年春)

- 一、胃の位置竝に構造を記せ
- 一、上膊に於ける血管及神經の經過を記せ
- 一、偏頭痛の種類を挙げて鍼術治療法を記せ
- 一、常習便秘の灸の奏效理由及施灸點部位を記せ

一、腹部正中線に最も接近せる經穴名を記せ

一、煮沸消毒に就て知る處を記せ

一、石炭酸竝に昇汞水の應用を問ふ

長崎縣 (昭和九年春)

一、正中神經の經過竝に分佈を記せ

一、血壓に就て知る處を記せ

一、天髒、氣衝、陷谷の位置及其の部に於ける筋血管神經の關係を記せ

一、小兒鍼の施術方法及其生理的作用の概要

一、左の消毒方法を記せ

(イ)鍼及鍼管 (ロ)術者の手指 (ハ)白衣に施術部

一、泌尿器の名稱を記せ

一、健康成人の呼吸、脈搏の數及體温を記せ

一、陰包、顯息、靈道の位置及其の部に於ける筋と神經脈管の關係

- 一、膽石痛に對する施灸點を記せ
- 一、法定消毒藥の名稱並に其濃度を記せ
- 一、横竹の部位を述べ自己大腿隨意的部に刺鍼せよ
(以上鍼術實地)
- 一、聽官の部位を述べ神經衰弱に對する施灸法
(以上灸術實地)

奈良縣 (昭和九年春)

- 一、迷走神經の起始、經過、分佈並に血管筋肉との關係を記せ
- 一、脾臓の構造並に其の機能を記せ
- 一、部位を異にする神経痛五例を挙げ各其壓痛點に一致する經穴名並に其部位を記せ
- 一、腹部刺鍼上注意すべき事項を記せ
- 一、「フォルム、アルデヒド」による消毒方法に就て記せ
- 一、理學的消毒と化學的消毒の應用範圍並に優劣點を説

明せよ

長野縣 (昭和九年春)

- 一、下頸神經叢の位置並に之より發する神經の名稱及其分佈を記せ
- 一、膀胱の位置構造並に機能を記せ
- 一、施灸により皮膚に如何なる變化を生ずるや
- 一、左の疾患に施灸の適否及其理由を記せ
肺結核、喘息、癩丸炎、結膜炎
- 一、消毒藥として必要なる條件を記せ
- 一、皮膚の消毒に就て記せ
- 一、腹膜に就て記せ
- 一、呼吸に就て記せ
- 一、三叉神經の經過を記せ
- 一、常習便秘及腦充血の鍼術の作用及鍼灸點に就て
- 一、脚氣の鍼灸點及解剖的部位を記せ

- 一、鍼灸術使用に最も適當なる消毒藥數種を挙げて其の注意を記せ
- 一、シメルプツシュの煮沸消毒に就て
- 一、アルコールの六〇%は消毒に効果あるや否や
- 一、胃痙攣の症狀及胃潰瘍との鑑別及鍼灸點に就て言へ

徳島縣 (昭和九年春)

- 一、(甲)左記に就き其の位置を記せ
胸腺、膽囊、攝護腺
- 一、(乙)左記に就き其起始及經路を詳記せよ
大動脈、尺骨神經、胸鎖乳嚙筋
- 一、血液循環の原因を詳記せよ
- 一、「フォルマリン」、石炭酸、昇汞の使用方法を記せ
- 一、肋膜炎の原因並に之に施鍼して效ありや否や、若し有りとせば其理由如何
- 一、胃酸過多症の原因並に施鍼部位及奏效の理由を問ふ

栃木縣 (昭和九年春)

- 一、肩胛部筋の名稱及其各筋の作用
- 一、迷走神經の起始、經過、分佈
- 一、二%は何倍か
- 一、昇汞は何倍を使用するや、又鍼の消毒に適するや否や其理由
- 一、二%リゾール水、一リツトルの製法
- 一、無水アルコールと含水アルコールとどちらが殺菌力大なるか、並に其理由
- 一、消毒を行ふ順序及方法
- 一、石炭酸の溶解法
- 一、刺鍼の作用を問ふ
- 一、胃アトニー症の原因、症狀及、刺鍼點、
- 一、脊柱、石關の部位並に三陰交の部位と主治應用
- 一、尺骨神經麻痺の刺鍼點

- 一、手の三里に刺鍼させ振震術の手技を行はしむ
- 一、腹筋の名稱其各筋の作用及分佈神經の名稱
- 一、胃の位置形状及生理作用
- 一、四十度のアルコールとは何ぞや
- 一、白衣の消毒法
- 一、消毒と清潔との區別
- 一、施灸前後の消毒はどちらが必要か又其理由
- 一、二個の瓶に入れた消毒薬液の實地鑑別
- 一、灸の血行に及ぼす作用
- 一、慢性關節ロイマチスの原因、症状を問ふ
- 一、背部にある全部の孔穴名を述べよ
- 一、下肢にある全孔穴名及中瀆、陰陵泉、飛陽、懸鐘の部位と取穴法

大 阪 府 (昭和九年春)

- 一、前膊を形成する骨及主なる筋肉、血管、神經を擧げ

- 且つ其位置關係を述べよ
- 一、運動の後に起る左の生理現象を説明せよ
 - (一)呼吸數の増加 (二)發汗 (三)體温上昇
 - 一、鍼に細大長短の存する理由を詳記せよ
 - 一、百會、至陽、氣海、養老、公孫の解剖的部位、取穴法、應用を問ふ
 - 一、灸の血球に及ぼす變化を記せ
 - 一、腰部諸穴の部位並に所屬經名と主要なる應用を問ふ
 - 一、酒精の消毒力に就て知る處を記せ

茨 城 縣 (昭和九年春)

- 一、背筋の名稱を擧げよ
- 一、腎臟の機能を問ふ
- 一、消毒薬品を用ひずして行ひ得る消毒法に就て記せ
- 一、下腿前側の主なる筋の名稱、及之に分佈する主なる脈管、神經

- 一、皮膚の作用を記せ
- 一、左の物品を列記し、昇汞水にて消毒して可なるもの、頭に○印を附せ
- 手、茶碗、唾壺、絹布、セルロイド、龍甲、毛皮、便池、井水、壘
- 一、頭部刺鍼の効用に就きて述べよ
- 一、前膊に適宜刺鍼せしむ
- 一、灸の治療的效果に就て述べよ
- 一、風池の取穴を行はせしむ

熊 本 縣 (昭和九年春)

- 一、僧帽筋の起始、停止、分佈神經名
- 一、肝臟の位置及生理的作用
- 一、手指の消毒法
- 一、消毒薬の主なるものを問ふ
- 一、腓腸筋の起始、停止、並に分佈する神經の名稱

- 一、淋巴腺とは如何なるものなりや
- 一、アルコールの消毒的價値を問ふ
- 一、消毒不完全なれば如何なる危険ありや
- 一、灸してすぐ死す病名
- 一、灸の血壓に及ぼす影響
- 一、急性乳腺炎は適應症か、禁忌症か治療法を述べて説明せよ
- 一、頭部禁鍼穴名を述べ指壓せよ
- 一、深腓骨神經に沿ふ經穴名及よくこたへる部位に一鍼せよ

福 岡 縣 (昭和九年春)

- 一、心臓及び肺臟に分佈する血管及神經の名稱
- 一、小腸及大腸の生理的作用に就て述べよ
- 一、炎症の五症狀を述べよ
- 一、胃擴張の原因及灸治點

- 一、正中神經の起始、經過、及其の枝別を記せ
- 一、肝臟の機能を述べよ
- 一、迷走神經の緊張症に就て記せ
- 一、腰痛に對する刺鍼點及刺鍼法

京 都 府 (昭和九年春)

- 一、間歇的滅菌法に就て知る處を記せ
- 一、石炭酸の性状、三%石炭酸水の調製法及び其應用
- 一、頸動脈の經過に就き筋肉と神經との關係を記せ
- 一、子宮、卵巢の位置、構造を記し、月經の如何なるものかを説明せよ
- 一、長日月に亘り施灸を反覆施術の要ある場合、始終同 一點のみ用ふるか、又は中途にて其部位を變更する 必要ありや否や竝に其理由
- 一、斜差の灸に就て記せ
- 一、異りたる二穴を擧げ其部位及、是れが最も多く應用

される場合竝に刺入の深度を示し、其理由を説明せよ

- 一、運鍼法の二例を擧げ其の特徴、竝にこれが應用される場合
- 一、喉頭加答兒の原因、症狀、治穴、目的
- 一、下腿經穴名及び、條口に一鍼せしむ
- 一、試験委員の溫溜に一鍼せしむ
- 一、肺臟疾患の病名、其の中の不適應症名竝に症狀
- 一、膝關節部の穴名
- 一、蟻走感とは如何、之を來す場合
- 一、噯氣、嘈雜とは如何、如何なる時に來るや

島 根 縣 (昭和九年秋)

- 一、胸腔内に於ける器官の名稱竝に位置その機能を述べよ
- 一、延髓に就て知りたる所を詳記せよ

- 一、氣管枝、喘息に對する施灸の價値を詳細に説明せよ
- 一、三里の灸の効用に就て記せ
- 一、法定傳染病の病原體の侵入門戶、排泄路と豫防方法如何
- 一、(イ)居室の完全消毒法實施上の注意

(ロ)毒素の發病關係を詳記せよ
實地

- 一、蓄膿症の症候竝に灸穴指壓、壯數、方法、灸の大き さ全治までの日數
- 一、夜尿症に就て知りたることを言へ

北 海 道 (昭和九年秋)

- 一、腓腸筋に就て記せ
- 一、腎臟に就て記せ
- 一、脚氣の主要症候及び療法を記せ
- 一、左記各語の意義を記せ

- (イ)瘰癧 (ロ)浮腫 (ハ)麻痺 (ニ)轉歸
- 一、消毒藥としてクレゾール石鹼液の使用法及び應用の 範圍を記せ
- 一、化膿球菌に就き記せ
- 一、胸管及び右側淋巴總幹に就て記せ
- 一、腦神經の名稱を列記せよ
- 一、左記各語の意義を記せ

- イ、化膿 ロ、貧血 ハ、炎症 ニ、豫後
- 一、坐骨神經痛の主症狀及び療法を記せ
- 一、皮膚消毒に適當なる藥品の種類及び使用法
- 一、左記疾病の原因を記せ
- イ、破傷風 ロ、蜂窩織炎 (以上灸術)

岐 阜 縣 (昭和九年秋)

- 一、肩胛骨鳥喙突起に附着する筋の名稱竝に其の起始及び停止を問ふ

- 一、ビタミン種類及其缺乏症に就て
- 一、消毒薬リゾール液の稀釋倍數及作用上の特徴、欠點を記せ
- 一、心臟病中鍼術の特效ある疾患に對し是れが解剖的刺點及其目的
- 一、施鍼中豫期せざる事故を起すことあり其の理由及び處置を問ふ
- 一、吃逆に對する點灸の可否及び其理由
- 一、血壓亢進症に對し灸の效否に就て其の理由を記せ

静岡縣 (昭和九年秋)

- 一、肝臟、脾臟、膵臟の位置及生理的作用を問ふ心臟筋肉の特性と之れに來たる神經の作用を問ふ
- 一、子宮痙攣に對する鍼治法を問ふ
- 一、百會、身柱、關元の部位及應用範圍を問ふ

鹿兒島縣 (昭和九年春)

- 一、眼筋及び之に分佈する神經の名稱を問ふ
- 一、膵臟の位置、形狀、竝に之が生理的機能を記せ
- 一、左記の物品に適する消毒法に就て記せ
 - (イ)衣類 (ロ)食器 (ハ)書籍
- 一、次に示す經穴の部位及び鍼灸醫療的應用に就て記せ
 - (イ)京骨 (ロ)竅陰 (ハ)大横 (ニ)天井
- 一、顔面神經麻痺の原因症候及び之に對する鍼治法を述べよ
- 一、施灸部皮膚の變化に就き述べよ
- 一、灸の血壓に對する作用如何

佐賀縣 (昭和九年秋)

- 一、可動關節の種類を擧げて説明せよ

- 一、皮膚呼吸に就て記せ
- 一、折鍼の原因症候竝に處置法
- 一、糖尿病の原因、症候、竝に鍼治法
- 一、衣類の消毒法
- 一、股動脈の經過竝に分佈を記せ
- 一、膽汁の效用を記せ
- 一、灸治の人體に及ぼす影響
- 一、舞踏病の原因症候竝に灸治法
- 一、細菌の種類及熱に對する抵抗力を記せ

熊本縣 (昭和九年秋)

- 一、迷走神經の經過及作用
- 一、淋巴液及淋巴腺に就き知る所を記せ
- 一、施鍼に際し施行する確信ある消毒法を述べよ
- 一、業務上常に多く用ひる消毒薬三種の名稱濃度及使用法を記せ

徳島縣 (昭和九年秋)

- 一、神經の中樞と末梢との關係
- 一、撓骨神經痛に就て
- 一、刺鍼方法
- 一、下腿後側に於ける筋の名稱と其作用竝に神經血管との關係に就き述べよ
- 一、頸部に於ける主なる血管神經の名稱竝に其神經機能を問ふ
- 一、理學的消毒法と化學的消毒法の差異を問ふ
- 一、石炭酸、昇汞、酒精の消毒薬としての價値如何
- 一、此處に壓痛點がある如何なる病氣なるや
- 一、豫防法とは如何なる方法に灸するや
- 一、天府、天衝、天窓、天髀、の指壓

徳島縣 (昭和九年秋)

- 一、(甲)左記に就き其の位置を記せ
 - 髀白、横隔膜、帽狀腱膜、副腎

(乙)左記に就き其起始及經路を説明せよ

直腹筋、舌下神經、股動脈

一、甲狀腺の機能を説明せよ

一、消毒藥の種類及其使用方法を記せ

一、左の神經痛に對し施灸すべき要穴を求めよ

イ、坐骨神經痛 ロ、肋間神經痛

ハ、頸部後頭神經痛

一、腸痛に對し刺鍼の要穴を求め其治療的意義を述べよ

山 口 縣 (昭和九年秋)

一、肝臓の位置、形狀、及生理的作用を問ふ

一、腋窩を構成する筋の名稱を挙げ併せて之を通過する血管神經を記せ

一、消毒の目的及主なる消毒藥の名稱並に稀釋度を記せ

一、小兒遺尿症の灸法を問ふ

一、關元俞、中極、二穴の部位解剖的關係及其應用を問ふ

一、雀啄術の施法及應用を問ふ

一、顔面神經麻痺に對する刺鍼點を記し、鍼の大小、方向、深さ等を詳記せよ

樺 太 (昭和九年秋)

一、腹腔内臓器の名稱及位置を記せ

一、胃の消化作用を問ふ

一、坐骨神經の起始、經過、分佈並に筋との關係を述べよ

一、刺鍼の際注意すべき事項を記せ

一、關節の周圍にある經穴名を挙げその内三穴に就き其の屬する經路部位並に適應症を述べ尙ほ禁鍼穴又は刺鍼上特に注意を要する經穴あらば之を指適せよ

一、肩癱、胃痙攣、便秘に對する鍼灸法を記せ

一、消毒の必要なる理由

一、使用せらる消毒藥四種を挙げ其使用方法注意等を記せ

一、横隔膜に就て記せ

一、血液成分及生理作用を問ふ

一、背部筋の名稱、並に血管神經との關係を述べよ

一、左記經穴に屬する經絡名及部位を述べ且つ其適應症を記せ

翳風、身柱、三陰交、志室

一、喘息、夜尿症、坐骨神經痛の灸治法

一、著明なる禁灸穴三つをあげ其の禁すべき理由を記せ

一、消毒の必要なる理由 (鍼灸共通)

長 崎 縣 (昭和九年秋)

一、三叉神經の分佈を記せ

一、新陳代謝に就て知る所を記せ

一、天宗、大鐘、天衝の位置及び其部に於ける筋血管神經の關係を記せ

一、神經痛に對する刺鍼法を記せ

一、化膿は如何なる場合に起るか知る所を記せ

一、陽白の指壓、自らの身體に鍼刺法

一、横隔膜の位置及び作用を記せ

一、大腸の機能を記せ

一、後谿、天髻、合陽の位置及び其部に於ける筋血管神經の關係を記せ

一、虚弱體質に對する施灸法を記せ

一、灸を施す際に於ける消毒方法を記せ

一、大小の灸は如何なる病體に施すや灸を施すに對し如何なる病氣に施さざるや

宮 城 縣 (昭和九年秋)

一、上肢の主なる神經並に動脈の經過を記せ

- 一、慢性胃加答兒に對する鍼治法
- 一、(ハ)消毒の必要なる理由及消毒法の種類

(ロ)術者の手指の消毒法

- 一、鍼術と同じ
- 一、脚氣の灸治法
- 一、鍼術と同じ

富山縣 (昭和九年秋)

- 一、横隔膜に就て知る處を記せ
- 一、内分泌に就て知る處を記せ
- 一、胃擴張の徵候及鍼治法を問ふ
- 一、遺尿症の徵候及鍼治法を問ふ
- 一、皮膚傳染病に就きて記せ
- 一、化學的消毒法の要點並に實行上の順序
- 一、副神經に就きて記せ
- 一、皮膚呼吸に就きて記せ

- 一、胃潰瘍の症候並に灸治法
- 一、浮腫の原因並に灸治法

三重縣 (昭和九年秋)

- 一、聽覺器の構造を記せ
- 一、甲狀腺の作用に就て記せ
- 一、顔面神經麻痺の鍼治法に就て述べよ
- 一、舌の生理的作用如何
- 一、慢性胃加答兒灸治法に就て述べよ
- 一、六ツ灸とは如何及其適應症
- 一、攝氏零度以下溫度の消毒的效果如何
- 一、喀痰の消毒方法を記せ
- 一、撓骨神經麻痺に就て
- 一、遺尿症に就て記せ

愛媛縣 (昭和九年秋)

- 一、脚氣の灸法、灸の奏效する理由、治穴の揆穴

青森縣 (昭和九年秋)

- 一、下肢に於ける筋及運動神經を擧げよ
- 一、左の臟器の位置を圖示し且つ其機能を略述せよ
- 一、(イ)肝臟 (ロ)腎臟 (ハ)心臓
- 一、顛會、缺盆、氣衝の部位並に刺鍼せし際の利害に就て理由を付して述べよ
- 一、瘰癧、人迎、淵腋に點灸したる場合の利害及び説明を付して述べよ
- 一、咀嚼筋痙攣の原因、症候、及該症に對する刺鍼法並に部位を記せ
- 一、偏頭痛の原因、症候、及該症に對する灸治法並に部位を記せ
- 一、通常使用せらるる消毒薬を擧げ尙使用法を記せ
- 一、施灸時消毒に關し注意すべき事項を述べ且つ消毒の

- 一、頸部に存在する血管、神經、及筋の名稱を問ふ
- 一、延髓の機能を記せ
- 一、神經痛とは如何、鍼治の效ある理由
- 一、灸の最も適せる疾病を擧げ其效ある理由
- 一、鍼灸術者に消毒の必要ある理由
- 一、三陽絡、陰陵泉、白環俞、天突の部位、其取穴法其他知る處を記せ

- 一、傳染病患者に施術する時の消毒法を問ふ
- 一、皮膚の消毒法
- 一、大、小後頭神經の起始、分佈
- 一、胸鎖乳嘴筋、淵頭筋の起始、停止、並に其關係
- 一、曲澤、瘰癧、取穴、禁穴の有無
- 一、股神經痛の原因、症狀、治鍼法
- 一、膀胱麻痺の原因、症狀、灸治法
- 一、副神經麻痺の症狀、瘰癧との鑑別、鍼治法

必要なる理を記せ

京都府 (昭和九年秋)

- 一、坐骨神経の經過竝に筋肉血管との關係
- 一、皮膚の構造及生理的作用
- 一、子宮疾患に對し有效なる經穴五ツを挙げ其の應用の目的を記せ
- 一、股神經痛の壓痛點と應用經穴名
- 一、坐骨神経の經過竝に筋肉血管との關係
- 一、皮膚の構造及生理的作用
- 一、上肢に於て最も多く應用せらるゝ三穴を挙げ其部位應用せらるゝ場合
- 一、關節疾患中灸治の應用せらるゝ場合を挙げ其理曲を説明せよ
- 一、煮沸消毒の方法を詳説し之が適用物件を記せ
- 一、消毒藥液使用上の一般的注意を記せ

- 一、三叉神經痛に就て
- 一、天柱に刺鍼一寸せしむ
- 一、腰痛の病名及治療穴名
- 一、大腸兪に刺鍼一寸せしむ
- 一、氣管枝の病名を知れるだけ言へ
- 一、大腸カタルは何から來るや、竝に其病狀治療穴名
- 一、大腸兪、小腸兪の部位

奈良縣 (昭和九年秋)

- 一、腋窩動脈の起始、經過竝に靜脈、神經との關係を記せ
- 一、肺臟の構造竝に生理的作用
- 一、不整脈の種類中鍼術の奏效する疾病と應用經穴名を記せ
- 一、常習便秘に對し有效なる刺鍼點五ツを挙げ其部位と應用の目的を問ふ

- 一、理學的消毒法の二種を挙げ其方法竝に應用を記せ
- 一、フュールプリンゲル氏の手指消毒法を記せ
- 一、膝關節の局所解剖的所見に就て
- 一、延髓の位置、機能
- 一、肺臟疾患中灸術の適應症を挙げ各施灸の時機と部位を記せ

一、麻痺症に對し灸術の效ある理由と施灸上注意すべき事項

- 一、滅菌と消毒とを例を舉げて説明せよ
- 一、左記の消毒藥の調製法
- 五プロセント石炭酸水ニプロセントクレゾール水各五百瓦

福島縣 (昭和九年秋)

- 一、泌尿器の名稱及其位置關係
- 一、迷走神経の機能

- 一、脚氣に對する鍼灸治點、脚氣八處の穴名部位
- 一、胃擴張の鍼灸療法、胃兪、三焦兪の部位
- 一、昇汞水の製法竝に其應用
- 一、後頭神經痛に對する鍼治法、其の穴の揆穴、風池に刺鍼

茨城縣 (昭和九年秋)

- 一、頸部に存する動脈に就て知る處を記せ
- 一、心臟に分佈する神経の名稱及作用
- 一、衣類の消毒法
- 一、鍼の第一適應症其刺鍼法
- 一、肋間神經痛に對する刺鍼法
- 一、顔面筋に就て記せ
- 一、肝臟の位置、形狀、機能を記せ
- 一、唾痰の消毒法を記せ
- 一、十四經名を言へ、手の太陰肺經の穴名を言へ

一、翳風、迎香、頭維の指壓

福岡縣 (昭和九年秋)

一、副交感神経に就て記せ

一、横隔膜の位置、形状、機能を問ふ

一、腰痛に對する鍼點及其目的を問ふ

一、胃痛に於ける鍼術の禁忌症と其主徴候とを記せ

一、脊髄神経は何對なるや、及其部位により區別せよ

一、肝臓の位置、形状、機能を問ふ

一、背部の禁穴を擧げ、其解剖學的位置を記せ

一、慢性胃カタルの症候及灸治法を問ふ

秋田縣 (昭和九年秋)

一、胸廓は如何なる骨によりて構成せらるゝや

一、筋の興奮及疲労に就て説明せよ

一、刺鍼轉向法に就き記せ

一、身體に於ける主なる禁灸を記せ

一、クレゾール石鹼液に就き知る處を記せ

一、手の消毒法を説明せよ

長野縣 (昭和九年秋)

一、胃の位置を詳記せよ

一、左の器管の位置及作用を記せ

(イ) 脾臓 (ロ) 腦下垂體 (ハ) 甲状腺 (ニ) 副腎

一、肋間神経に就て記せ

一、膝關動脈の經過及枝別を記せ

一、陰萎症の鍼術(灸術)治療に就て記せ

一、鍼術灸術の禁忌に就て記せ

福井縣 (昭和九年秋)

一、腹膜の解剖に就て知る處を記せ

一、血液の生理的作用を問ふ

一、狭心症の原因及症狀に就て記せ

一、癲癇の原因及症狀に就て記せ

一、左に就て知る處を述べよ

(イ) 裏急後重 (ロ) ロンベルグ氏症狀

(ハ) ホルモン (ニ) サフエナ神經

一、沃度丁幾の消毒上の價値を問ふ

一、頸部に於て擧握し得る筋の名稱及其作用を問ふ

一、神経炎と神経痛との區別を述べよ

一、腦底に腫瘍を生ぜし場合の症狀を記せ

一、尿に就て知る處を述べよ

一、迷走神経緊張症とは如何

一、左記に就て知る處を記せ

(イ) 一千倍昇汞水の用途及使用上の注意

(ロ) 漿液膜

一、常習頭痛に就て

一、膊神經叢麻痺に就て

一、胃アトニー

一、顔面神經麻痺

一、手の三里に刺鍼せよ

(管鍼術と捻鍼術)

滋賀縣 (昭和九年秋)

一、僧帽筋の起始停止並に其作用

一、副交感神経に就て知る處を記せ

一、半身不隨の原因及び其灸治法

一、胃痙攣の症狀に對する灸治法

一、煮沸消毒に適する物品を問ふ

一、石灰乳の製法及其應用

一、髀臼關節の構成を問ふ

一、扁桃腺炎に對する鍼治穴名及び其解剖的位置

一、腸疝痛の原因及治療法

一、室内消毒の方法を問ふ

大 阪 府 (昭和九年秋)

一、皮膚の構造を圖示せよ

一、自律神経の作用を問ふ

一、鍼の刺戟が左に及ぼす影響は如何

(1)白血球 (2)血壓 (3)腸蠕動

一、風池、曲垣、内關、陽陵泉、石門の部位竝に其應用

一、豫防灸の方法竝に其の効果ある理由

一、瘰癧門、素髻、陽池、委中の部位竝に禁灸穴となれる

理由を問ふ

一、理學的消毒法の種類及其方法を略述せよ

一、手指を消毒する理由と其方法を記せ

一、拇指を運動せしむる諸筋の名稱及其作用

一、血液凝固に就て述べよ

一、鍼の神経痛、便秘、脚氣に效ある理由を述べよ

一、完骨、還跳、風市、盲俞、三陰交の解剖的部位竝に

取穴法を問ふ

一、艾炷より發する燃燒溫度、竝に此が皮下深部に及ぼす影響は如何

一、風門、期門、陽谿、承筋の解剖學的部位、竝に其應用

一、熱氣消毒とは如何、及其應用を述べよ

一、消毒用クレゾール水の製法及同藥品の長所を問ふ

東 京 府 (昭和十年春)

一、血液の種類及血液の作用を述べよ

一、理學的消毒の種類及消毒方法 (鍼術)

一、腎臟の位置を示し併せて其作用を記せ

一、喀痰の消毒方法を問ふ (灸術)

一、尺澤、陰廉の部位を記せ

一、神経性腸痛痛に對する刺鍼の方法如何

一、攪骨神経痛の治穴

熊 本 縣 (昭和十年春)

一、上膊筋の名稱及血管神経との關係

一、胸腔内臟器の名稱及其機能を問ふ

一、最も多く使用せらるる消毒薬三種を挙げ其溶解法及

優劣に就き述べよ (以上鍼術)

一、理學的消毒の種類及應用

一、顔面神経の經過を述べよ

一、僧帽筋の位置、形狀、作用及分佈する神経

一、施灸部の皮膚の消毒は必要なりや、若し必要なれば

其理由及消毒實施方法を記せ

一、手指の消毒方法 (以上灸術)

山 梨 縣 (昭和十年春)

一、大胸筋の起始停止を問ふ

一、實地、肩背部に於ける刺鍼法 (以上鍼術)

一、張介賓四華患門の穴は如何にして求めるか

一、灸の直接及び反射作用を應用して治療すべき疾病を

挙げよ

一、神経性心悸亢進に對する施灸方法如何 (以上灸術)

徳 島 縣 (昭和十年春)

一、胃の位置、形狀、構造

一、腎臟の機能

一、化學的消毒法に就て (以上鍼灸共通)

一、灸治の作用

一、肺結核の灸治方法 (以上灸術)

一、胆石痛の鍼治法

一、前胸部の禁穴 (以上鍼術)

一、昇汞の性狀

一、胃加答兒と胃擴張との鑑別

一、顔面神経の経路を問ふ

一、門脈を説明せよ

一、鍼術に必要な消毒方法を問ふ

一、左の孔穴の解剖的位置を問ふ

(イ)神封 (ロ)關元 (ハ)陰廉 (ニ)肩外

(ホ)天井

一、脊髓性小兒麻痺の原因、症状、治療法 (以上鍼術)

一、僧帽筋の起始、停止を問ふ

一、撓骨神経の経路を問ふ

一、膝臓の位置及作用を問ふ

一、消毒の必要な所以を述べよ

一、左記孔穴の解剖的位置を問ふ

(イ)横竹 (ロ)腹哀 (ハ)長強 (ニ)曲池

(ホ)陽陵泉

一、横隔膜痙攣の原因、症状及治療を問ふ (以上灸術)

大阪府 (昭和十年春)

一、後脛骨動脈の経過及枝別を詳記せよ

一、血液の生理作用を述べよ (以上共通)

一、折鍼したる場合の處置を詳記せよ

一、肩髃、神道、少海、帶脈、犢鼻の部位竝に應用病名を問ふ (以上鍼術)

一、灸の緩急強弱は如何にして定むるや又其の必要ある理由を例を擧げて説明せよ

一、角孫、巨骨、大横、伏兔、神門の部位取穴法竝に應用を問ふ (以上灸術)

一、酒精、昇汞、石炭酸の消毒剤としての優劣を比較せよ

一、日光による消毒作用に就て述べよ (共通)

福岡縣 (昭和十年春)

一、上腿に分佈する主なる血管、神経の名稱、及其経過

一、小腸に於ける神経支配に就て述べよ

一、刺鍼時、刺戟強烈に過ぎし場合如何なる状態を呈するや

一、夜泣の原因、刺鍼點、及刺鍼法を問ふ

一、上肢に於ける血管、神経の名稱及経過

一、五臓器とは何ぞや、其作用を記せ

一、經穴に就て記せ

一、腓腸筋痙攣の原因、症候、竝に灸治法

青森縣 (昭和十年春)

一、上肢の筋及運動神経につきて述べよ

一、心臓、肺臓の位置を圖示し其の機能上の關係を説明せよ

一、鍼灸の血液に及ぼす變化

一、左記の名稱の部位其の分佈神経を問ふ

魚際、缺盆、下關、水突、陰陵泉

一、消毒薬の種類を擧げ各其の使用法を實例に就きて説明せよ

一、施術時の消毒法を述べ其理由を説明せよ

滋賀縣 (昭和十年春)

一、(イ)鎖骨下動脈の起始、経過及枝別を問ふ

(ロ)迷走神経の起始、経過及分佈を問ふ

二、顔面神経痙攣の原因、症状及治療法を記せ

三、胃擴張と胃「アトニー」との相違點竝に治療法を記せ

四、石炭酸水の調製法を詳述し、用途上昇汞水との相違する點を述べよ

一、(イ)皮膚の作用に就て記せ

(ロ)外頸動脈の起始、経過及分佈を記せ

二、齒痛の原因、症状及治療法を述べよ

三、嘔吐を招來する疾病を列記し之等に對し施灸禁忌症

を擧げよ

四、(イ)左の物件の消毒法を述べよ

喀痰、糞便、作業衣(白衣)、ゴム製品

(ロ)傳染病豫防法に規定せられたる石炭酸水一五〇

〇瓦を作るには如何なる割合にすべきや

第十編 參考編

規則

此所に蒐録せざる府縣は皆殆ど同じ事故讀者推察せられたし

內務省令

內務省令第十一號 鍼術、灸術營業取締規則左ノ通り之ヲ定ム

明治四十四年八月十四日

內務大臣 法學博士 平 田 東 助

鍼術、灸術營業取締規則

第一條 鍼術又ハ灸術營業ヲ爲サントスル者ハ試驗合格證書又ハ地方長官ノ指定シタル學校若シクハ講習所ノ卒業證

書ヲ添ヘ住所地ノ地方長官(東京府ニ於テハ警視總監以下之ニ倣フ)ニ願出テ免許鑑札ヲ受クベシ

第二條 精神病者傳染性ノ疾患アル者又ハ素行不良ト認ムル者ニハ免許鑑札ヲ交付セザルモノトス

禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノハ免許鑑札ヲ交付セザルコトアルベシ

第三條 鍼術又ハ灸術ノ試験ハ地方長官之ヲ舉行ス試験科目ハ左ノ如シ

一、人體ノ構造及主要器官ノ機能並筋ト神經脈管ノ關係

二、身體各部ノ刺鍼法又ハ灸點法並經穴及ヒ禁穴

三、消毒法大意

四、鍼術又ハ灸術ノ實地

第四條 四箇年以上鍼術又ハ灸術ヲ修業シタル者ニ非ザレバ試験ヲ受クルコトヲ得ズ

第五條 鍼術ヲ施サムトスルトキハ鍼、手指、手術局部ヲ消毒スベシ

第六條 營業者ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハズ流派名又ハ卒業シタル學校講習所ノ名稱若シクハ修業ノ證明ヲ與ヘタル教師ノ氏名ヲ除クノ外業務上其技能施行方法又ハ經歷ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 鍼術又ハ灸術營業者ハ瀉血、切開其ノ他外科手術ヲ行ヒ若シクハ電氣烙鐵ノ類ヲ用ヒ又ハ藥品ヲ投與シ若シクハ之ガ指示ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條 營業者其ノ住所地ヲ他ノ道府縣ニ移シタルトキハ十日以内ニ鑑札ヲ添ヘ後ノ地方長官ニ届出ベシ

前項ノ場合ニ於テ後ノ住所地ノ地方長官ハ其ノ旨ヲ前ノ住所地ノ地方長官ニ通知スベシ

第九條 營業者免許鑑札ヲ毀損亡失シタルトキハ其事由ヲ記シ二十日以内ニ住所地ノ地方長官ニ再下付ヲ願出ベシ
族籍、氏名ニ變更ヲ生ジ又ハ生年月日ノ訂正ヲ要スルトキハ其事由ヲ記シ二十日以内ニ鑑札ヲ添ヘ地方長官ニ書換ヲ願出ベシ

亡失シタル免許鑑札ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十條 營業者廢業シタルトキハ二十日以内ニ免許鑑札ヲ返納スベシ若シ鑑札ヲ返納スルコト能ハザル事由アルトキハ其ノ事由ヲ届出ベシ

營業者死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキハ戶籍法ニ依ル届出義務者ヨリ二十日以内ニ免許鑑札ヲ返納スベシ

第十一條 營業者第二條ニ該當シ又ハ業務上犯罪若ハ不正ノ行爲アリタルトキハ住所地ノ地方長官ハ期日ヲ定メテ其ノ營業ヲ停止シ又ハ免許鑑札ヲ返納セシムルコトアルベシ

本條ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖モ疾病治癒又ハ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許鑑札ヲ交付スルコトヲ得

第十二條 免許鑑札ヲ受ケズシテ營業ヲ爲シ若クハ停止中營業ヲ爲シタル者又ハ第六條第七條ニ違背シタル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 第八條第一項第九條又ハ第十條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前政廳ニ於テ交付シタル免許鑑札其ノ他ノ免許ノ證ハ本令ニ依リテ交付シタル免許鑑札ト看做ス

警視廳令

警視廳令第四十號 鍼術、灸術營業取締規則施行細則左ノ通定ム

昭和六年八月十八日

警視總監 高橋守雄

鍼術灸術營業取締規則施行細則

- 第一條 鍼術灸術營業取締規則(以下單ニ規則ト稱ス)及本令ニ依リ警視廳ニ提出スベキ願届書、免許鑑札及返納スベキ免許鑑札ハ住所地所轄警察署ヲ經由スヘシ
但シ第十一條ノ規定ニ依ル願書ニ在リテハ此限ニ在ラズ
- 第二條 本令ノ規定ニ依ル手数料ハ現金又ハ郵便爲替證書ヲ以テ警視廳官房會計課ニ納付スベシ納付シタル手数料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セズ
- 第三條 本令ノ規定ニ依ル手数料ハ盲人ニ限り之ヲ免除ス
- 第四條 規則第一條ノ規定ニ依ル免許鑑札ハ別記様式ニ依ル
- 第五條 規則第一條ノ規定ニ依ル免許鑑札ヲ受ケムトスル者ハ一營業毎ニ手数料金五十錢ヲ納付シ左ノ事項ヲ具シ警視廳ニ願出ツベシ

- 一、本籍、住所、氏名及生年月日
 - 二、資格證書ノ寫
 - 三、盲、非盲ノ別
 - 四、營業ノ種別
 - 五、精神病及傳染病性疾患ナキコトヲ證明シタル醫師ノ診斷書
 - 六、戶籍抄本又ハ謄本
 - 七、履歷書
 - 八、寫眞(願書提出前五箇月内ニ撮影シタル名刺型脱帽半身無臺紙ノモノニシテ各其ノ裏面ニ住所、氏名、生年月日ヲ記入シタルモノ以下之ニ做フ)二枚
- 第六條 營業者住所ヲ變更シタルトキハ十日以内ニ後ノ住所地所轄警察署ヲ經由シ警視廳ニ届出ツベシ規則第八條第一項ノ規定ニ依ル届書ニハ本籍、住所、氏名生年月日及盲非盲ノ別ヲ記シ資格證書ノ寫及寫眞二枚ヲ添附スベシ
- 第七條 規則第九條第一項及第二項ノ規定ニ依ル願書ニハ戶籍抄本又ハ謄本寫眞二枚ヲ添附シ手数料金二十錢ヲ納付スベシ
- 第八條 他ノ道府縣ニ住所ヲ有スル營業者管内ニ出張所ヲ設ケタルトキハ十日以内ニ出張所所在地所轄警察署ニ届出ツベシ之ヲ廢止シタルトキ亦同ジ